

八潮市外国人市民意識調査 報告書

令和元年12月

八潮市

目次

第1章 調査の概要及び回答者の属性	1
1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の概要.....	1
(3) 報告書の見方.....	1
2. 回答者の属性	2
(1) 国籍・地域.....	2
(2) 性別.....	2
(3) 年齢.....	2
(4) 在留資格.....	3
(5) 同居者.....	4
(6) 同居者の年齢.....	4
(7) 居住形態.....	4
(8) 居住エリア.....	5
(9) 日本での居住年数.....	6
(10) 八潮市での居住年数.....	7
第2章 調査結果の詳細	8
1. 暮らしについて	8
(1) 八潮市に住む理由.....	8
(2) 普段の生活で困っていることや不安なこと.....	11
(3) 生活で困ったときの相談先.....	15
(4) 日本で生活するための情報の入手先.....	18
(5) 生活していくうえでもっと知りたい情報.....	21
2. ことばについて	25
(1) 普段よく使う言葉.....	25
(2) 日本語のできる程度.....	28
(3) 日本語の学習意向.....	37
(4) 希望する日本語の学習方法.....	40
3. 教育と子育てについて	44
(1) 子どもの学校や教育、子育てについての不安・悩み.....	44
4. 仕事と医療・保険について	47
(1) 就業形態.....	47
(2) 健康保険への加入状況.....	49
(3) 自身や家族が病気になったときに困ったこと.....	51

5. 災害について	53
(1) 災害への備え.....	53
(2) 災害が起きたときに心配なこと	56
6. 地域での交流について	60
(1) 近くに住む日本人との付き合い	60
(2) 近くに住む日本人と交流していない理由	64
(3) 町会・自治会への加入状況	66
(4) 町会・自治会へ加入していない（加入しようと思わない）理由	70
(5) 差別や偏見の有無.....	72
(6) 差別や偏見を感じる場面	74
7. その他のことについて	76
(1) 八潮市の暮らしやすさ	76
(2) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと	79
(3) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 最も重要なもの.....	84
(4) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 2番目に重要なもの	86
(5) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 3番目に重要なもの	88
(6) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと TOP3（重要3項目の合計）	90
(7) 日本人と共に生活していくうえでしていきたい活動.....	92

第1章 調査の概要及び回答者の属性

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

八潮市では、日本人市民と外国人市民が互いの国の文化や習慣などの違いを理解し、地域社会の一員として共に生活できるよう、多文化共生推進プランの策定を予定している。

多文化共生推進プランの策定に先立ち、外国人市民の生活実態やニーズを把握するとともに、外国人市民が地域コミュニティに参画しやすい環境などについて調査する必要があるため、外国人市民意識調査を実施した。

(2) 調査の概要

調査地域	八潮市全域
調査対象	八潮市在住の満18歳以上の外国人市民 (令和元年7月1日現在)
調査方法	郵送配布、郵送回収
使用言語	依頼状、調査票、お礼兼督促状は、中国語(簡体字)、ベトナム語、英語の3言語にやさしい日本語を併記
配布数	1,300人
抽出方法	八潮市住民基本台帳からの無作為抽出
有効回収数	518人
無効回収数	0人
有効回収率	39.8%
実施期間	令和元年8月1日～8月30日

(3) 報告書の見方

・ 回答の比率(%)は百分比で表し、小数点第2位を四捨五入した。そのため、百分比の合計が100.0%にならない場合がある。

・ 各設問の回答者数を“n”(number of case)と表し、基数となる“n”を100.0%として各選択肢の回答比率を算出した。したがって、複数回答(1人の回答者が2つ以上の選択肢を選ぶことができる形式)の設問は回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。

・ 設問の中には回答者を限定するものがあり、“n”が少ない場合がある。

・ クロス集計において、分析の軸とした属性毎の“n”が30人未満であるものは、誤差が大きくなるため、参考値としての掲載とする。

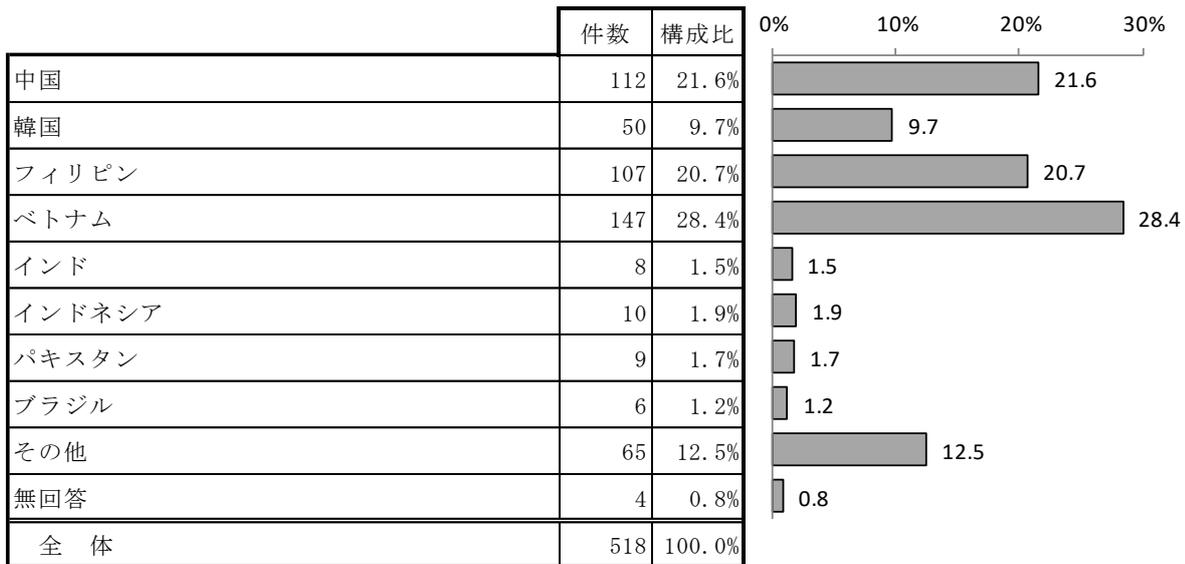
・ 本文や図表中の選択肢の表記は、場合によって語句を簡略化している。

・ 統計数値を考察するにあたっては、表現を概ね以下のとおりとしている。

例) 17.0～19.9% : 約2割 21.0～22.9% : 2割を超える
20.0～20.9% : 2割 23.0～26.9% : 2割台半ば

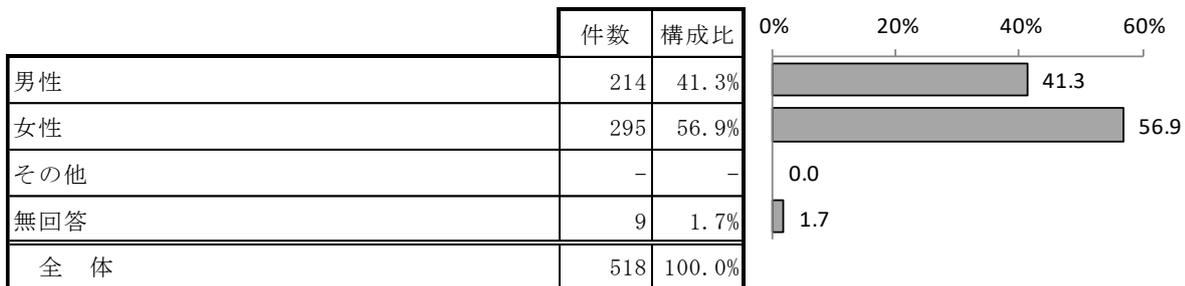
2. 回答者の属性

(1) 国籍・地域

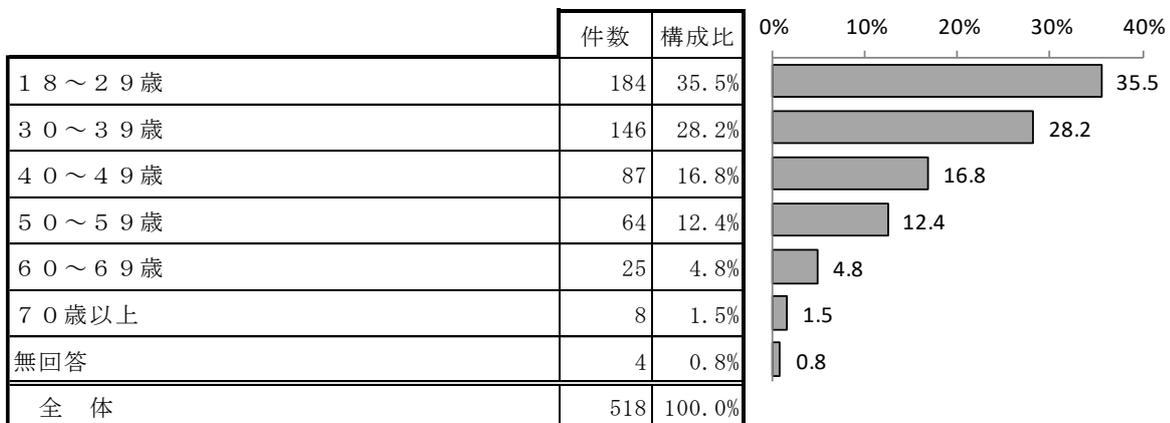


※以降、本文及び図表中で、インド（8件）、インドネシア（10件）、パキスタン（9件）、ブラジル（6件）、その他（65件）の国籍・地域を集約し「その他」と表記している。

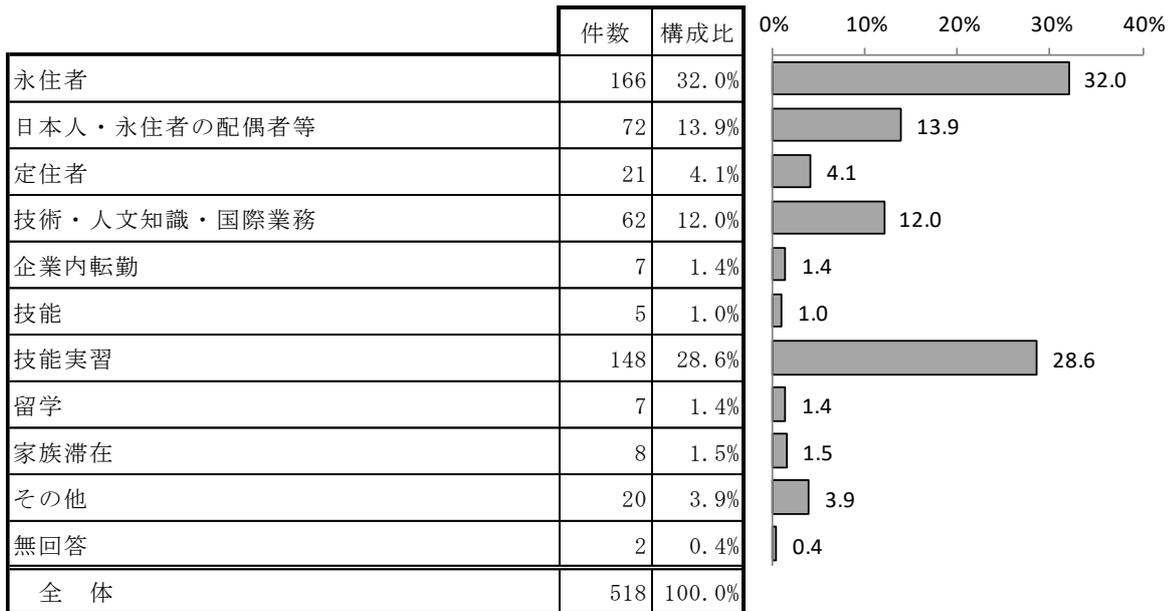
(2) 性別



(3) 年齢



(4) 在留資格



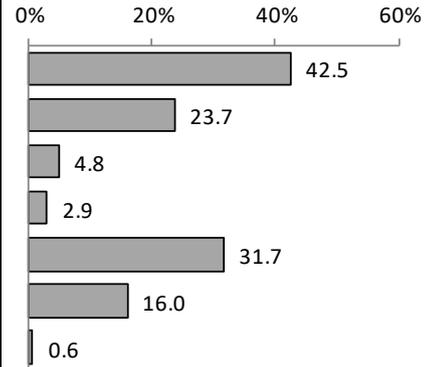
《国籍・地域別》

		n	永住者	日本人・永住者の配偶者等	定住者	技術・人文知識・国際業務	企業内転勤	技能	技能実習
全 体		518	32.0	13.9	4.1	12.0	1.4	1.0	28.6
国籍・地域別	中国	112	44.6	18.8	0.9	19.6	-	0.9	12.5
	韓国	50	64.0	8.0	2.0	20.0	-	-	-
	フィリピン	107	31.8	20.6	8.4	0.9	6.5	-	26.2
	ベトナム	147	14.3	2.7	2.7	8.2	-	0.7	66.0
	その他	98	28.6	19.4	6.1	17.3	-	3.1	8.2

		n	留学	家族滞在	その他	無回答
全 体		518	1.4	1.5	3.9	0.4
国籍・地域別	中国	112	0.9	-	1.8	-
	韓国	50	-	-	4.0	2.0
	フィリピン	107	-	3.7	1.9	-
	ベトナム	147	4.1	-	1.4	-
	その他	98	-	4.1	12.2	1.0

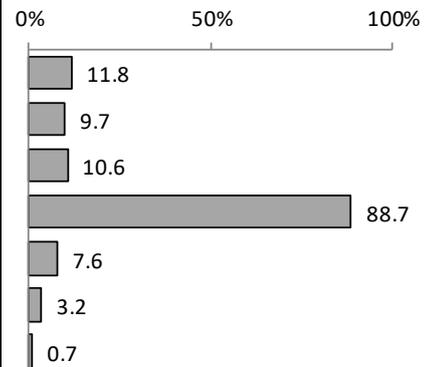
(5) 同居者

	件数	構成比
配偶者またはパートナー	220	42.5%
子ども	123	23.7%
自分または配偶者の親	25	4.8%
その他の親類	15	2.9%
友人・知人	164	31.7%
いない	83	16.0%
無回答	3	0.6%
全 体	518	100.0%



(6) 同居者の年齢

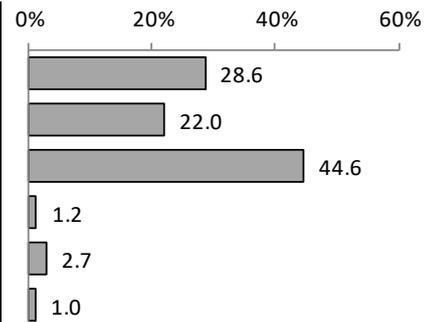
	件数	構成比
0～5歳	51	11.8%
6～11歳	42	9.7%
12～17歳	46	10.6%
18～64歳	383	88.7%
65～74歳	33	7.6%
75歳以上	14	3.2%
無回答	3	0.7%
全 体	432	100.0%



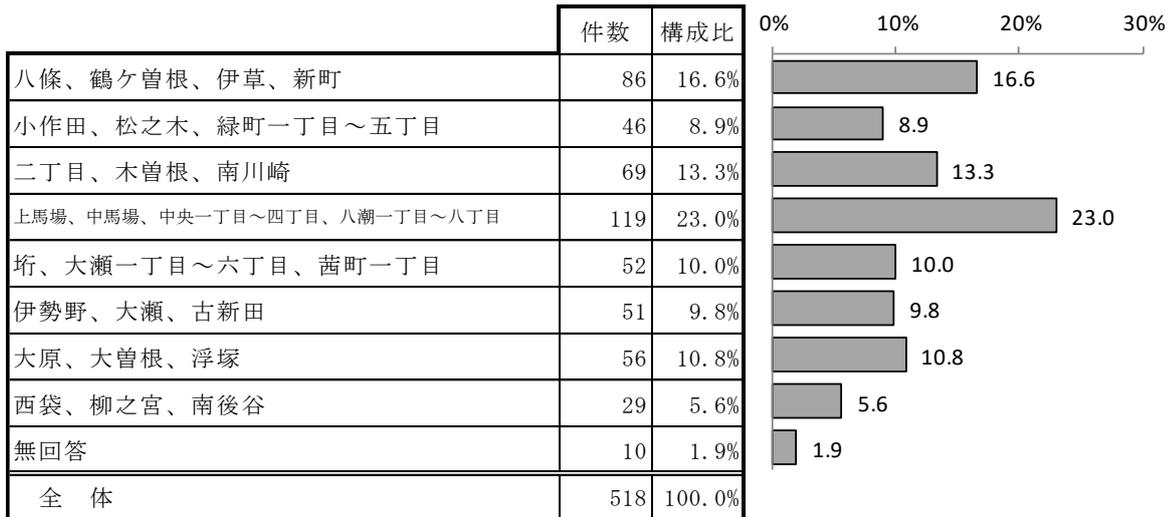
※同居者で「いない」と回答した人及び無回答者を除く

(7) 居住形態

	件数	構成比
持ち家	148	28.6%
勤務先の寮や社宅	114	22.0%
賃貸	231	44.6%
市営・県営住宅	6	1.2%
その他	14	2.7%
無回答	5	1.0%
全 体	518	100.0%



(8) 居住エリア



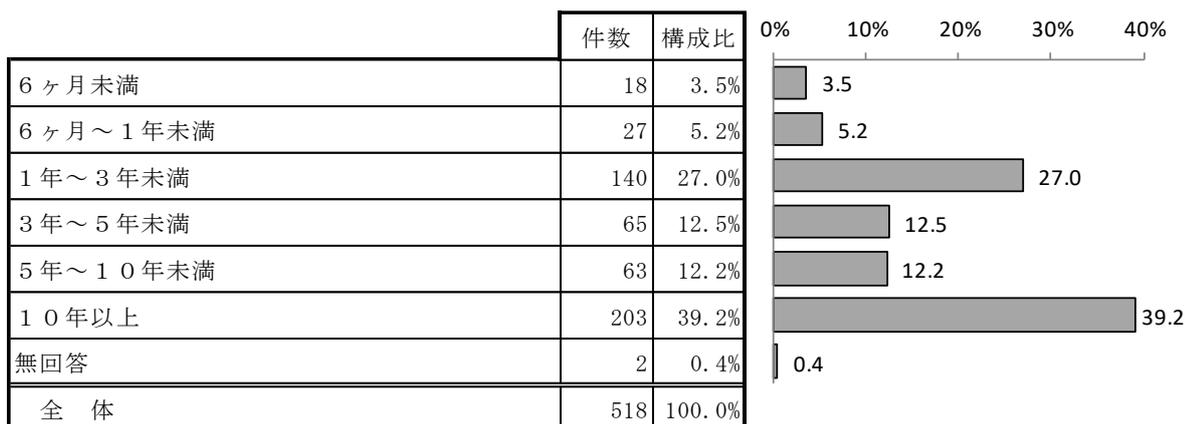
《国籍・地域別》

国籍・地域別	n	八條、鶴ヶ曾根、伊草、新町	五小作田、松之木、緑町一丁目	二丁目、木曾根、南川崎	四上馬場、中馬場、中央一丁目	一圀、大瀬一丁目～六丁目、茜町	伊勢野、大瀬、古新田	大原、大曾根、浮塚	西袋、柳之宮、南後谷	無回答	(%)
全 体	518	16.6	8.9	13.3	23.0	10.0	9.8	10.8	5.6	1.9	
中国	112	9.8	1.8	7.1	22.3	22.3	10.7	13.4	12.5	-	
	50	10.0	6.0	16.0	18.0	10.0	18.0	10.0	10.0	2.0	
	107	5.6	11.2	12.1	34.6	5.6	12.1	15.9	1.9	0.9	
	147	27.9	10.9	19.0	21.1	2.7	4.8	6.8	2.0	4.8	
	98	22.4	13.3	12.2	16.3	10.2	10.2	9.2	5.1	1.0	

※以降、本文及び図表中では、各エリアを下記のとおり表記する。

	表記名
八條、鶴ヶ曾根、伊草、新町	エリアA
小作田、松之木、緑町一丁目～五丁目	エリアB
二丁目、木曾根、南川崎	エリアC
上馬場、中馬場、中央一丁目～四丁目、八潮一丁目～八丁目	エリアD
圀、大瀬一丁目～六丁目、茜町一丁目	エリアE
伊勢野、大瀬、古新田	エリアF
大原、大曾根、浮塚	エリアG
西袋、柳之宮、南後谷	エリアH

(9) 日本での居住年数



《国籍・地域別》

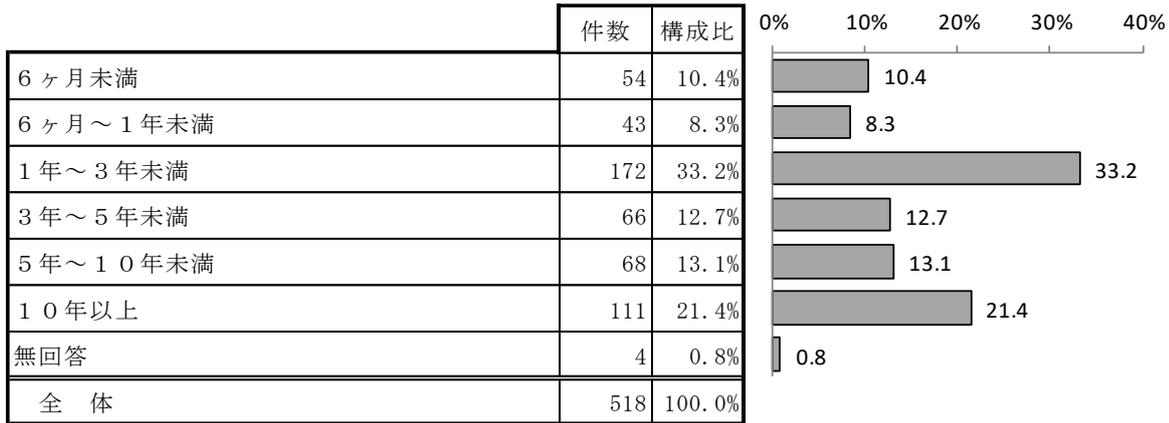
		n	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
全 体		518	3.5	5.2	27.0	12.5	12.2	39.2	0.4
国籍・地域別	中国	112	4.5	2.7	12.5	9.8	18.8	51.8	-
	韓国	50	-	-	8.0	10.0	8.0	72.0	2.0
	フィリピン	107	1.9	4.7	27.1	6.5	14.0	45.8	-
	ベトナム	147	5.4	9.5	49.0	17.7	6.8	11.6	-
	その他	98	3.1	5.1	20.4	16.3	12.2	41.8	1.0

《居住エリア別》

		n	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
全 体		518	3.5	5.2	27.0	12.5	12.2	39.2	0.4
居住エリア別	エリアA	86	5.8	4.7	25.6	16.3	10.5	37.2	-
	エリアB	46	6.5	-	21.7	6.5	19.6	45.7	-
	エリアC	69	7.2	5.8	36.2	10.1	5.8	34.8	-
	エリアD	119	0.8	8.4	34.5	12.6	7.6	36.1	-
	エリアE	52	3.8	1.9	15.4	17.3	19.2	42.3	-
	エリアF	51	-	3.9	25.5	11.8	23.5	35.3	-
	エリアG	56	1.8	8.9	19.6	14.3	12.5	42.9	-
	エリアH	29	3.4	3.4	10.3	6.9	10.3	65.5	-

※エリア区分は p5 を参照

(10) 八潮市での居住年数



《国籍・地域別》

		n	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
全 体		518	10.4	8.3	33.2	12.7	13.1	21.4	0.8
国籍・地域別	中国	112	15.2	8.9	30.4	16.1	15.2	14.3	-
	韓国	50	12.0	-	20.0	10.0	6.0	48.0	4.0
	フィリピン	107	4.7	5.6	30.8	7.5	18.7	31.8	0.9
	ベトナム	147	10.9	12.2	46.3	15.0	7.5	8.2	-
	その他	98	9.2	9.2	26.5	13.3	16.3	24.5	1.0

《居住エリア別》

		n	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
全 体		518	10.4	8.3	33.2	12.7	13.1	21.4	0.8
居住エリア別	エリアA	86	8.1	9.3	24.4	18.6	12.8	26.7	-
	エリアB	46	10.9	2.2	32.6	10.9	15.2	28.3	-
	エリアC	69	8.7	7.2	39.1	13.0	13.0	17.4	1.4
	エリアD	119	9.2	11.8	42.0	7.6	6.7	22.7	-
	エリアE	52	19.2	9.6	32.7	11.5	15.4	11.5	-
	エリアF	51	15.7	5.9	25.5	11.8	23.5	15.7	2.0
	エリアG	56	8.9	10.7	26.8	19.6	16.1	17.9	-
	エリアH	29	6.9	3.4	24.1	10.3	13.8	41.4	-

※エリア区分は p5 を参照

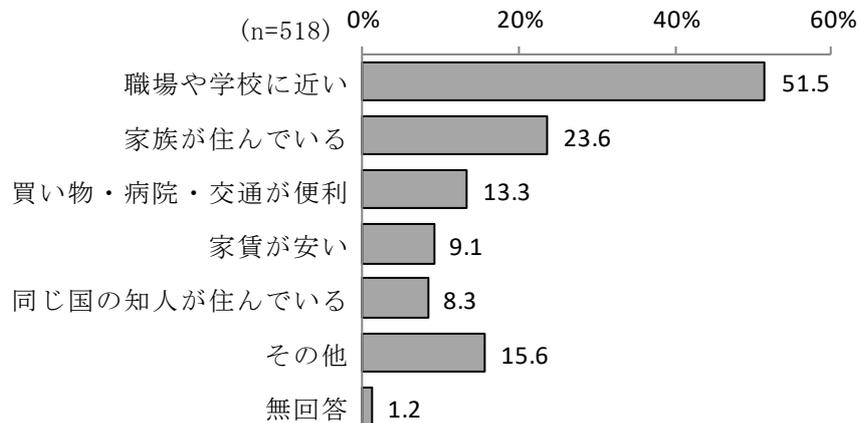
第2章 調査結果の詳細

1. 暮らしについて

(1) 八潮市に住む理由

問10 あなたが八潮市に住む理由は何ですか。(✓はいくつでも)

■図表 1-1 八潮市に住む理由



八潮市に住む理由は、「職場や学校に近い」(51.5%)が5割を超える。次いで、「家族が住んでいる」(23.6%)、「買い物・病院・交通が便利」(13.3%)、「家賃が安い」(9.1%)、「同じ国の知人が住んでいる」(8.3%)となっている。(図表 1-1)

■図表 1-2 八潮市に住む理由（国籍・地域別）

		n	職場や学校に近い	家族が住んでいる	買い物・病院・交通が便利	家賃が安い	同じ国の知人が住んでいる	その他	無回答
全 体		518	51.5	23.6	13.3	9.1	8.3	15.6	1.2
国籍・地域別	中国	112	33.0	29.5	15.2	11.6	3.6	21.4	0.9
	韓国	50	30.0	38.0	18.0	8.0	4.0	22.0	-
	フィリピン	107	54.2	33.6	10.3	7.5	9.3	10.3	1.9
	ベトナム	147	72.1	7.5	10.9	5.4	8.8	13.6	1.4
	その他	98	51.0	21.4	15.3	13.3	14.3	15.3	1.0

(%)

国籍・地域別にみると、ベトナムは「職場や学校に近い」が72.1%と突出している。韓国は「家族が住んでいる」(38.0%)が最も高い。(図表 1-2)

■図表 1-3 八潮市に住む理由（居住エリア別）

	n	職場や学校に近い	家族が住んでいる	買い物・病院・交通が便利	家賃が安い	同じ国の知人が住んでいる	その他	無回答	
全 体	518	51.5	23.6	13.3	9.1	8.3	15.6	1.2	
居住 エリア 別	エリアA	86	53.5	20.9	17.4	5.8	9.3	12.8	1.2
	エリアB	46	60.9	26.1	13.0	6.5	17.4	6.5	-
	エリアC	69	58.0	18.8	8.7	7.2	5.8	21.7	-
	エリアD	119	58.0	23.5	11.8	7.6	10.9	8.4	1.7
	エリアE	52	38.5	17.3	25.0	21.2	3.8	23.1	-
	エリアF	51	45.1	25.5	7.8	13.7	7.8	17.6	-
	エリアG	56	44.6	26.8	10.7	8.9	5.4	25.0	-
	エリアH	29	37.9	44.8	13.8	6.9	3.4	17.2	3.4

(%)

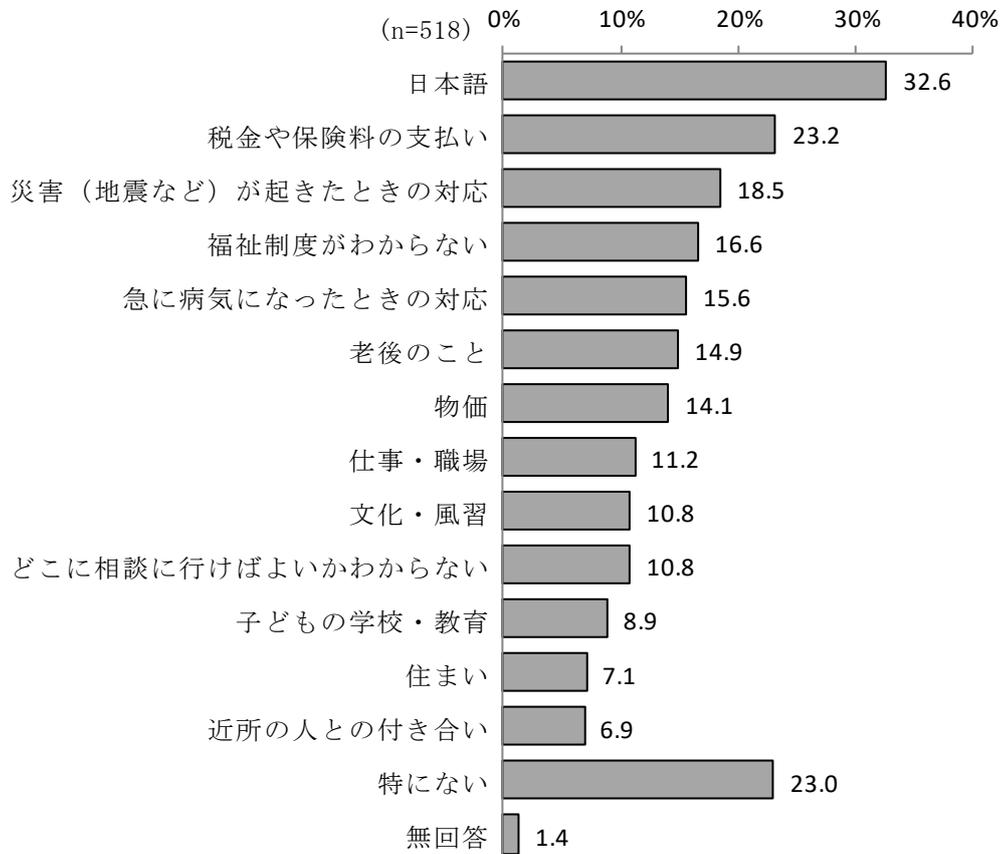
※エリア区分は p5 を参照

居住エリア別にみると、エリアB～Dで「職場や学校に近い」が約6割となっている。また、エリアEでは「買い物・病院・交通が便利」（25.0%）、「家賃が安い」（21.2%）が他の居住エリアに比べて高い。（図表 1-3）

(2) 普段の生活で困っていることや不安なこと

問 11 あなたが普段の生活で困っていることや不安なことは何ですか。(✓はいくつでも)

■図表 1-4 普段の生活で困っていることや不安なこと



普段の生活で困っていることや不安なことは、「日本語」(32.6%)が最も高く、次いで、「税金や保険料の支払い」(23.2%)、「災害(地震など)が起きたときの対応」(18.5%)、「福祉制度がわからない」(16.6%)、「急に病気になったときの対応」(15.6%)などとなっている。(図表 1-4)

■図表 1-5 普段の生活で困っていることや不安なこと（国籍・地域別）

		n	日本語	税金や保険料の支払い	災害（地震など）が起きたときの対応	福祉制度がわからない	急に病気になったときの対応	老後のこと	物価	仕事・職場	(%)
全 体		518	32.6	23.2	18.5	16.6	15.6	14.9	14.1	11.2	
国籍・地域別	中国	112	32.1	20.5	17.9	27.7	22.3	27.7	10.7	9.8	
	韓国	50	8.0	38.0	22.0	16.0	20.0	34.0	18.0	14.0	
	フィリピン	107	29.0	26.2	23.4	8.4	14.0	14.0	17.8	17.8	
	ベトナム	147	48.3	20.4	18.4	17.0	13.6	2.7	15.6	6.1	
	その他	98	27.6	20.4	13.3	13.3	10.2	10.2	10.2	12.2	

		n	文化・風習	どこに相談に行けばよいかわからない	子どもの学校・教育	住まい	近所の人との付き合い	特にない	無回答	(%)
全 体		518	10.8	10.8	8.9	7.1	6.9	23.0	1.4	
国籍・地域別	中国	112	6.3	11.6	14.3	7.1	9.8	17.9	0.9	
	韓国	50	4.0	10.0	8.0	8.0	6.0	26.0	-	
	フィリピン	107	11.2	11.2	7.5	14.0	5.6	27.1	0.9	
	ベトナム	147	16.3	10.9	5.4	2.0	7.5	15.6	2.0	
	その他	98	11.2	10.2	10.2	7.1	5.1	31.6	2.0	

国籍・地域別にみると、ベトナムは「日本語」（48.3%）が約5割と高い。韓国は「税金や保険料の支払い」（38.0%）、「老後のこと」（34.0%）が全体を大きく上回っている。中国は「福祉制度がわからない」「老後のこと」（各27.7%）が約3割と全体を11~12ポイント程度上回る。（図表 1-5）

■図表 1-6 普段の生活で困っていることや不安なこと（居住エリア別）

	n	日本語	税金や保険料の支払い	災害（地震など）が起きたときの対応	福祉制度がわからない	急に病気になったときの対応	老後のこと	物価	仕事・職場	
全体	518	32.6	23.2	18.5	16.6	15.6	14.9	14.1	11.2	
居住エリア別	エリアA	86	39.5	29.1	20.9	18.6	26.7	14.0	12.8	10.5
	エリアB	46	26.1	28.3	15.2	10.9	15.2	17.4	17.4	8.7
	エリアC	69	42.0	29.0	11.6	17.4	8.7	14.5	20.3	13.0
	エリアD	119	34.5	20.2	23.5	15.1	16.8	10.1	14.3	10.9
	エリアE	52	26.9	17.3	25.0	17.3	15.4	21.2	13.5	11.5
	エリアF	51	27.5	19.6	13.7	13.7	7.8	11.8	13.7	13.7
	エリアG	56	21.4	21.4	16.1	23.2	10.7	8.9	12.5	7.1
	エリアH	29	27.6	24.1	20.7	20.7	20.7	44.8	6.9	17.2

(%)

	n	文化・風習	どこに相談に行けばいいかわからない	子どもの学校・教育	住まい	近所の人との付き合い	特にない	無回答	
全体	518	10.8	10.8	8.9	7.1	6.9	23.0	1.4	
居住エリア別	エリアA	86	16.3	9.3	12.8	2.3	3.5	14.0	1.2
	エリアB	46	2.2	2.2	6.5	8.7	4.3	34.8	2.2
	エリアC	69	14.5	14.5	1.4	5.8	14.5	23.2	1.4
	エリアD	119	10.1	13.4	10.1	8.4	7.6	21.0	3.4
	エリアE	52	5.8	11.5	13.5	5.8	11.5	25.0	-
	エリアF	51	9.8	5.9	13.7	5.9	5.9	23.5	-
	エリアG	56	10.7	16.1	5.4	12.5	1.8	26.8	-
	エリアH	29	13.8	10.3	6.9	13.8	6.9	24.1	-

(%)

※エリア区分はp5を参照

居住エリア別にみると、エリアA・Cでは「日本語」（エリアA：39.5%、エリアC：42.0%）が約4割で他の居住エリアに比べて高くなっている。エリアEでは「災害（地震など）が起きたときの対応」（25.0%）、「老後のこと」（21.2%）が「日本語」（26.9%）に次いで高くなっている。（図表 1-6）

■図表 1-7 普段の生活で困っていることや不安なこと（八潮市での居住年数別）

		n	日本語	税金や保険料の支払い	災害（地震など）が起きたときの対応	福祉制度がわからない	急に病気になったときの対応	老後のこと	物価	仕事・職場
全体		518	32.6	23.2	18.5	16.6	15.6	14.9	14.1	11.2
居八潮市数別の	6ヶ月未満	54	37.0	22.2	14.8	25.9	14.8	5.6	22.2	13.0
	6ヶ月～1年未満	43	46.5	18.6	18.6	25.6	16.3	7.0	4.7	9.3
	1年～3年未満	172	42.4	19.2	17.4	12.2	13.4	7.0	16.3	10.5
	3年～5年未満	66	39.4	30.3	18.2	24.2	16.7	10.6	15.2	9.1
	5年～10年未満	68	19.1	22.1	20.6	17.6	16.2	22.1	13.2	11.8
	10年以上	111	13.5	27.9	21.6	10.8	18.0	33.3	10.8	12.6

(%)

		n	文化・風習	よどこに相談に行けばいいかわからない	子どもの学校・教育	住まい	近所の人との付き合い	特にない	無回答
全体		518	10.8	10.8	8.9	7.1	6.9	23.0	1.4
居八潮市数別の	6ヶ月未満	54	18.5	18.5	3.7	5.6	11.1	22.2	1.9
	6ヶ月～1年未満	43	18.6	20.9	14.0	4.7	7.0	14.0	2.3
	1年～3年未満	172	12.2	7.0	8.1	5.8	8.1	22.7	0.6
	3年～5年未満	66	7.6	13.6	7.6	3.0	7.6	15.2	-
	5年～10年未満	68	7.4	8.8	8.8	13.2	7.4	25.0	1.5
	10年以上	111	5.4	9.0	11.7	9.0	2.7	31.5	2.7

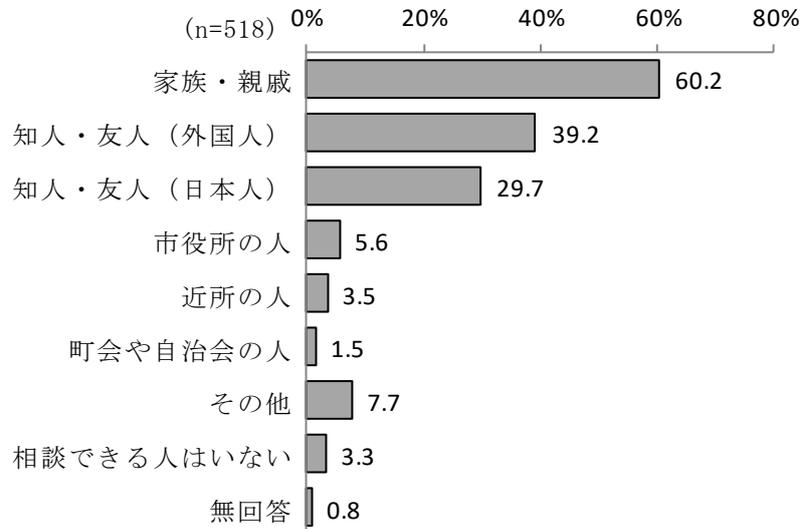
(%)

八潮市での居住年数別にみると、5年未満の層で「日本語」が高い傾向がみられる。3年～5年未満の層では「日本語」（39.4%）に次いで「税金や保険料の支払い」（30.3%）が高い。「老後のこと」は居住年数が長くなるほど割合が高くなる傾向があり、10年以上の層では33.3%と全体を18.4ポイント上回っている。（図表 1-7）

(3) 生活で困ったときの相談先

問 12 あなたが生活で困ったときに、だれに相談しますか。(✓はいくつでも)

■図表 1-8 生活で困ったときの相談先



生活で困ったときの相談先は、「家族・親戚」(60.2%)が6割で最も高い。次いで、「知人・友人(外国人)」(39.2%)、「知人・友人(日本人)」(29.7%)と続いている。(図表 1-8)

■図表 1-9 生活で困ったときの相談先（国籍・地域別）

		n	家族・親戚	知人・友人 (外国人)	知人・友人 (日本人)	市役所の人	近所の人	町会や自治会の人	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体		518	60.2	39.2	29.7	5.6	3.5	1.5	7.7	3.3	0.8
国籍・地域別	中国	112	74.1	39.3	27.7	0.9	2.7	-	5.4	1.8	0.9
	韓国	50	68.0	18.0	36.0	4.0	6.0	2.0	4.0	4.0	-
	フィリピン	107	71.0	35.5	27.1	13.1	1.9	4.7	1.9	3.7	0.9
	ベトナム	147	42.9	42.2	29.9	2.7	2.0	0.7	15.6	3.4	1.4
	その他	98	55.1	49.0	30.6	8.2	7.1	1.0	7.1	4.1	-

(%)

国籍・地域別にみると、中国、韓国、フィリピンは「家族・親戚」（中国：74.1%、韓国：68.0%、フィリピン：71.0%）が7割前後となっている。ベトナム、その他の国籍・地域では「家族・親戚」（ベトナム：42.9%、その他：55.1%）に並び「知人・友人（外国人）」（ベトナム：42.2%、その他：49.0%）も高い。また、フィリピンは「市役所の人」（13.1%）が他の国籍・地域に比べて高くなっている。（図表 1-9）

■図表 1-10 生活で困ったときの相談先（居住エリア別）

		n	家族・親戚	知人・友人 (外国人)	知人・友人 (日本人)	市役所の人	近所の人	町会や自治会の人	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体		518	60.2	39.2	29.7	5.6	3.5	1.5	7.7	3.3	0.8
居住 エリア 別	エリアA	86	53.5	48.8	26.7	5.8	5.8	-	10.5	3.5	1.2
	エリアB	46	63.0	37.0	26.1	6.5	6.5	2.2	6.5	6.5	-
	エリアC	69	55.1	43.5	31.9	5.8	2.9	-	8.7	1.4	-
	エリアD	119	60.5	37.0	30.3	6.7	1.7	4.2	4.2	1.7	1.7
	エリアE	52	75.0	51.9	38.5	-	1.9	-	1.9	-	-
	エリアF	51	72.5	31.4	35.3	3.9	3.9	3.9	7.8	2.0	-
	エリアG	56	50.0	35.7	26.8	7.1	3.6	-	10.7	8.9	-
	エリアH	29	69.0	17.2	17.2	10.3	3.4	-	17.2	3.4	-

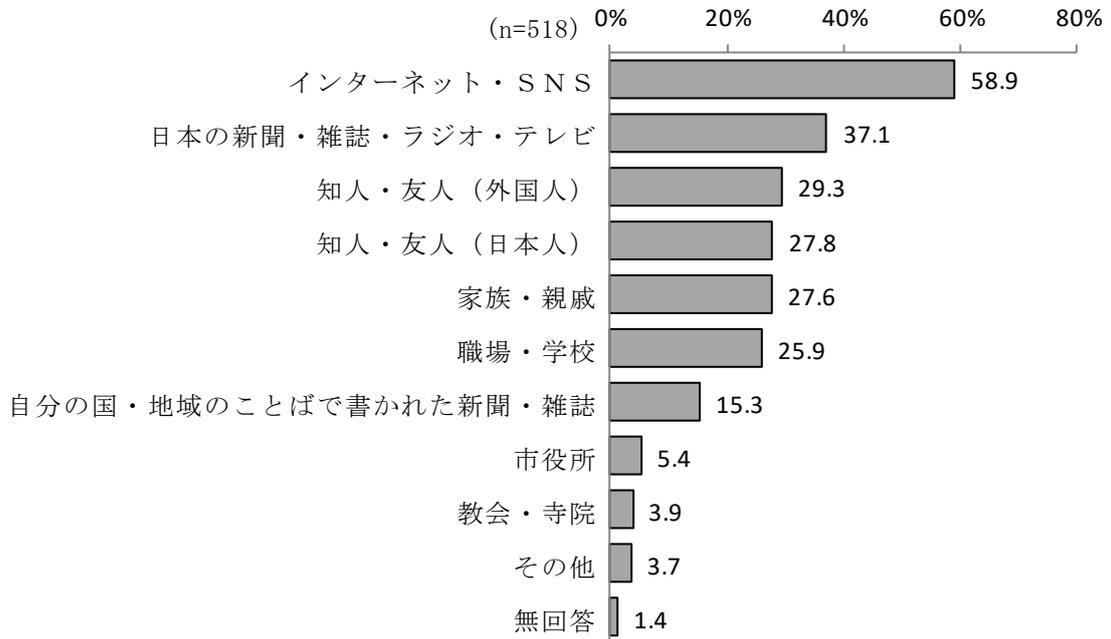
※エリア区分はp5を参照

居住エリア別にみると、エリアE・Fは「家族・親戚」（エリアE：75.0%、エリアF：72.5%）が7割台で他の居住エリアに比べて高い。また、エリアA・Cでは「家族・親戚」（エリアA：53.5%、エリアC：55.1%）に並び「知人・友人（外国人）」（エリアA：48.8%、エリアC：43.5%）も高くなっている。（図表 1-10）

(4) 日本で生活するための情報の入手先

問 13 あなたは、日本で生活するための情報をどのようにして知りますか。(✓はいくつでも)

■図表 1-11 日本で生活するための情報の入手先



日本で生活するための情報の入手先は、「インターネット・SNS」(58.9%)が約6割で最も高い。次いで、「日本の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ」(37.1%)、「知人・友人(外国人)」(29.3%)、「知人・友人(日本人)」(27.8%)、「家族・親戚」(27.6%)、「職場・学校」(25.9%)となっている。(図表 1-11)

■図表 1-12 日本で生活するための情報の入手先（国籍・地域別）

		n	インターネット・SNS	日本の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ	知人・友人（外国人）	知人・友人（日本人）	家族・親戚	職場・学校	自分の国・地域のことで書かれた新聞・雑誌	市役所
全 体		518	58.9	37.1	29.3	27.8	27.6	25.9	15.3	5.4
国籍・地域別	中国	112	54.5	48.2	37.5	31.3	33.9	26.8	19.6	5.4
	韓国	50	52.0	72.0	28.0	32.0	18.0	24.0	2.0	2.0
	フィリピン	107	60.7	38.3	25.2	29.9	43.0	24.3	11.2	12.1
	ベトナム	147	61.9	19.0	24.5	25.9	13.6	27.9	24.5	2.7
	その他	98	63.3	30.6	32.7	23.5	29.6	25.5	8.2	4.1

(%)

		n	教会・寺院	その他	無回答
全 体		518	3.9	3.7	1.4
国籍・地域別	中国	112	-	6.3	-
	韓国	50	2.0	-	-
	フィリピン	107	7.5	5.6	1.9
	ベトナム	147	4.1	2.7	2.0
	その他	98	4.1	2.0	2.0

(%)

国籍・地域別にみると、フィリピン、ベトナム、その他の国籍・地域では「インターネット・SNS」（フィリピン：60.7%、ベトナム：61.9%、その他：63.3%）が6割台となっている。韓国は「日本の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ」が72.0%と突出しており、中国は「知人・友人（外国人）」（37.5%）が他の居住エリアに比べて高くなっている。フィリピンは「家族・親戚」（43.0%）が4割台半ばで全体を15.4ポイント上回る。（図表 1-12）

■図表 1-13 日本で生活するための情報の入手先（居住エリア別）

	n	インターネット・SNS	日本の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ	知人・友人（外国人）	知人・友人（日本人）	家族・親戚	職場・学校	自分の国・地域のことで書かれた新聞・雑誌	市役所	
全体	518	58.9	37.1	29.3	27.8	27.6	25.9	15.3	5.4	
居住エリア別	エリアA	86	54.7	27.9	31.4	22.1	27.9	24.4	12.8	4.7
	エリアB	46	50.0	34.8	28.3	30.4	37.0	17.4	13.0	10.9
	エリアC	69	59.4	42.0	30.4	31.9	24.6	30.4	20.3	2.9
	エリアD	119	63.9	33.6	20.2	21.8	22.7	22.7	16.0	10.1
	エリアE	52	65.4	59.6	44.2	40.4	30.8	46.2	19.2	-
	エリアF	51	64.7	37.3	27.5	29.4	23.5	27.5	11.8	3.9
	エリアG	56	55.4	41.1	37.5	28.6	30.4	21.4	16.1	5.4
	エリアH	29	48.3	34.5	27.6	31.0	37.9	24.1	13.8	-

(%)

	n	教会・寺院	その他	無回答	
全体	518	3.9	3.7	1.4	
居住エリア別	エリアA	86	1.2	2.3	2.3
	エリアB	46	15.2	6.5	-
	エリアC	69	2.9	-	1.4
	エリアD	119	5.0	5.0	0.8
	エリアE	52	1.9	1.9	-
	エリアF	51	-	9.8	-
	エリアG	56	5.4	3.6	-
	エリアH	29	-	-	3.4

(%)

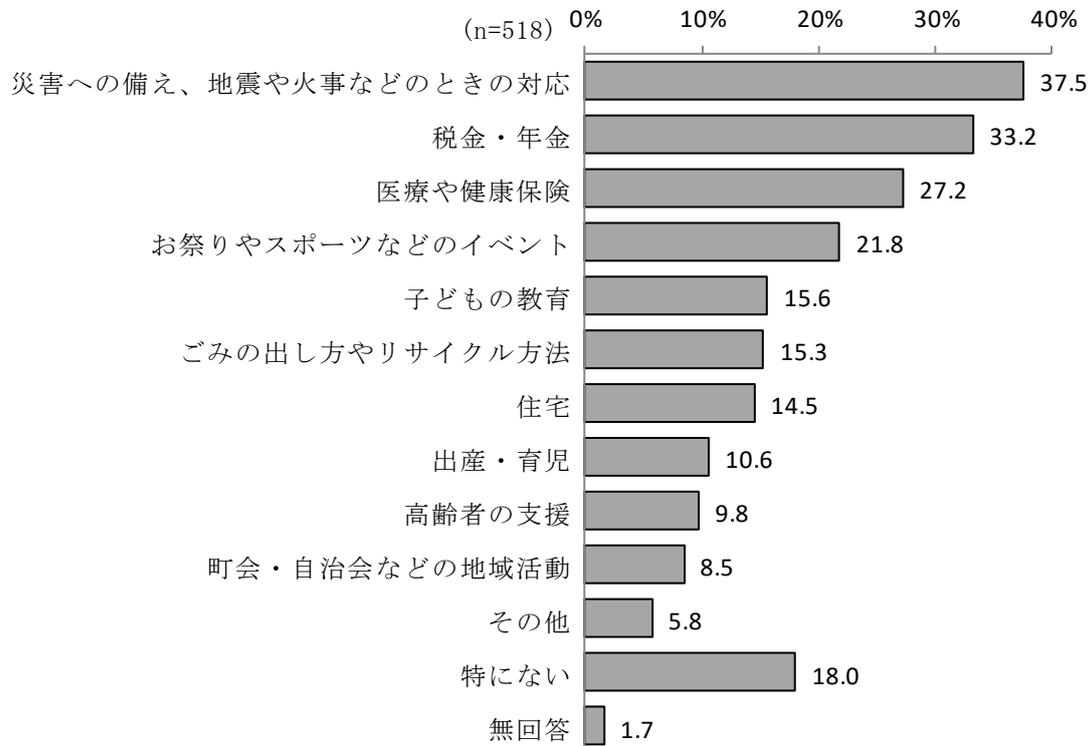
※エリア区分はp5を参照

居住エリア別にみると、すべての居住エリアで「インターネット・SNS」が最も高く、特にエリアD～Fにおいては6割台半ばとなっている。エリアEは「日本の新聞・雑誌・ラジオ・テレビ」(59.6%)が約6割に上り、また、「知人・友人（外国人）」(44.2%)、「知人・友人（日本人）」(40.4%)、「職場・学校」(46.2%)が4割台で他の居住エリアに比べて高い。エリアBでは「家族・親戚」(37.0%)が「インターネット・SNS」に次いで高くなっている。(図表 1-13)

(5) 生活していくうえでもっと知りたい情報

問 14 あなたが生活していくうえで、どんな情報をもっと知りたいですか。(✓はいくつでも)

■図表 1-14 生活していくうえでもっと知りたい情報



生活していくうえでもっと知りたい情報は、「災害への備え、地震や火事などのときの対応」(37.5%)が最も高く、「税金・年金」(33.2%)、「医療や健康保険」(27.2%)、「お祭りやスポーツなどのイベント」(21.8%)と続く。(図表 1-14)

■図表 1-15 生活していくうえでもっと知りたい情報（国籍・地域別）

		n	災害への備え、地震や火事などのときの対応	税金・年金	医療や健康保険	お祭りやスポーツなどのイベント	子どもの教育	ごみの出し方やリサイクル方法	住宅	出産・育児
全体		518	37.5	33.2	27.2	21.8	15.6	15.3	14.5	10.6
国籍・地域別	中国	112	28.6	45.5	38.4	15.2	21.4	8.9	19.6	11.6
	韓国	50	30.0	34.0	18.0	22.0	14.0	10.0	20.0	10.0
	フィリピン	107	52.3	35.5	35.5	18.7	19.6	19.6	16.8	12.1
	ベトナム	147	38.1	27.2	23.1	27.9	10.2	21.8	10.9	8.8
	その他	98	32.7	25.5	16.3	24.5	14.3	9.2	8.2	10.2

(%)

		n	高齢者の支援	町会・自治会などの地域活動	その他	特にない	無回答
全体		518	9.8	8.5	5.8	18.0	1.7
国籍・地域別	中国	112	16.1	8.9	6.3	10.7	-
	韓国	50	4.0	6.0	-	32.0	-
	フィリピン	107	14.0	11.2	4.7	13.1	2.8
	ベトナム	147	6.1	4.8	6.1	17.0	1.4
	その他	98	7.1	12.2	9.2	25.5	4.1

(%)

国籍・地域別にみると、フィリピンは「災害への備え、地震や火事などのときの対応」（52.3%）が全体を 14.8 ポイント上回る。また、中国は「税金・年金」（45.5%）と「医療や健康保険」（38.4%）が上位を占めている。（図表 1-15）

■図表 1-16 生活していくうえでもっと知りたい情報（居住エリア別）

		n	災害への備え、地震や火事などのときの対応	税金・年金	医療や健康保険	お祭りやスポーツなどのイベント	子どもの教育	ゴミの出し方やリサイクル方法	住宅	出産・育児
全 体		518	37.5	33.2	27.2	21.8	15.6	15.3	14.5	10.6
居住エリア別	エリアA	86	38.4	24.4	25.6	22.1	14.0	10.5	9.3	5.8
	エリアB	46	43.5	34.8	30.4	13.0	19.6	17.4	10.9	4.3
	エリアC	69	34.8	42.0	23.2	24.6	5.8	13.0	11.6	4.3
	エリアD	119	40.3	32.8	27.7	24.4	12.6	21.8	14.3	10.9
	エリアE	52	32.7	34.6	32.7	26.9	25.0	15.4	21.2	26.9
	エリアF	51	43.1	37.3	31.4	19.6	27.5	13.7	19.6	15.7
	エリアG	56	35.7	33.9	25.0	23.2	17.9	12.5	19.6	12.5
	エリアH	29	31.0	34.5	31.0	17.2	13.8	13.8	17.2	10.3

(%)

		n	高齢者の支援	地域活動 町会・自治会などの	その他	特 に な い	無 回 答
全 体		518	9.8	8.5	5.8	18.0	1.7
居住エリア別	エリアA	86	14.0	7.0	7.0	22.1	1.2
	エリアB	46	10.9	4.3	6.5	17.4	2.2
	エリアC	69	10.1	8.7	4.3	18.8	2.9
	エリアD	119	7.6	10.9	6.7	17.6	1.7
	エリアE	52	7.7	19.2	1.9	19.2	-
	エリアF	51	7.8	-	5.9	5.9	-
	エリアG	56	14.3	12.5	7.1	17.9	1.8
	エリアH	29	6.9	-	6.9	10.3	3.4

(%)

※エリア区分はp5を参照

居住エリア別にみると、エリアB・D・Fでは「災害への備え、地震や火事などのときの対応」（エリアB：43.5%、エリアD：40.3%、エリアF：43.1%）が4割台となっている。エリアCでは「税金・年金」（42.0%）が最も高い。エリアE～Fでは「子どもの教育」（エリアE：25.0%、エリアF：27.5%）が他の居住エリアに比べて高く、また、エリアEは「出産・育児」（26.9%）も同様に高くなっている。（図表 1-16）

■図表 1-17 生活していくうえでもっと知りたい情報（八潮市での居住年数別）

	n	災害への備え、地震や火事などのときの対応	税金・年金	医療や健康保険	お祭りやスポーツなどのイベント	子どもの教育	ごみの出し方やリサイクル方法	住宅	出産・育児
全体	518	37.5	33.2	27.2	21.8	15.6	15.3	14.5	10.6
八潮市 居住年数別の	6ヶ月未満	54	38.9	33.3	29.6	13.0	29.6	25.9	16.7
	6ヶ月～1年未満	43	34.9	23.3	23.3	16.3	25.6	11.6	20.9
	1年～3年未満	172	36.6	28.5	24.4	11.6	15.7	11.0	8.7
	3年～5年未満	66	34.8	42.4	28.8	19.7	12.1	13.6	9.1
	5年～10年未満	68	39.7	45.6	38.2	14.7	8.8	19.1	16.2
	10年以上	111	39.6	31.5	22.5	8.1	12.6	9.9	13.5

(%)

	n	高齢者の支援	町会・地域活動・自治会などの	その他	特にな	無回答	
全体	518	9.8	8.5	5.8	18.0	1.7	
八潮市 居住年数別の	6ヶ月未満	54	7.4	13.0	3.7	11.1	-
	6ヶ月～1年未満	43	9.3	11.6	11.6	14.0	-
	1年～3年未満	172	6.4	6.4	5.2	18.6	1.2
	3年～5年未満	66	10.6	10.6	9.1	18.2	1.5
	5年～10年未満	68	8.8	8.8	1.5	13.2	1.5
	10年以上	111	17.1	7.2	6.3	23.4	4.5

(%)

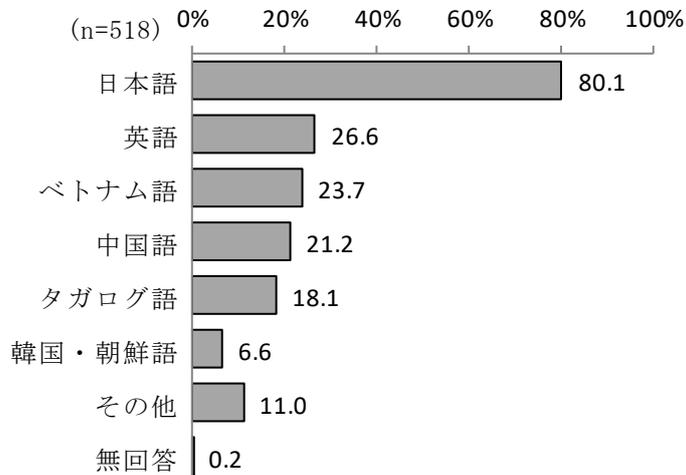
八潮市での居住年数別にみると、年数が短いほど「ごみの出し方やリサイクル方法」の割合が高くなる傾向があり、6ヶ月未満の層は29.6%で全体を14.3ポイント上回る。また、6ヶ月～1年未満の層では「お祭りやスポーツなどのイベント」(37.2%)が全体を15.4ポイント上回っている。3年～10年未満の層では「税金・年金」(3年～5年未満:42.4%、5年～10年未満:45.6%)が4割台半ばとなっている。(図表 1-17)

2. ことばについて

(1) 普段よく使う言葉

問 15 あなたが普段よく使う言葉はどれですか。(✓はいくつでも)

■図表 2-1 普段よく使う言葉



普段よく使う言葉を複数回答で聴取したところ、「日本語」(80.1%)が8割となった。次いで、「英語」(26.6%)、「ベトナム語」(23.7%)、「中国語」(21.2%)、「タガログ語」(18.1%)、「韓国・朝鮮語」(6.6%)となっている。(図表 2-1)

■図表 2-2 普段よく使う言葉（国籍・地域別）

		n	日本語	英語	ベトナム語	中国語	タガログ語	韓国・朝鮮語	その他	無回答
全 体		518	80.1	26.6	23.7	21.2	18.1	6.6	11.0	0.2
国籍・地域別	中国	112	87.5	12.5	-	86.6	-	5.4	0.9	-
	韓国	50	92.0	8.0	-	-	-	50.0	-	2.0
	フィリピン	107	76.6	59.8	0.9	-	86.9	1.9	4.7	-
	ベトナム	147	78.2	4.8	82.3	0.7	-	-	-	-
	その他	98	71.4	49.0	-	12.2	-	1.0	52.0	-

(%)

国籍・地域別にみると、韓国は「日本語」（92.0%）が9割を超え、「韓国・朝鮮語」は5割にとどまった。中国は「日本語」（87.5%）、「中国語」（86.6%）が僅差で並ぶ。また、フィリピン、ベトナムは「日本語」（フィリピン：76.6%、ベトナム：78.2%）よりも母国語の方が割合が高く、フィリピンは「タガログ語」が86.9%、ベトナムは「ベトナム語」が82.3%となっている。（図表 2-2）

■図表 2-3 普段よく使う言葉（日本での居住年数別）

		n	日本語	英語	ベトナム語	中国語	タガログ語	韓国・朝鮮語	その他	無回答
全 体		518	80.1	26.6	23.7	21.2	18.1	6.6	11.0	0.2
居住年数別の 日本での	6ヶ月未満	18	61.1	27.8	38.9	27.8	11.1	-	16.7	-
	6ヶ月～1年未満	27	70.4	29.6	40.7	14.8	14.8	-	11.1	-
	1年～3年未満	140	75.7	28.6	44.3	11.4	18.6	3.6	9.3	-
	3年～5年未満	65	75.4	21.5	27.7	23.1	10.8	7.7	10.8	-
	5年～10年未満	63	69.8	30.2	15.9	33.3	23.8	7.9	12.7	-
	10年以上	203	91.1	25.6	7.4	24.1	19.7	8.9	10.8	0.5

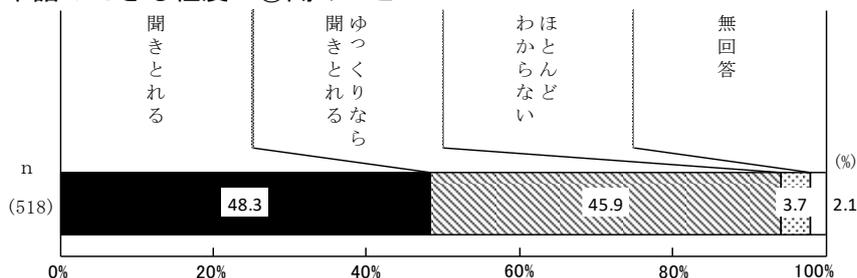
(%)

日本での居住年数別にみると、10年以上の層では「日本語」が91.1%と9割を超える。一方、5年～10年未満の層では「日本語」が69.8%と全体を10.3ポイント下回り、「英語」（30.2%）、「中国語」（33.3%）、「タガログ語」（23.8%）が他の層に比べて高くなっている。「ベトナム語」は1年～3年未満の層で44.3%と全体を大きく上回り、3年以上の層では年数が長くなるほど割合が低くなる傾向がみられる。（図表 2-3）

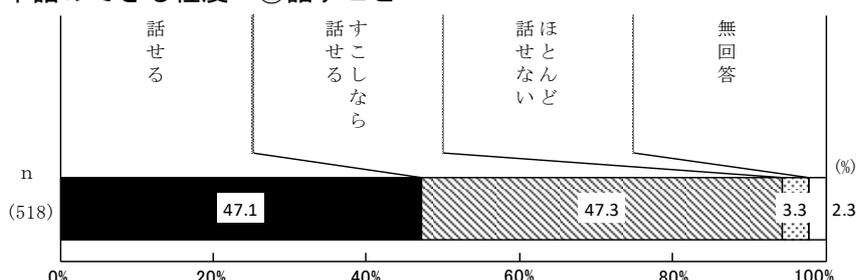
(2) 日本語のできる程度

問 16 あなたは日本語がどれくらいわかりますか。(✓はそれぞれひとつ)

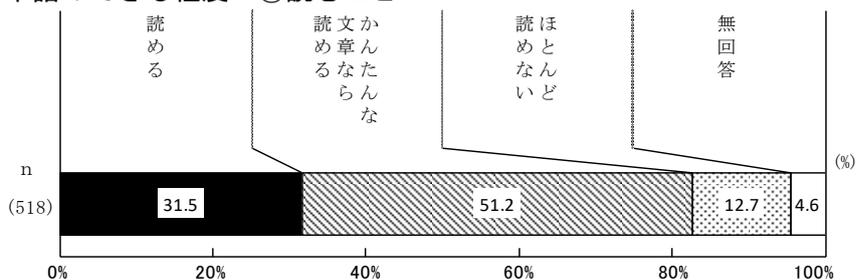
■ 図表 2-4 日本語のできる程度 ①聞くこと



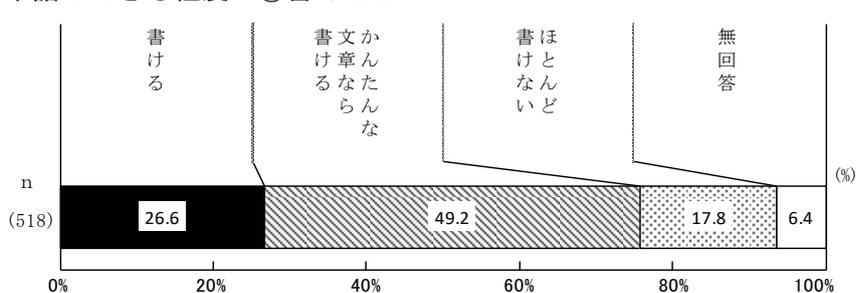
■ 図表 2-5 日本語のできる程度 ②話すこと



■ 図表 2-6 日本語のできる程度 ③読むこと



■ 図表 2-7 日本語のできる程度 ④書くこと



どれくらい日本語がわかるか尋ねたところ、聞くことについては、「聞きとれる」が48.3%、「ゆっくりなら聞きとれる」が45.9%となった。これらを合わせると、日本語を聞きとれると回答した人の割合は9割以上を占める。(図表 2-4)

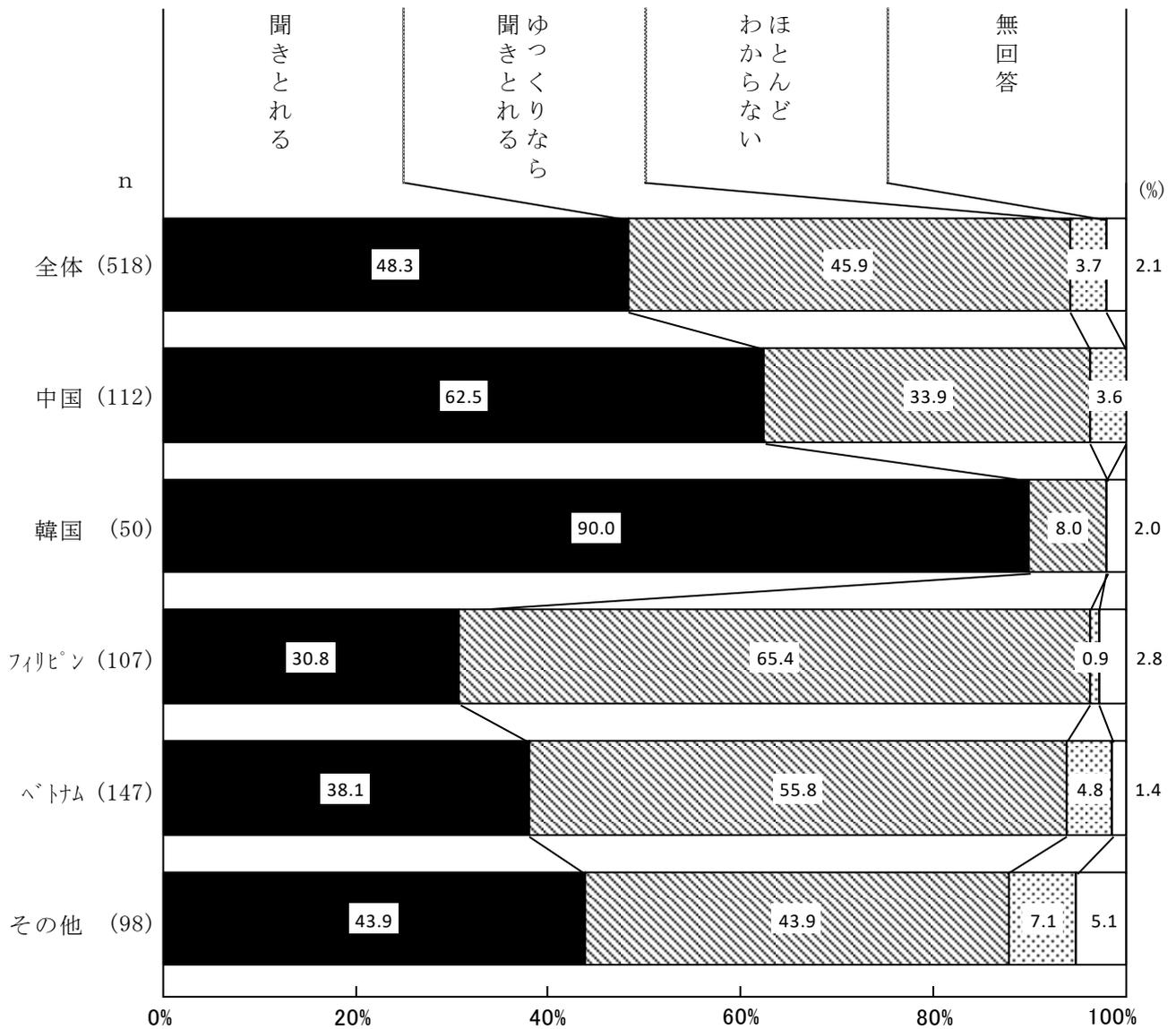
話すことについては、「話せる」が47.1%、「すこしなら話せる」が47.3%となった。これらを合わせると、日本語を話せると回答した人の割合は9割以上を占める。(図表 2-5)

読むことについては、「かんたんな文章なら読める」(51.2%)が過半数を占める。次いで、「読める」が31.5%、「ほとんど読めない」が12.7%となっている。(図表 2-6)

書くことについては、「かんたんな文章なら書ける」(49.2%)が約5割を占める。次いで、「書ける」が26.6%、「ほとんど書けない」が17.8%となっている。(図表 2-7)

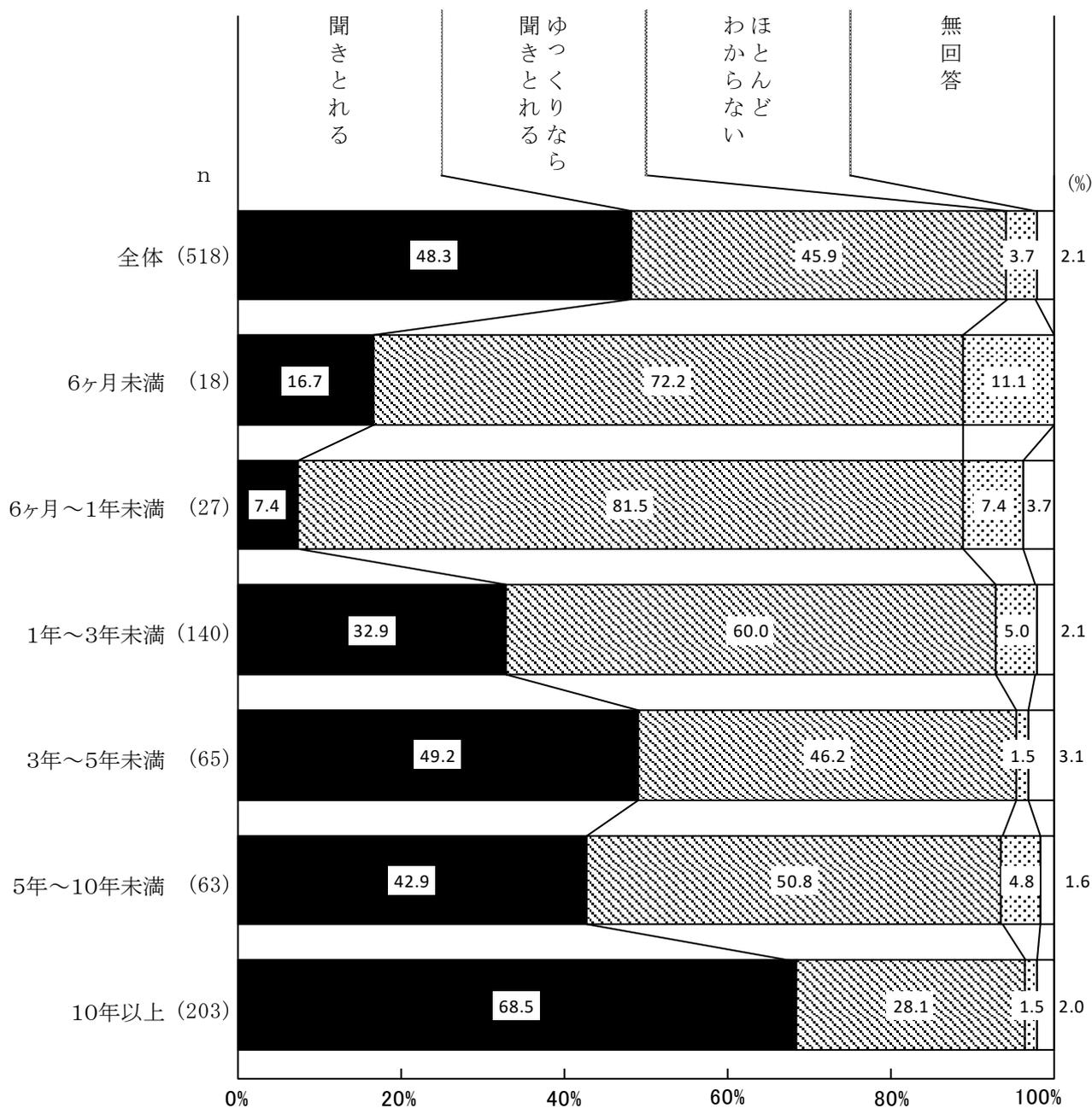
①聞くこと

■図表 2-8 日本語のできる程度 ①聞くこと (国籍・地域別)



日本語を聞くことについて国籍・地域別にみると、韓国は「聞きとれる」が9割を占めている。フィリピン、ベトナムは「聞きとれる」(フィリピン：30.8%、ベトナム：38.1%)が3割台にとどまるものの、「ゆっくりなら聞きとれる」と合わせると、日本語を聞きとれると回答した人の割合は、いずれも9割以上となっている。(図表 2-8)

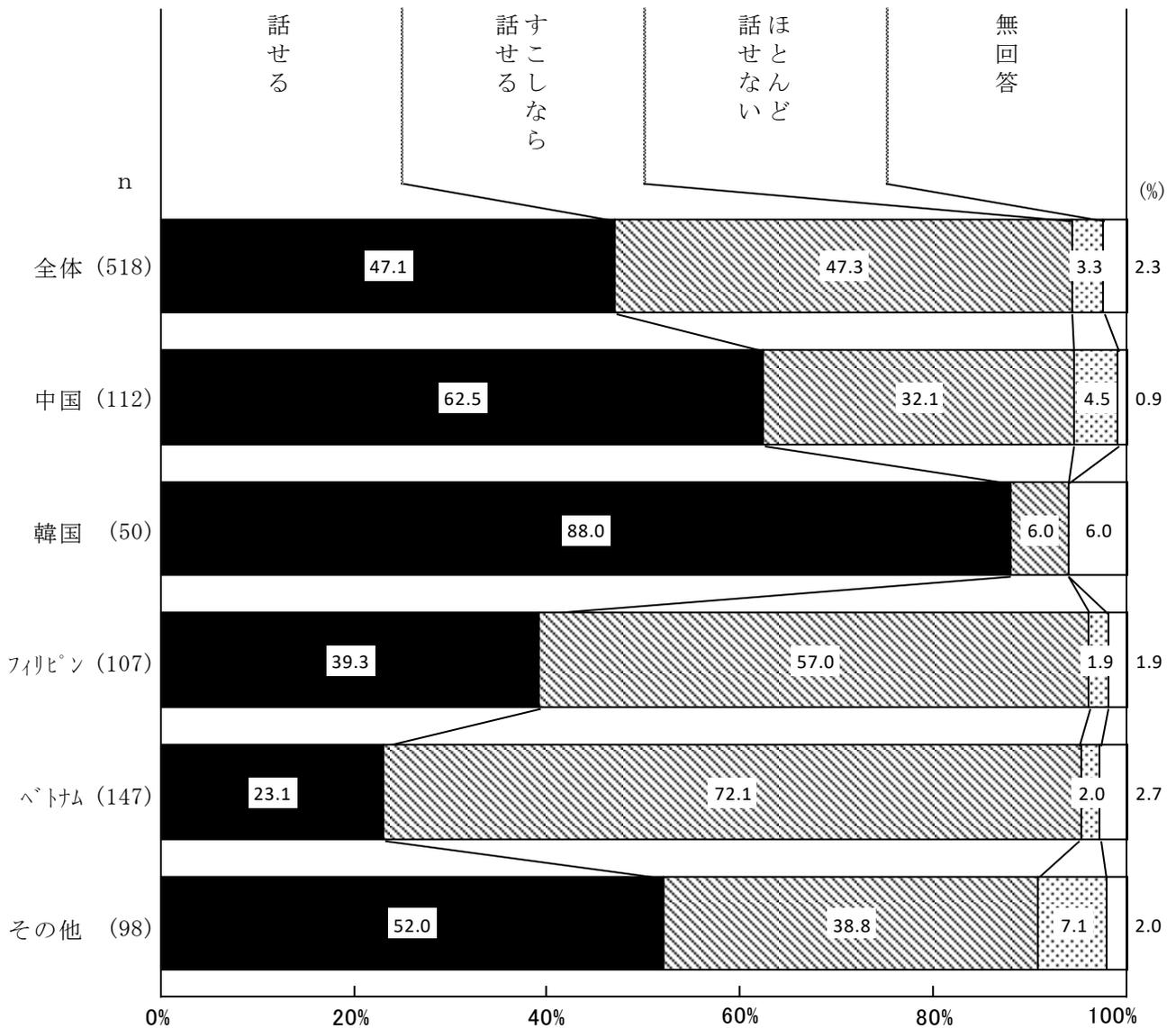
■図表 2-9 日本語のできる程度 ①聞くこと (日本での居住年数別)



日本での居住年数別にみると、1年～3年未満の層では「聞きとれる」割合が全体を15.4ポイント下回り、「ゆっくりなら聞きとれる」(60.0%)が6割を占める。10年以上の層では「聞きとれる」(68.5%)が約7割となっている。(図表 2-9)

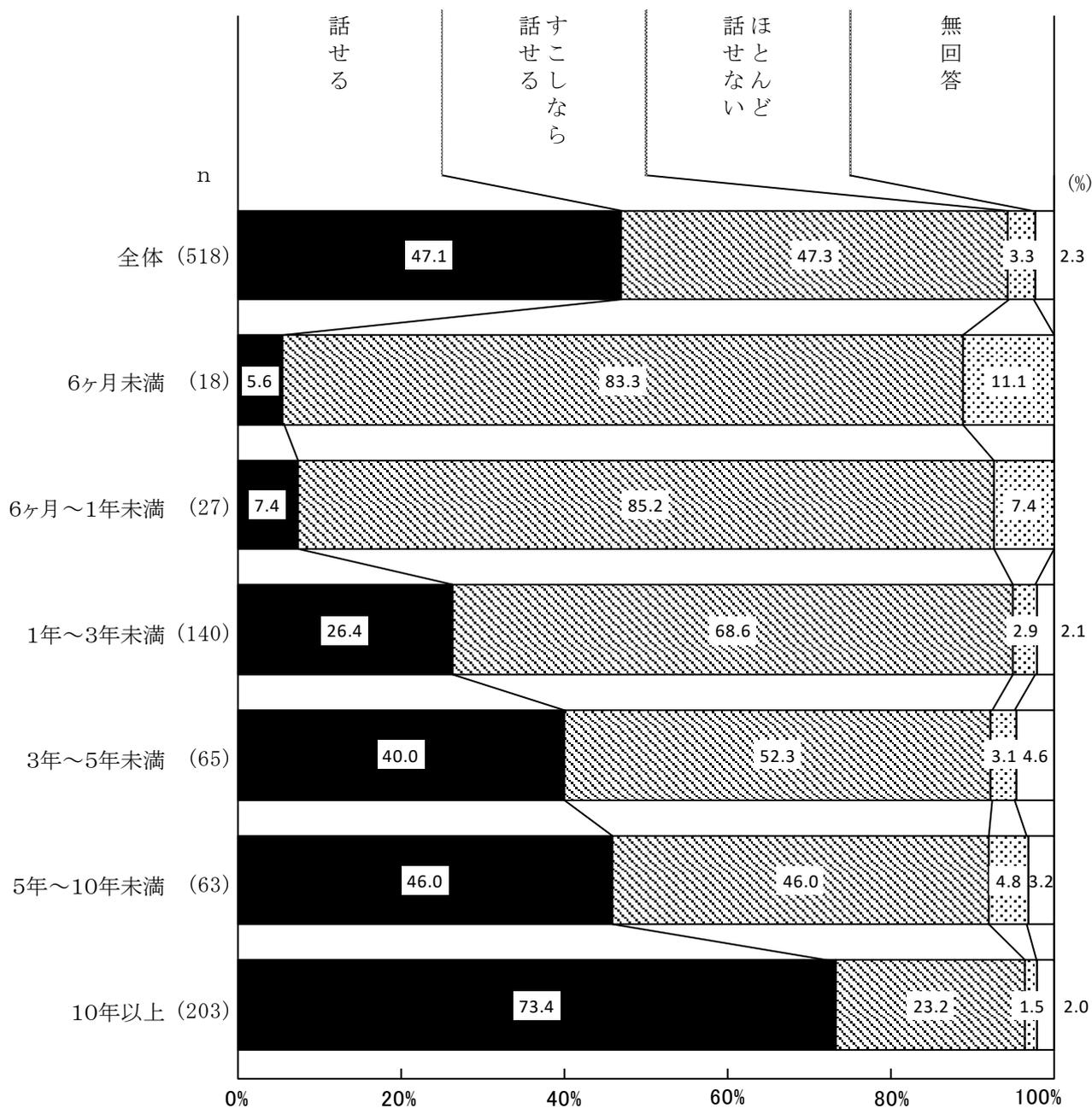
②話すこと

■図表 2-10 日本語のできる程度 ②話すこと (国籍・地域別)



日本語を話すことについて国籍・地域別にみると、韓国は「話せる」(88.0%)が突出して高い。ベトナムは「すこしなら話せる」(72.1%)が最も高く、「話せる」は23.1%で他の国籍・地域に比べて低くなっている。(図表 2-10)

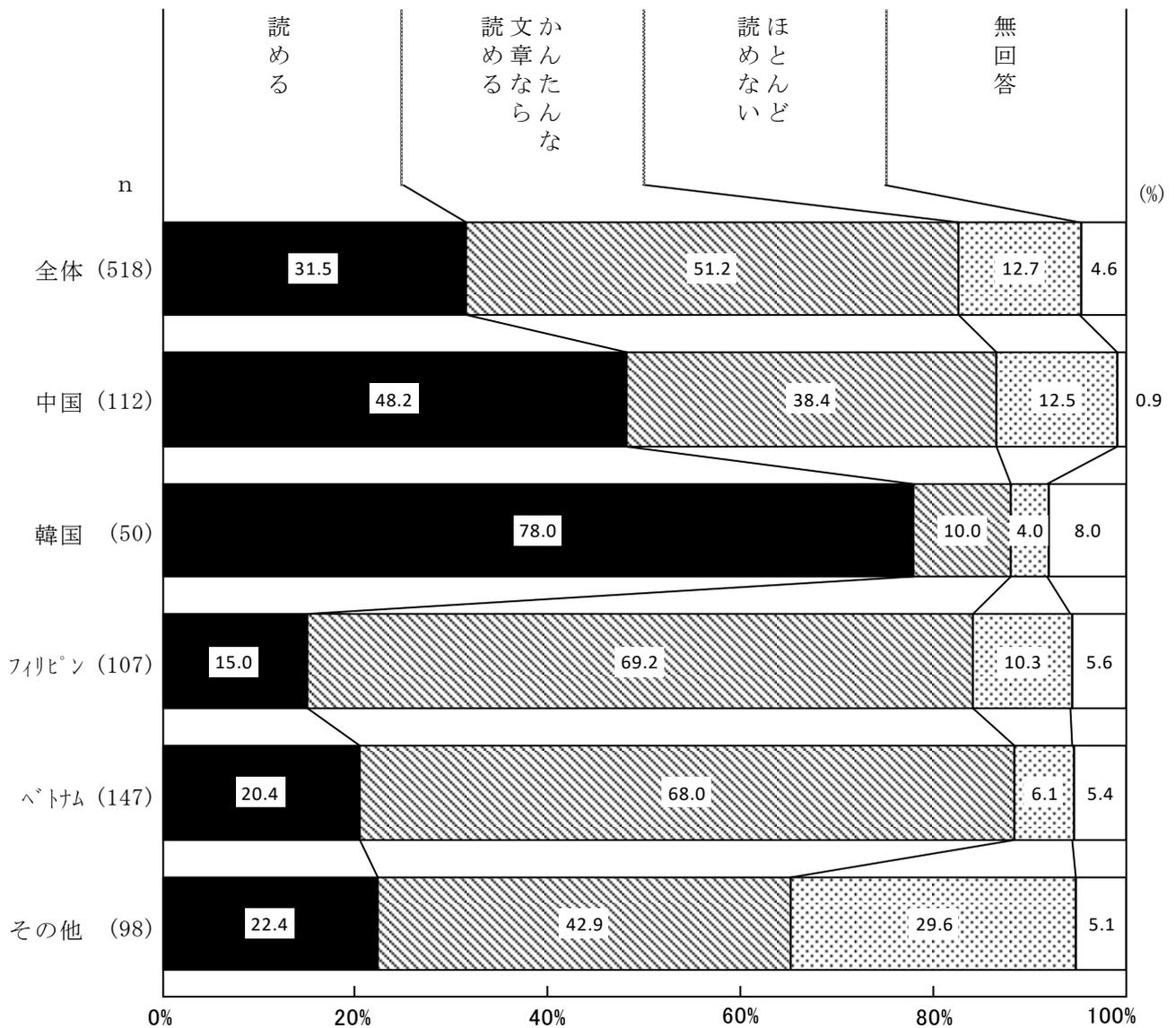
■図表 2-11 日本語のできる程度 ②話すこと（日本での居住年数別）



日本での居住年数別にみると、年数が長くなるほど「話せる」割合が高くなる傾向がみられ、10年以上では73.4%と7割台半ばを占める。(図表 2-11)

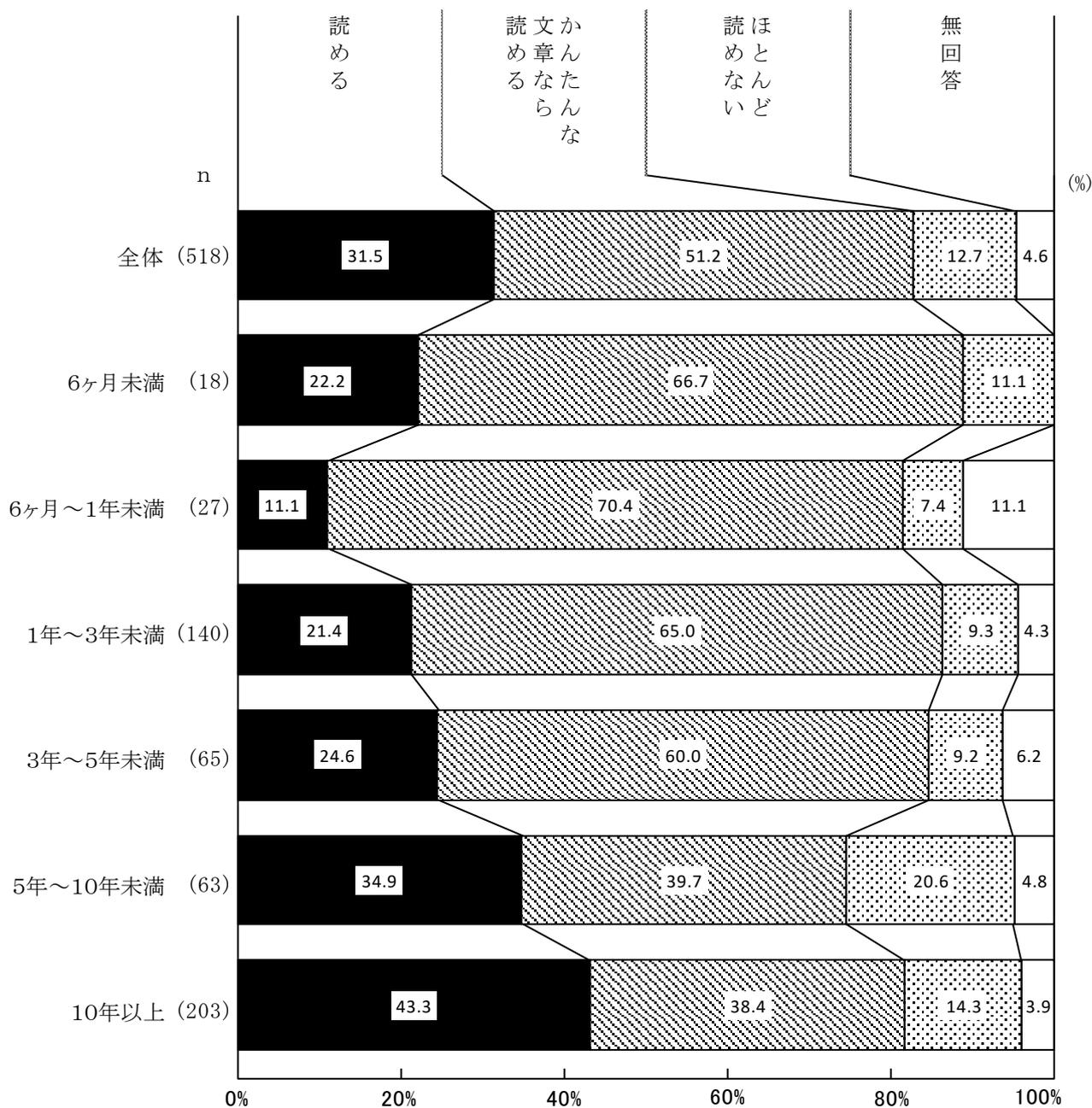
③読むこと

■図表 2-12 日本語のできる程度 ③読むこと (国籍・地域別)



日本語を読むことについて国籍・地域別にみると、韓国は「読める」(78.0%)が突出して高い。フィリピン、ベトナムは「かんたんな文章なら読める」(フィリピン:69.2%、ベトナム:68.0%)が約7割となっている。また、その他の国籍・地域では「ほとんど読めない」が29.6%で他の国籍・地域に比べて高くなっている。(図表 2-12)

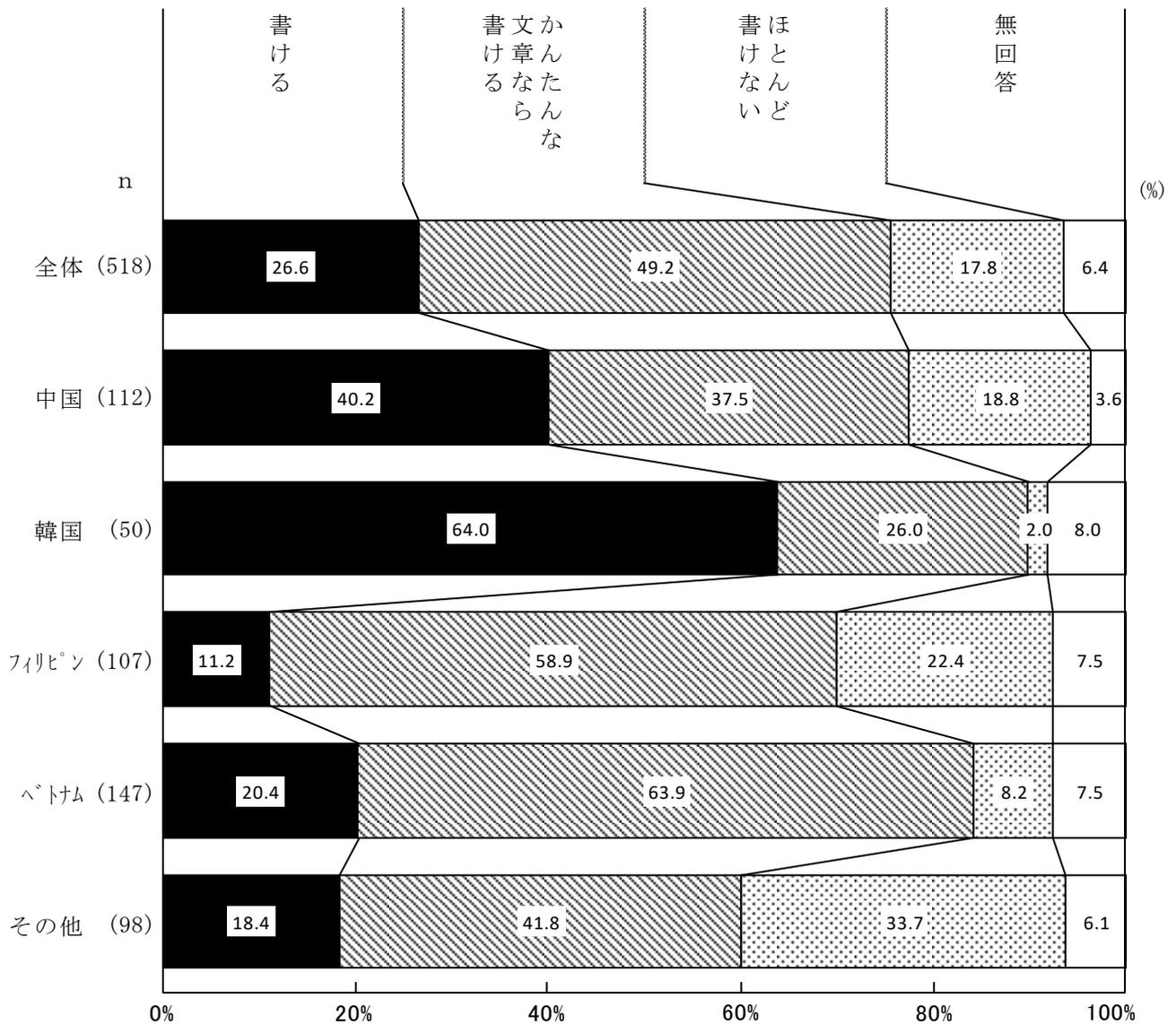
■図表 2-13 日本語のできる程度 ③読むこと（日本での居住年数別）



日本での居住年数別にみると、年数が長くなるほど「読める」割合が高くなる傾向がみられるものの、10年以上の層においても43.3%と5割に満たない。また、5年～10年未満の層では「ほとんど読めない」(20.6%)が2割となっている。(図表 2-13)

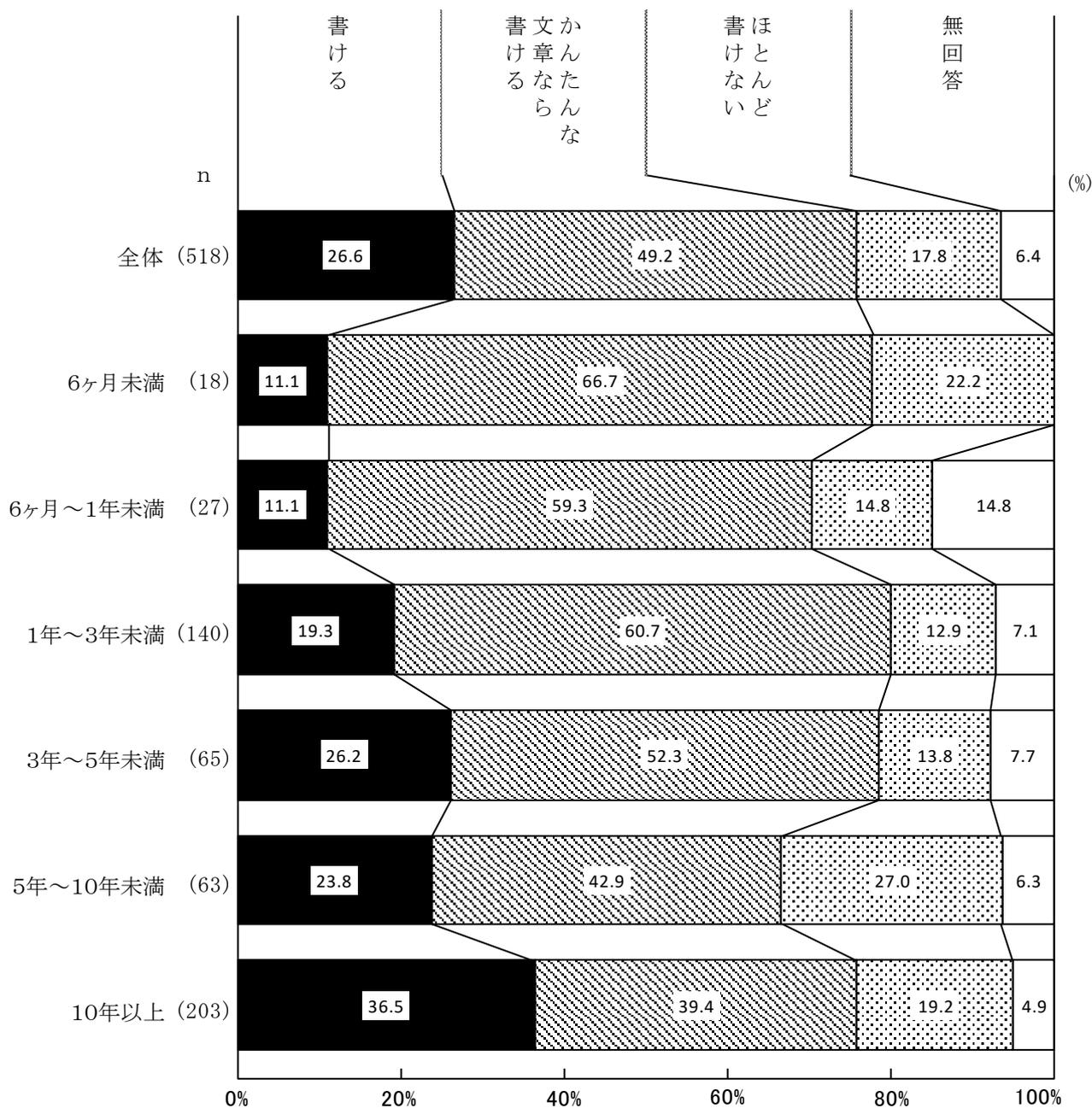
④書くこと

■図表 2-14 日本語のできる程度 ④書くこと (国籍・地域別)



日本語を書くことについて国籍・地域別にみると、韓国は「書ける」(64.0%)が6割台半ばとなっている。フィリピン、ベトナムは「かんたんな文章なら書ける」(フィリピン:58.9%、ベトナム:63.9%)が6割前後で、その他の国籍・地域においては「ほとんど書けない」(33.7%)が他の国籍・地域に比べて高くなっている。(図表 2-14)

■図表 2-15 日本語のできる程度 ④書くこと（日本での居住年数別）

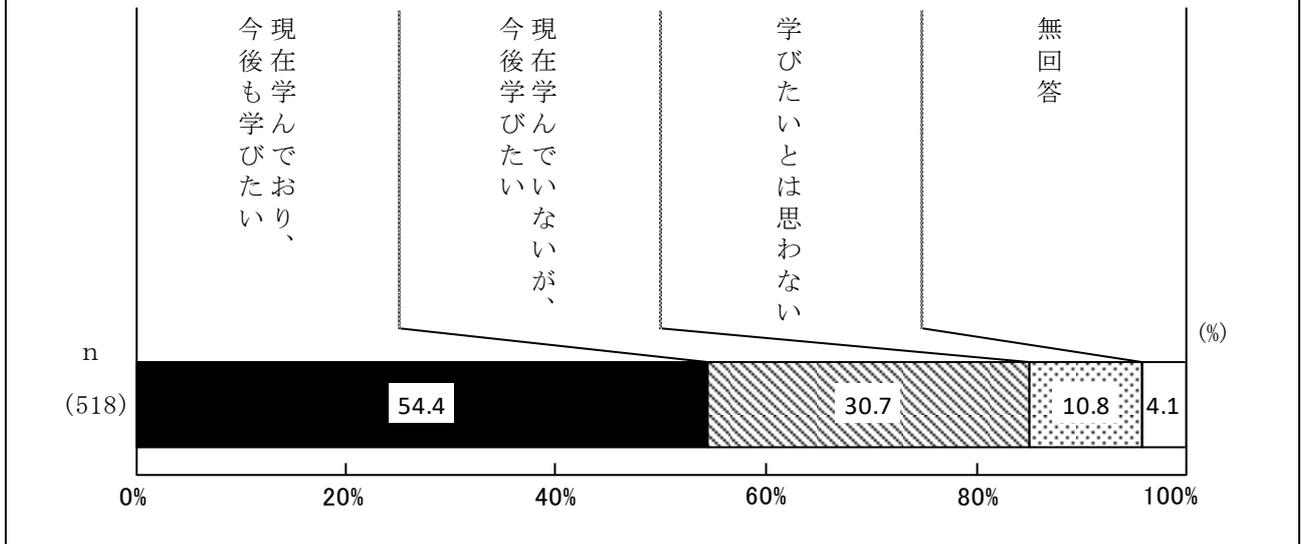


日本での居住年数別にみると、概ね年数が長いほど「書ける」割合が高くなる傾向がみられるものの、10年以上の層においても36.5%と4割に満たない。また、5年～10年未満の層では「書ける」と「かんたんな文章なら書ける」を合わせた割合が66.7%で他の層に比べて低く、「ほとんど書けない」(27.0%)が全体を9.2ポイント上回っている。(図表 2-15)

(3) 日本語の学習意向

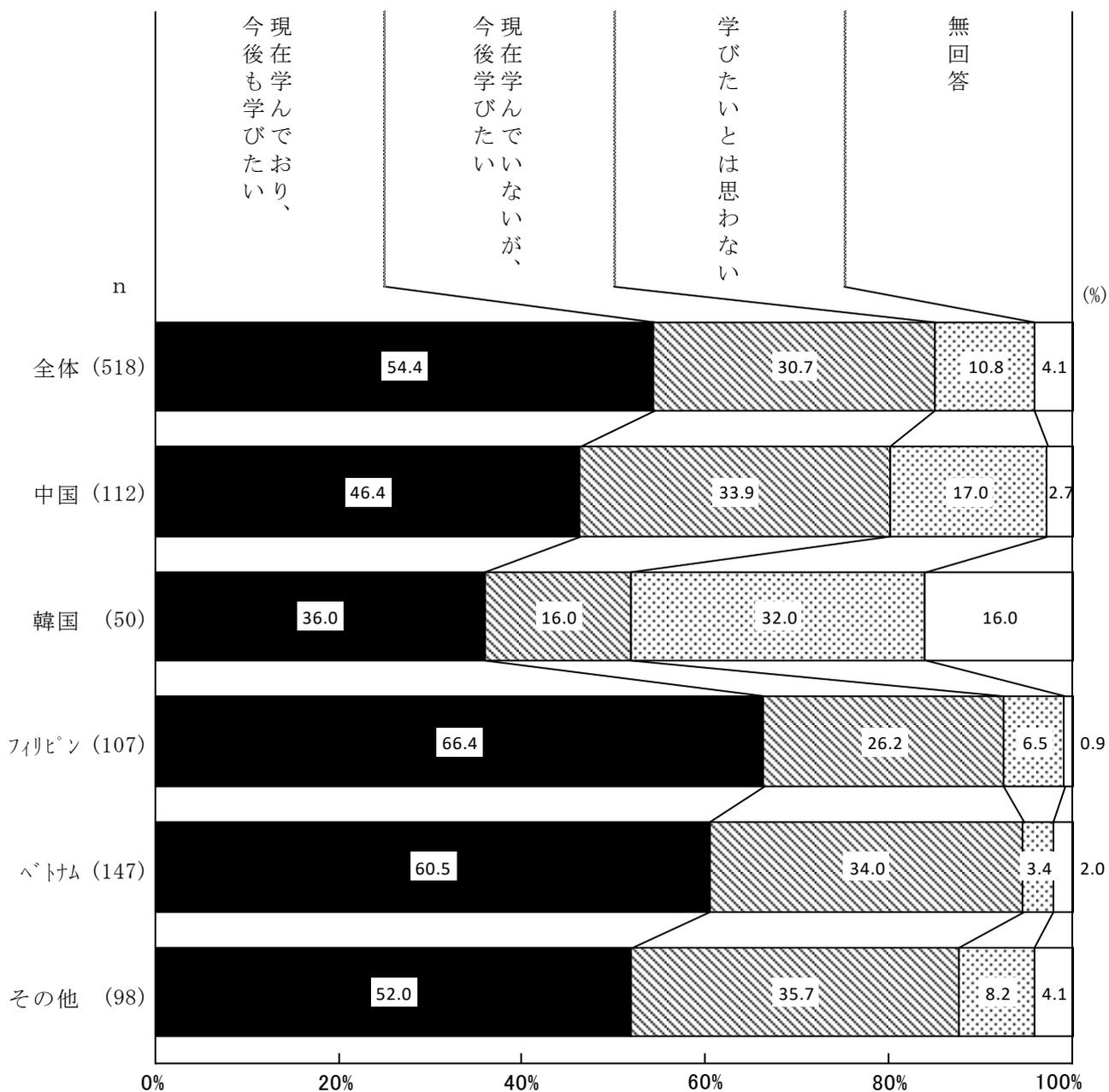
問 17 あなたは日本語を学びたいですか。(✓はひとつ)

■図表 2-16 日本語の学習意向



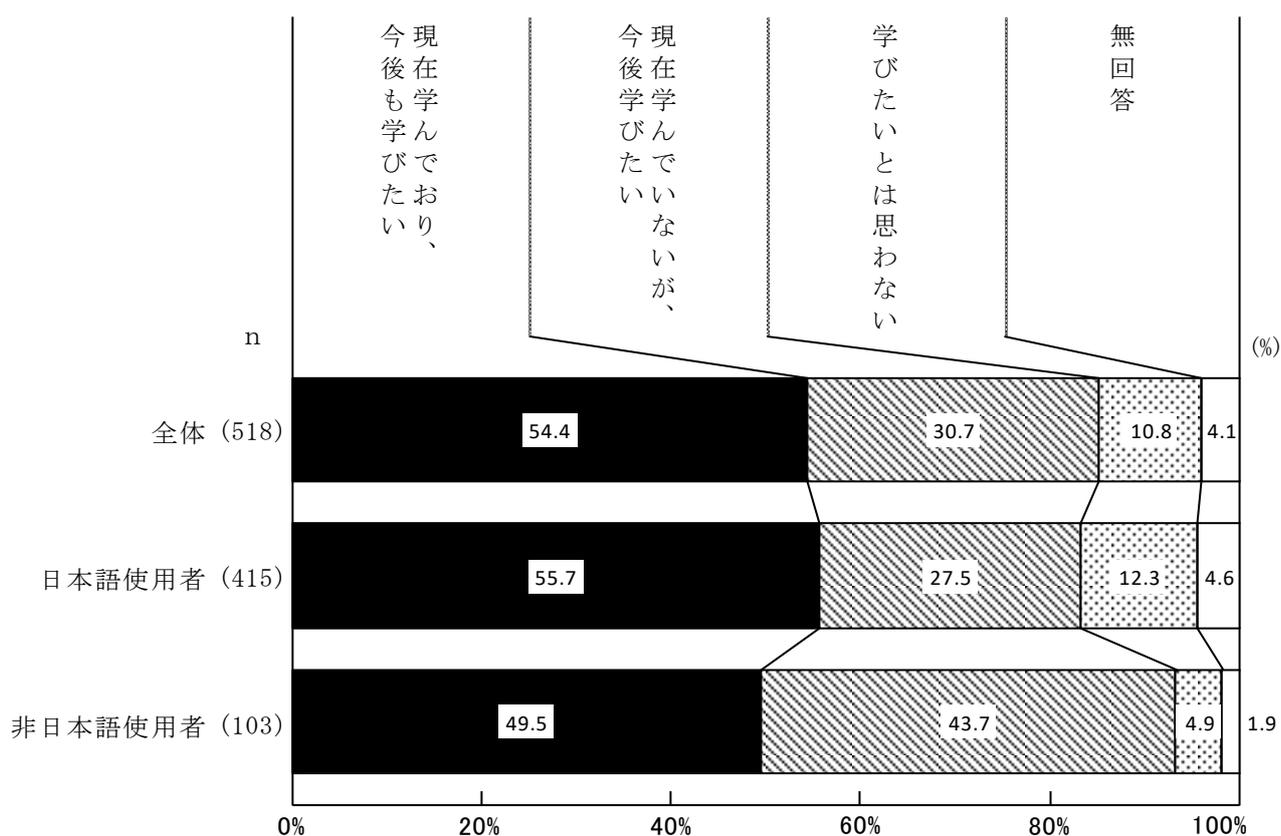
日本語の学習意向は、「現在学んでおり、今後も学びたい」が 54.4%で最も高く、「現在学んでいないが、今後学びたい」(30.7%)と合わせると、日本語を学びたいと回答した人(以降、“日本語学習意向者”と表す)は 85.1%を占める。(図表 2-16)

■ 図表 2-17 日本語の学習意向（国籍・地域別）



国籍・地域別にみると、フィリピン、ベトナムは「現在学んでおり、今後も学びたい」（フィリピン：66.4%、ベトナム：60.5%）が6割台で、「現在学んでいないが、今後学びたい」と合わせると、いずれも日本語学習意向者は9割以上を占める。（図表 2-17）

■図表 2-18 日本語の学習意向（使用言語別）



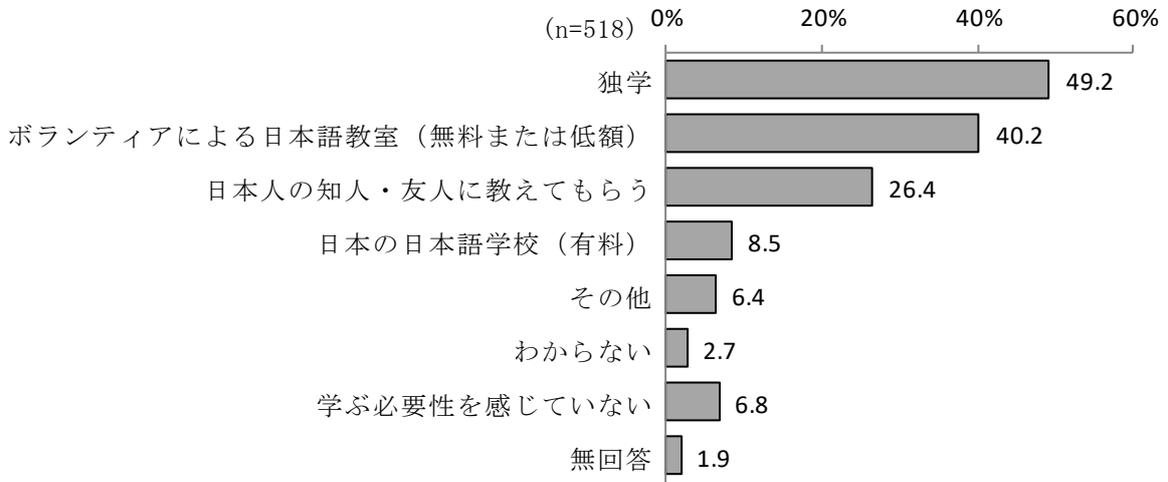
※使用言語…問 15（普段よく使う言葉）で「日本語」を選択した人を「日本語使用者」、
選択しなかった人を「非日本語使用者」として集計した。

使用言語（※）別にみると、「現在学んでおり、今後も学びたい」（日本語使用者：55.7%、非日本語使用者：49.5%）は日本語使用者の方が非日本語使用者よりも6.2ポイント高くなっている。また、非日本語使用者は「現在学んでいないが、今後学びたい」（43.7%）が4割台半ばで、日本語学習意向者は93.2%となり、日本語使用者よりも高い。（図表 2-18）

(4) 希望する日本語の学習方法

問 18 どのような方法で日本語を学びたいと思いますか。(✓はいくつでも)

■図表 2-19 希望する日本語の学習方法



希望する日本語の学習方法は、「独学」が 49.2%で最も高く、次いで、「ボランティアによる日本語教室 (無料または低額)」(40.2%)、「日本人の知人・友人に教えてもらう」(26.4%)となっている。(図表 2-19)

■図表 2-20 希望する日本語の学習方法（国籍・地域別）

		n	独学	ボランティアによる日本語教室 （無料または低額）	日本人の知人・友人に教えて もらう	日本の日本語学校（有料）	その他	わからない	学ぶ必要性を感じていない	無回答
全 体		518	49.2	40.2	26.4	8.5	6.4	2.7	6.8	1.9
国籍・ 地域 別	中国	112	53.6	33.9	23.2	6.3	8.0	1.8	8.9	2.7
	韓国	50	18.0	6.0	18.0	4.0	16.0	6.0	32.0	8.0
	フィリピン	107	60.7	41.1	36.4	8.4	3.7	0.9	1.9	0.9
	ベトナム	147	44.2	57.8	27.9	8.2	2.0	2.0	0.7	0.7
	その他	98	55.1	38.8	21.4	14.3	9.2	5.1	5.1	1.0

(%)

国籍・地域別にみると、中国、フィリピン、その他の国籍・地域では「独学」（中国：53.6%、フィリピン：60.7%、その他：55.1%）が5割台半ば～6割となっている。そのほか、ベトナムは「ボランティアによる日本語教室（無料または低額）」（57.8%）が約6割で最も高く、フィリピンは「日本人の知人・友人に教えてもらう」（36.4%）が全体を10ポイント上回る。（図表 2-20）

■図表 2-21 希望する日本語の学習方法（使用言語別）

		n	独学	ボランティアによる日本語教室 (無料または低額)	日本人の知人・友人に教えて もらう	日本の日本語学校(有料)	その他	わからない	学ぶ必要性を感じていない	無回答
全 体		518	49.2	40.2	26.4	8.5	6.4	2.7	6.8	1.9
言語 使用 別	日本語使用者	415	49.9	38.6	28.9	7.7	6.5	2.2	8.2	2.2
	非日本語使用者	103	46.6	46.6	16.5	11.7	5.8	4.9	1.0	1.0

※使用言語…問 15（普段よく使う言葉）で「日本語」を選択した人を「日本語使用者」、
選択しなかった人を「非日本語使用者」として集計した。

(%)

使用言語（※）別にみると、「ボランティアによる日本語教室（無料または低額）」（日本語使用者：38.6%、非日本語使用者：46.6%）は日本語使用者よりも非日本語使用者の方が8ポイント高くなっている。反対に、「日本人の知人・友人に教えてもらう」（日本語使用者：28.9%、非日本語使用者：16.5%）は日本語使用者の方が非日本語使用者よりも12.4ポイント高くなっている。（図表 2-21）

■図表 2-22 希望する日本語の学習方法（日本語の学習意向別）

		n	独学	ボランティアによる日本語教室 (無料または低額)	日本人の知人・友人に教えてもらう	日本の日本語学校(有料)	その他	わからない	学ぶ必要性を感じていない	無回答
全 体		518	49.2	40.2	26.4	8.5	6.4	2.7	6.8	1.9
学習意向別の日本語の	現在学んでおり、今後も学びたい	282	59.9	42.2	33.7	10.6	8.2	-	0.7	-
	現在学んでいないが、今後学びたい	159	44.0	54.1	22.0	6.9	3.1	5.7	0.6	-
	学びたいとは思わない	56	25.0	-	8.9	1.8	7.1	8.9	46.4	5.4

(%)

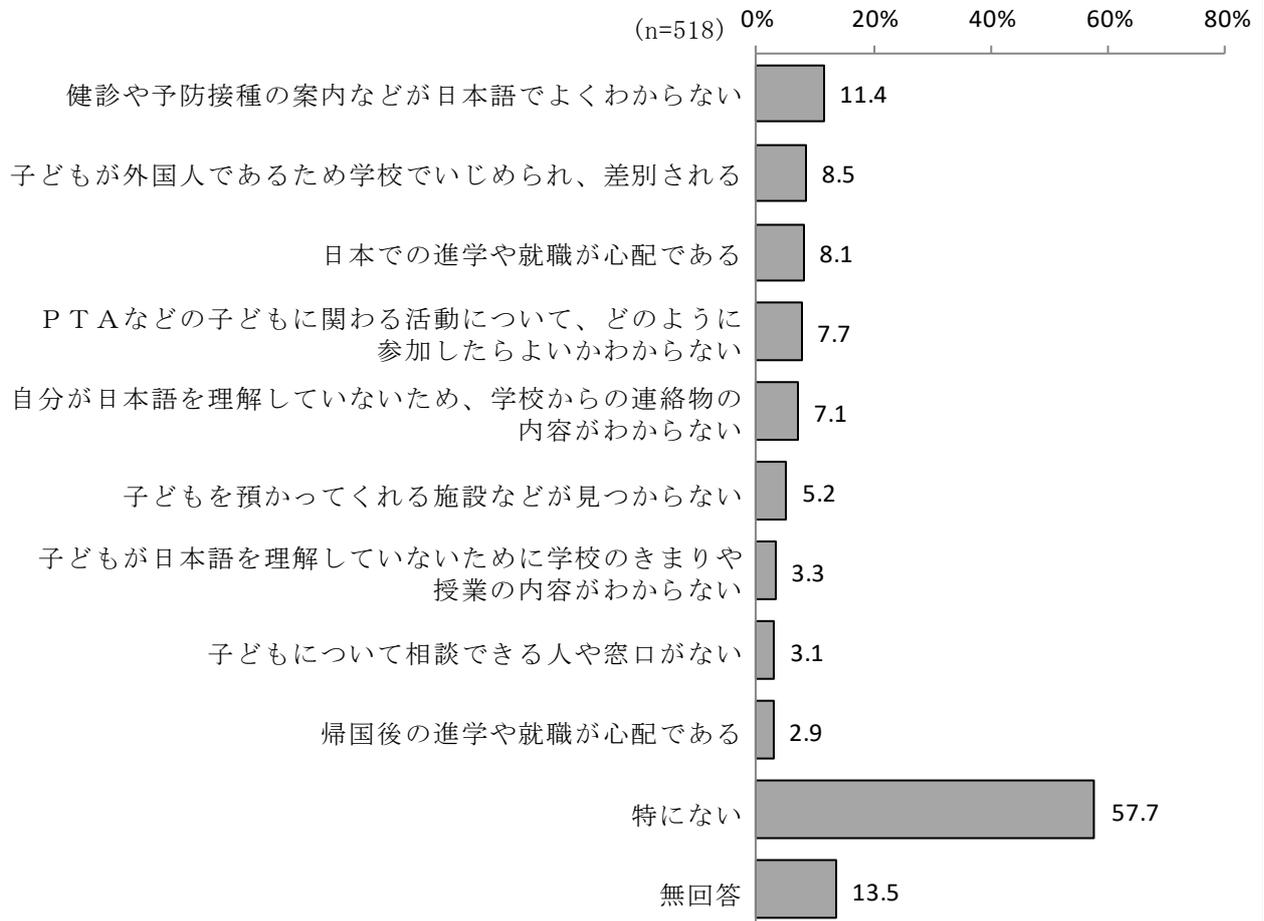
日本語の学習意向別にみると、「現在学んでおり、今後も学びたい」と回答した層は「独学」(59.9%)が約6割に上る。また、「現在学んでいないが、今後学びたい」と回答した層は「ボランティアによる日本語教室(無料または低額)」(54.1%)が最も高くなっている。(図表 2-22)

3. 教育と子育てについて

(1) 子どもの学校や教育、子育てについての不安・悩み

問 19 子どもの学校や教育、子育てについての不安・悩みは何ですか。(✓はいくつでも)

■図表 3-1 子どもの学校や教育、子育てについての不安・悩み



子どもの学校や教育、子育てについての不安・悩みは、「特にない」が 57.7%で最も高い。次いで、「健診や予防接種の案内などが日本語でよくわからない」(11.4%)、「子どもが外国人であるため学校でいじめられ、差別される」(8.5%)、「日本での進学や就職が心配である」(8.1%) などとなっている。(図表 3-1)

■図表 3-2 子どもの学校や教育、子育てについての不安・悩み（国籍・地域別）

		n	健診や予防接種の案内などが日本語でよくわからない	子どもが外国人であるため、学校でいじめられ、差別される	日本での進学や就職が心配である	P T A などの子どもに関わる活動について、どのように参加したらよいかわからない	自分や学校からの連絡物の内容がわからない	子どもを預かってくれる施設などが見つからない	子どもが日本語を理解していないため、学校のきまりや授業の内容がわからない	子どもについて相談できる人や窓口がない
全 体		518	11.4	8.5	8.1	7.7	7.1	5.2	3.3	3.1
国籍・地域別	中国	112	9.8	10.7	13.4	8.9	8.0	6.3	4.5	6.3
	韓国	50	4.0	4.0	10.0	2.0	-	6.0	-	-
	フィリピン	107	15.9	10.3	5.6	8.4	10.3	2.8	2.8	0.9
	ベトナム	147	12.2	6.1	7.5	7.5	7.5	6.8	4.8	4.8
	その他	98	11.2	10.2	5.1	9.2	6.1	4.1	2.0	1.0

		n	帰国後の進学や就職が心配である	特にない	無回答
全 体		518	2.9	57.7	13.5
国籍・地域別	中国	112	1.8	58.0	11.6
	韓国	50	2.0	66.0	20.0
	フィリピン	107	3.7	46.7	15.9
	ベトナム	147	5.4	59.2	11.6
	その他	98	-	61.2	13.3

国籍・地域別にみると、すべての国籍・地域で「特にない」が最も高い。そのほか、フィリピン、ベトナムは「健診や予防接種の案内などが日本語でよくわからない」（フィリピン：15.9%、ベトナム：12.2%）が、中国、韓国は「日本での進学や就職が心配である」（中国：13.4%、韓国：10.0%）が、「特にない」の次に高くなっている。（図表 3-2）

■図表 3-3 子どもの学校や教育、子育てについての不安・悩み（同居の子どもの年齢別）

	n	よ い か わ か ら な い	P T A な ど の 子 ど も に 関 わ る 活 動	日 本 語 で よ く わ か ら な い	健 診 や 予 防 接 種 の 案 内 な ど が	わ か ら な い	自 分 が 日 本 語 を 理 解 し て い な い た め、 学 校 か ら の 連 絡 物 の 内 容 が	日 本 で の 進 学 や 就 職 が 心 配 で あ る	学 校 で い じ め ら れ、 差 別 さ れ る	子 ど も が 外 国 人 で あ る た め、 差 別 さ れ る	子 ど も を 預 か つ て く れ る 施 設 な ど が 見 つ か ら な い	子 ど も が 日 本 語 を 理 解 し て い な い た め、 学 校 の き ま り や 授 業 の 内 容 が わ か ら な い	子 ど も に つ い て 相 談 で き る 人 や 窓 口 が な い
全 体	95	22.1	21.1	21.1	20.0	20.0	9.5	8.4	4.2				
同 居 の 年 齢 子 ど も	0～5歳	43	34.9	23.3	25.6	20.9	27.9	16.3	14.0	2.3			
	6～11歳	39	20.5	25.6	28.2	17.9	20.5	7.7	10.3	7.7			
	12～17歳	43	9.3	11.6	18.6	14.0	11.6	2.3	2.3	2.3			

(%)

	n	帰 国 後 の 進 学 や 就 職 が 心 配 で あ る	特 に な い	無 回 答
全 体	95	-	38.9	2.1
同 居 の 年 齢 子 ど も	0～5歳	43	-	23.3
	6～11歳	39	-	38.5
	12～17歳	43	-	60.5

(%)

※nは問5（同居者）で「子ども」を選択した人、かつ問6（同居者の年齢）で「0～5歳」「6～11歳」「12～17歳」のいずれかを選択した人

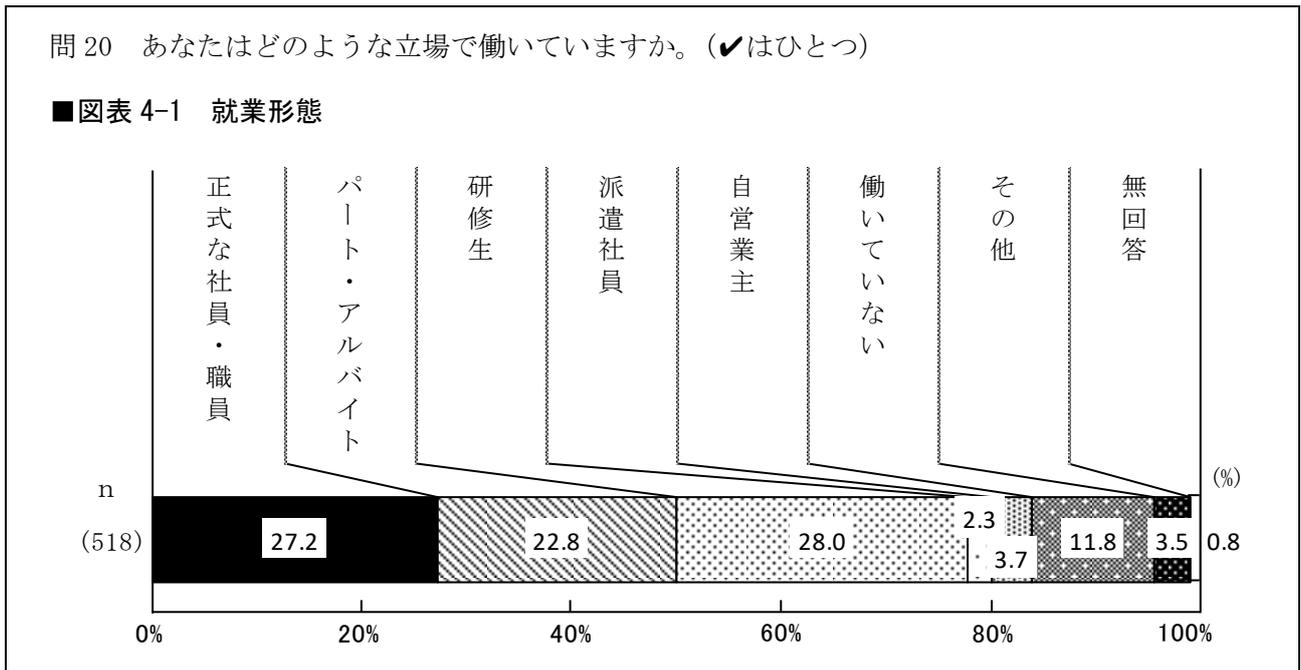
同居の子どもの年齢別にみると、0～5歳の子どもと同居している層は「PTAなどの子どもに関わる活動について、どのように参加したらよいかわからない」（34.9%）が最も高い。6～11歳の子どもと同居している層は「自分が日本語を理解していないため、学校からの連絡物の内容がわからない」（28.2%）が約3割で「特にない」（38.5%）の次に高くなっている。12～17歳の子どもと同居している層は「特にない」（60.5%）が6割を占める。（図表 3-3）

4. 仕事と医療・保険について

(1) 就業形態

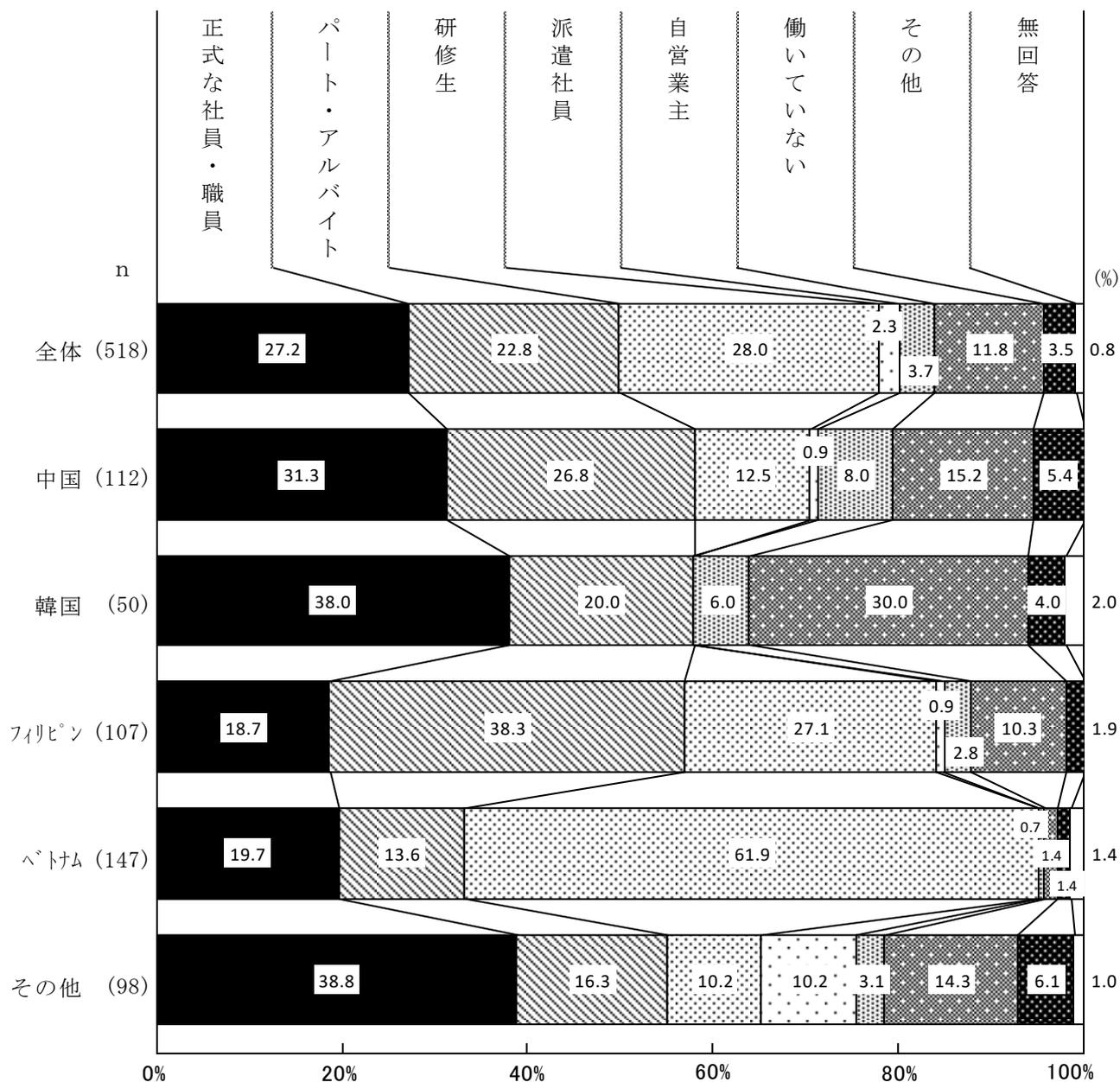
問 20 あなたはどのような立場で働いていますか。(✓はひとつ)

■図表 4-1 就業形態



就業形態は、「研修生」が28.0%で最も高く、「正式な社員・職員」(27.2%)、「パート・アルバイト」(22.8%)も2割台となっている。(図表 4-1)

■図表 4-2 就業形態（国籍・地域別）

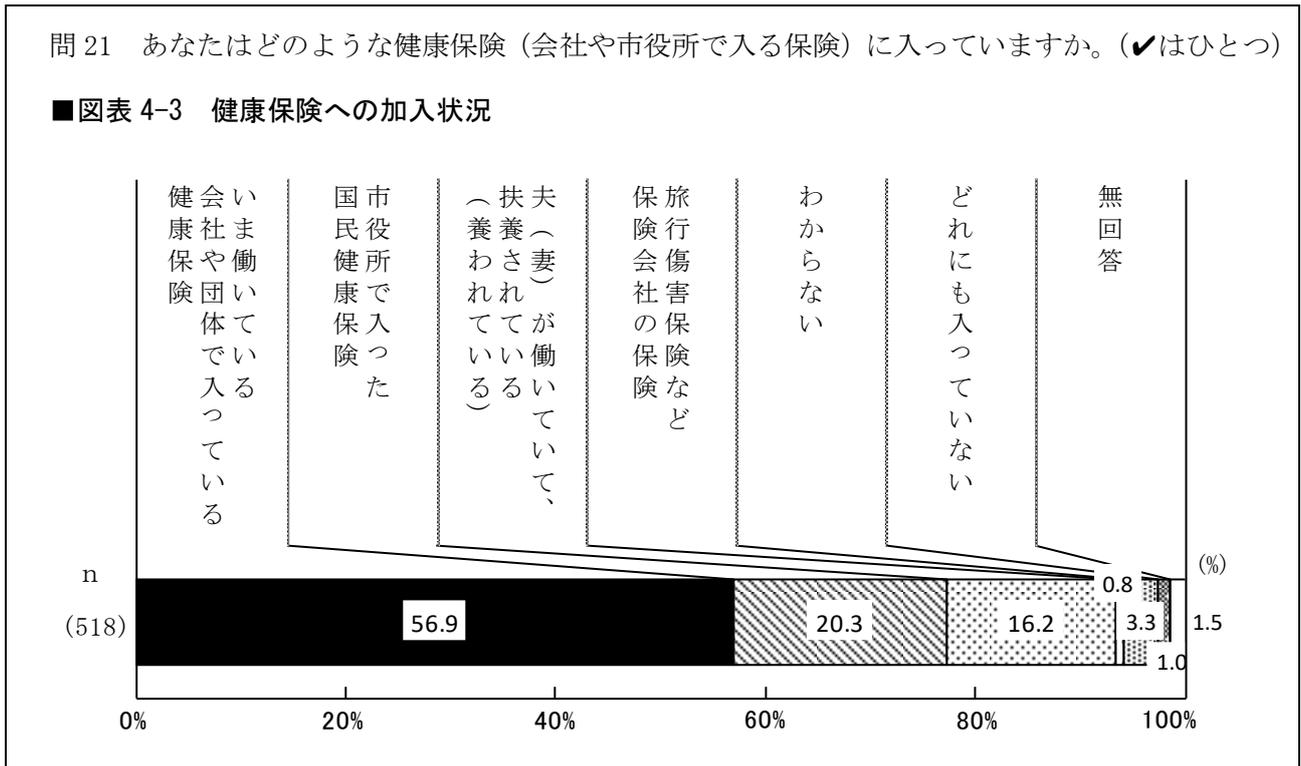


国籍・地域別にみると、中国、韓国、その他の国籍・地域では「正式な社員・職員」（中国：31.3%、韓国：38.0%、その他：38.8%）が最も高い。フィリピンは「パート・アルバイト」（38.3%）が最も高く、次いで「研修生」が27.1%となっている。ベトナムは「研修生」（61.9%）が6割を超え、就業している割合が他の国籍・地域に比べて高くなっている。（図表 4-2）

(2) 健康保険への加入状況

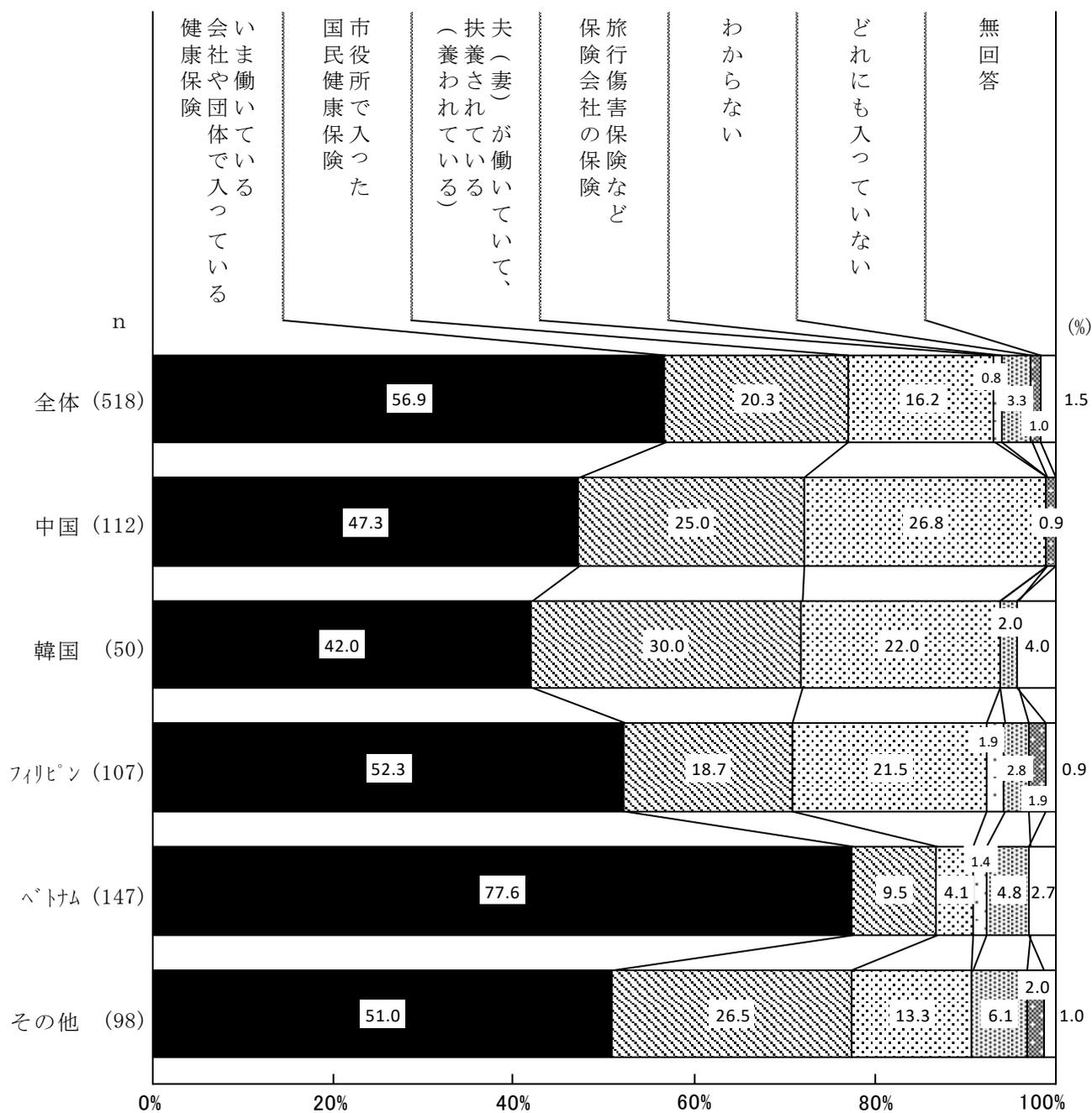
問 21 あなたはどのような健康保険（会社や市役所で入る保険）に入っていますか。（✓はひとつ）

■図表 4-3 健康保険への加入状況



健康保険への加入状況は、「現在働いている会社や団体に入っている健康保険」が 56.9%で最も高く、次いで、「市役所で入った国民健康保険」(20.3%)、「夫(妻)が働いていて、扶養されている(養われている)」(16.2%)となっている。(図表 4-3)

■図表 4-4 健康保険への加入状況（国籍・地域別）

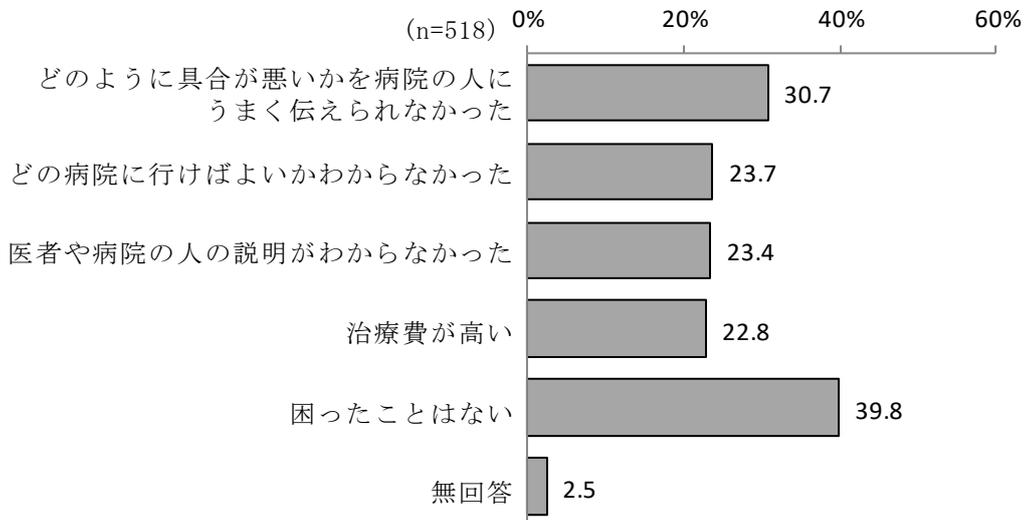


国籍・地域別にみると、ベトナムは「いま働いている会社や団体で入っている健康保険」（77.6%）が突出して高い。（図表 4-4）

(3) 自身や家族が病気になったときに困ったこと

問 22 あなたやあなたの家族が病気になったとき、困ったことは何ですか。(✓はいくつでも)

■図表 4-5 自身や家族が病気になったときに困ったこと



回答者自身や家族が病気になったときに困ったことは、「どのように具合が悪いかを病院の人にうまく伝えられなかった」(30.7%)、「どの病院に行けばよいかわからなかった」(23.7%)、「医者や病院の人の説明がわからなかった」(23.4%)、「治療費が高い」(22.8%)の順となった。一方、「困ったことはない」が39.8%で最も高い。(図表 4-5)

■図表 4-6 自身や家族が病気になったときに困ったこと（国籍・地域別）

		n	な病どの か院のよ つたうに た人に具 うま合 くが 伝悪 えい らか れを	わどの かから らな な か つ た 行 け ば よ い か	わ医 か者 らや な病 な院 か つ た の 人 の 説 明 が	治 療 費 が 高 い	困 っ た こ と は な い	無 回 答
全	体	518	30.7	23.7	23.4	22.8	39.8	2.5
国 籍 ・ 地 域 別	中国	112	23.2	33.0	17.9	20.5	39.3	1.8
	韓国	50	14.0	18.0	2.0	22.0	58.0	4.0
	フィリピン	107	30.8	20.6	20.6	35.5	38.3	-
	ベトナム	147	46.3	21.8	37.4	19.7	29.3	2.7
	その他	98	24.5	23.5	22.4	17.3	46.9	5.1

(%)

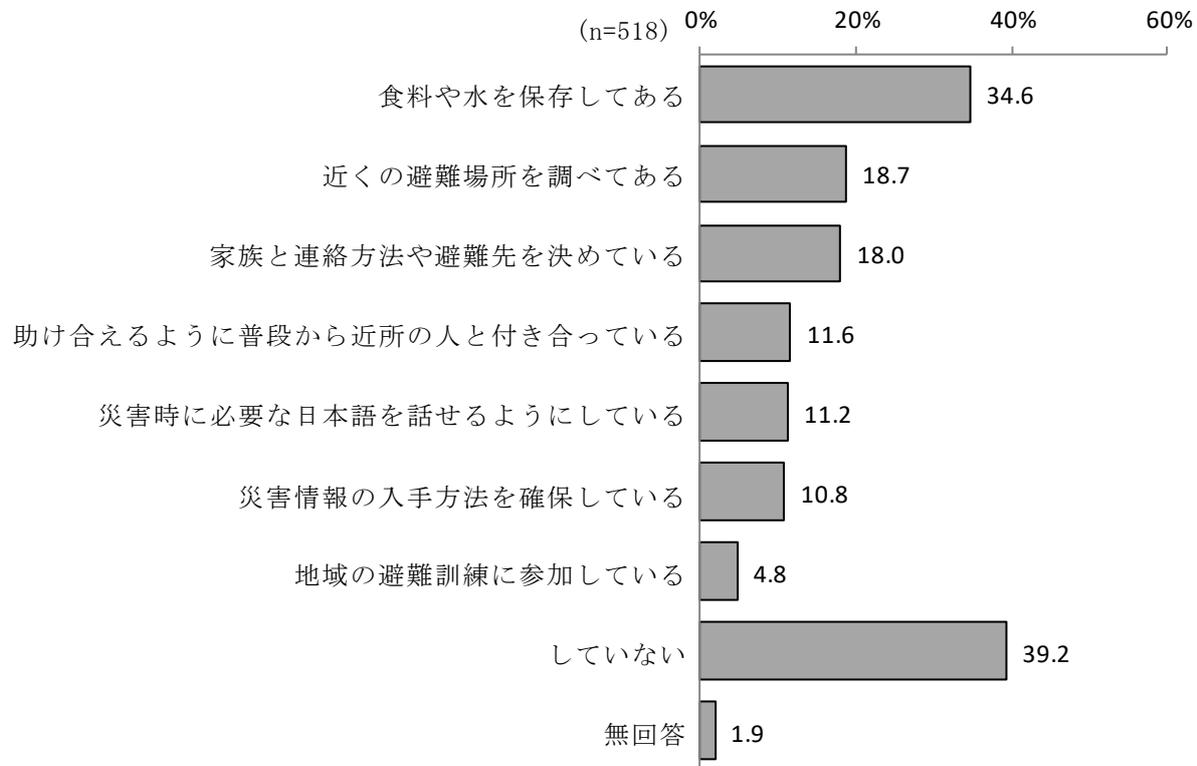
国籍・地域別にみると、中国は「どの病院に行けばよいかわからなかった」（33.0%）が3割台半ばとなっている。フィリピンは「困ったことはない」（38.3%）に次いで「治療費が高い」（35.5%）が高い。ベトナムは「どのように具合が悪いかを病院の人にうまく伝えられなかった」（46.3%）、「医者や病院の人の説明がわからなかった」（37.4%）が上位2項目となっている。（図表 4-6）

5. 災害について

(1) 災害への備え

問 23 大きな災害が起きたときに備えて、何か準備をしていますか。(✓はいくつでも)

■図表 5-1 災害への備え



災害への備えについては、「していない」が 39.2%で最も高い。次いで、「食料や水を保存してある」が 34.6%で、他の備えについては2割に満たない。(図表 5-1)

■図表 5-2 災害への備え（国籍・地域別）

	n	食料や水を保存してある	近くの避難場所を調べてある	家族と連絡方法や避難先を決めている	近所の人と付き合っている	助け合えるように普段から話せるようにしている	災害時に必要な日本語を話せるようにしている	災害情報の入手方法を確保している	地域の避難訓練に参加している	していない	無回答
全 体	518	34.6	18.7	18.0	11.6	11.2	10.8	4.8	39.2	1.9	
国籍・地域別	中国	112	37.5	23.2	24.1	9.8	6.3	15.2	5.4	39.3	0.9
	韓国	50	26.0	26.0	26.0	12.0	4.0	20.0	2.0	34.0	2.0
	フィリピン	107	40.2	24.3	28.0	16.8	16.8	12.1	8.4	29.0	1.9
	ベトナム	147	29.9	15.0	8.2	10.2	14.3	4.1	4.1	44.9	2.7
	その他	98	36.7	9.2	11.2	9.2	10.2	9.2	2.0	44.9	2.0

(%)

国籍・地域別にみると、フィリピンを除く国籍・地域では「していない」が他の項目を上回り、ベトナム、その他の国籍・地域では「していない」（各 44.9%）が4割台半ばとなっている。フィリピンは「食料や水を保存してある」（40.2%）が最も高く、「家族と連絡方法や避難先を決めている」（28.0%）は全体を10ポイント上回っている。（図表 5-2）

■図表 5-3 災害への備え（居住エリア別）

	n	食料や水を保存してある	近くの避難場所を調べてある	家族と連絡方法や避難先を決めている	助け合えるように普段から近所の人と付き合っている	災害時に必要な日本語を話せるようにしている	災害情報の入手方法を確保している	地域の避難訓練に参加している	していない	無回答	
全 体	518	34.6	18.7	18.0	11.6	11.2	10.8	4.8	39.2	1.9	
居住 エリア 別	エリアA	86	25.6	17.4	11.6	10.5	4.7	3.5	50.0	-	
	エリアB	46	32.6	21.7	13.0	19.6	15.2	10.9	2.2	41.3	2.2
	エリアC	69	37.7	24.6	24.6	18.8	18.8	10.1	8.7	29.0	1.4
	エリアD	119	35.3	15.1	22.7	10.9	9.2	10.9	5.9	36.1	2.5
	エリアE	52	30.8	17.3	17.3	7.7	1.9	17.3	3.8	44.2	1.9
	エリアF	51	49.0	13.7	15.7	7.8	17.6	11.8	7.8	33.3	-
	エリアG	56	35.7	21.4	17.9	8.9	10.7	10.7	3.6	44.6	1.8
	エリアH	29	34.5	31.0	17.2	6.9	6.9	20.7	-	31.0	6.9

(%)

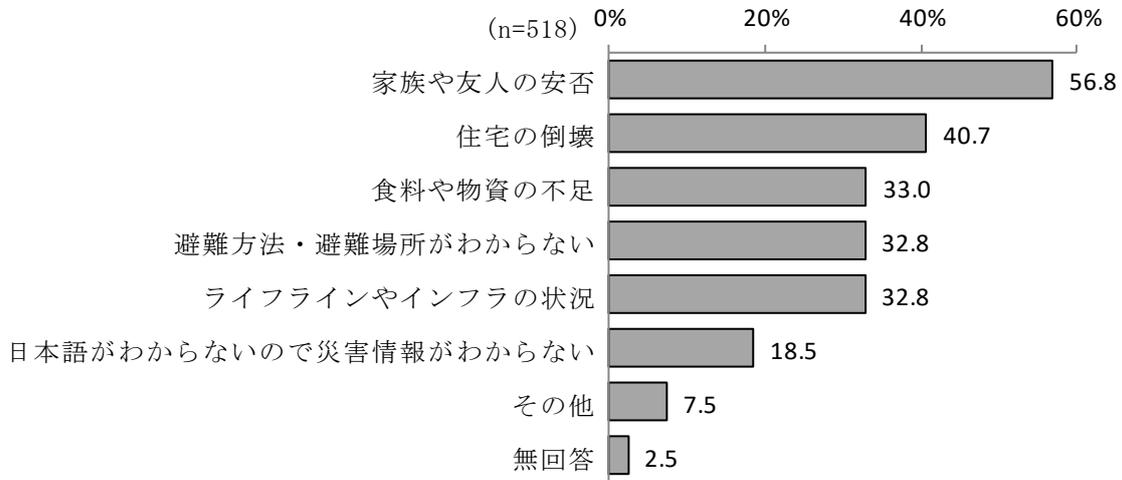
※エリア区分は p5 を参照

居住エリア別にみると、エリアFでは「食料や水を保存してある」（49.0%）が約5割で最も高くなっている。一方、エリアAではどの備えについても全体を下回っており、「していない」（50.0%）が半数となっている。（図表 5-3）

(2) 災害が起きたときに心配なこと

問 24 災害が起きたときに心配なことは何ですか。(✓はいくつでも)

■図表 5-4 災害が起きたときに心配なこと



災害が起きたときに心配なことは、「家族や友人の安否」が 56.8%で最も高く、次いで、「住宅の倒壊」(40.7%)、「食料や物資の不足」(33.0%)、「避難方法・避難場所がわからない」(32.8%)、「ライフラインやインフラの状況」(32.8%) となっている。(図表 5-4)

■図表 5-5 災害が起きたときに心配なこと（国籍・地域別）

		n	家族や友人の安否	住宅の倒壊	食料や物資の不足	避難方法・避難場所がわからない	ライフラインやインフラの状況	日本語がわからないので災害情報がわからない	その他	無回答
全	体	518	56.8	40.7	33.0	32.8	32.8	18.5	7.5	2.5
国籍・地域別	中国	112	61.6	43.8	36.6	26.8	38.4	17.0	10.7	0.9
	韓国	50	64.0	34.0	50.0	26.0	46.0	6.0	10.0	4.0
	フィリピン	107	74.8	32.7	37.4	24.3	32.7	18.7	4.7	0.9
	ベトナム	147	38.1	50.3	25.9	45.6	25.2	22.4	5.4	4.1
	その他	98	56.1	34.7	24.5	34.7	32.7	20.4	9.2	3.1

(%)

国籍・地域別にみると、中国、韓国、フィリピンは「家族や友人の安否」（中国：61.6%、韓国：64.0%、フィリピン：74.8%）が高く、フィリピンは7割台半ばとなっている。ベトナムは「住宅の倒壊」（50.3%）が5割で最も高く、次いで、「避難方法・避難場所がわからない」（45.6%）、「家族や友人の安否」（38.1%）の順となっている。（図表 5-5）

■図表 5-6 災害が起きたときに心配なこと（居住エリア別）

	n	家族や友人の安否	住宅の倒壊	食料や物資の不足	避難方法・避難場所がわからない	ライフラインやインフラの状況	日本語がわからないので災害情報がわからない	その他	無回答	
全体	518	56.8	40.7	33.0	32.8	32.8	18.5	7.5	2.5	
居住エリア別	エリアA	86	57.0	46.5	30.2	32.6	31.4	24.4	8.1	2.3
	エリアB	46	50.0	45.7	30.4	30.4	39.1	19.6	13.0	4.3
	エリアC	69	47.8	44.9	39.1	39.1	29.0	14.5	7.2	4.3
	エリアD	119	60.5	33.6	36.1	32.8	29.4	21.8	5.0	1.7
	エリアE	52	59.6	46.2	46.2	25.0	44.2	13.5	5.8	1.9
	エリアF	51	66.7	43.1	31.4	35.3	37.3	9.8	9.8	-
	エリアG	56	57.1	35.7	25.0	28.6	30.4	19.6	8.9	1.8
	エリアH	29	62.1	34.5	20.7	34.5	34.5	17.2	6.9	3.4

(%)

※エリア区分は p5 を参照

居住エリア別にみると、エリアD・Fでは「家族や友人の安否」（エリアD：60.5%、エリアF：66.7%）が6割台となっている。エリアEでは「食料や物資の不足」（46.2%）、「ライフラインやインフラの状況」（44.2%）が全体を11～13ポイント程度上回る。エリアCでは「避難方法・避難場所がわからない」（39.1%）が、エリアAでは「日本語がわからないので災害情報がわからない」（24.4%）が、他の居住エリアに比べて高い。（図表 5-6）

■図表 5-7 災害が起きたときに心配なこと（八潮市での居住年数別）

	n	家族や友人の安否	住宅の倒壊	食料や物資の不足	避難方法・避難場所がわからない	ライフラインやインフラの状況	災害情報がわからないので	日本語がわからないので	その他	無回答
全 体	518	56.8	40.7	33.0	32.8	32.8	18.5	7.5	2.5	
居 八 住 潮 年 市 数 数 で 別 の	6ヶ月未満	54	42.6	50.0	42.6	42.6	44.4	20.4	14.8	1.9
	6ヶ月～1年未満	43	48.8	32.6	20.9	41.9	18.6	25.6	4.7	4.7
	1年～3年未満	172	51.2	41.9	30.2	35.5	31.4	19.2	7.6	1.7
	3年～5年未満	66	57.6	47.0	45.5	37.9	36.4	28.8	4.5	-
	5年～10年未満	68	69.1	26.5	25.0	27.9	29.4	14.7	5.9	4.4
	10年以上	111	66.7	42.3	34.2	20.7	35.1	10.8	7.2	3.6

(%)

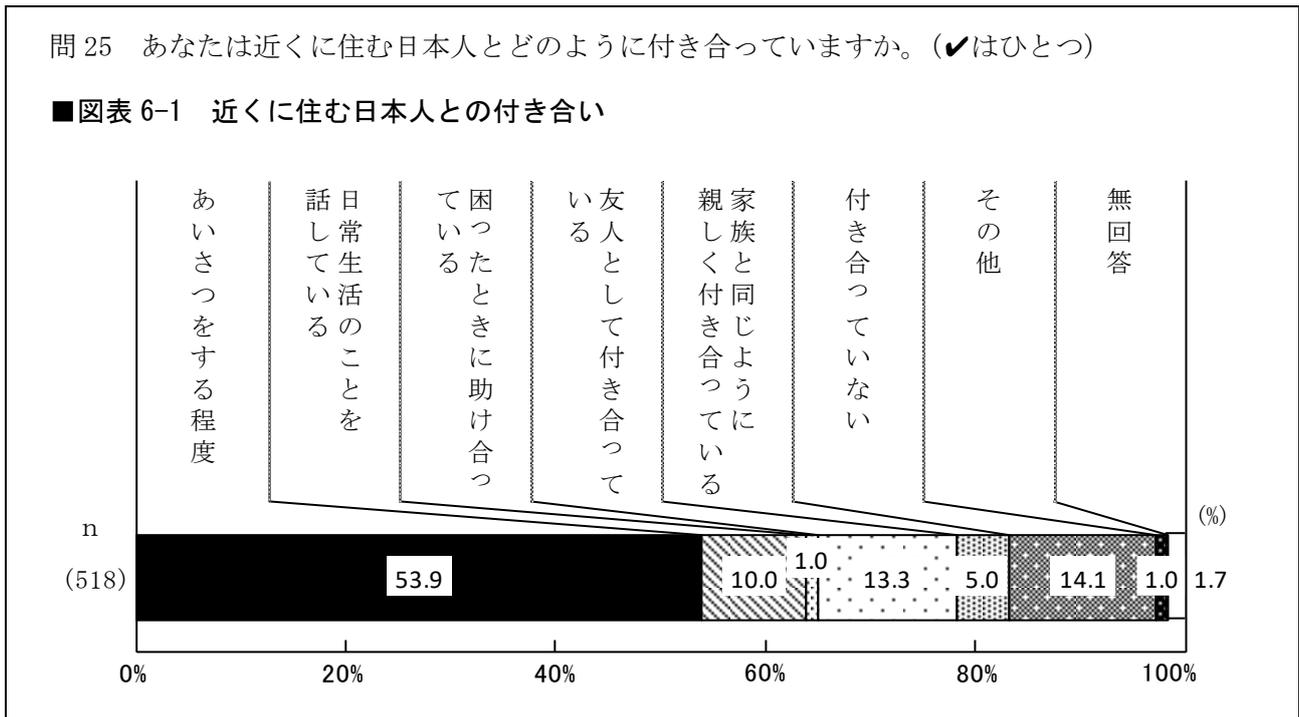
八潮市での居住年数別にみると、概ね年数が長いほど「家族や友人の安否」の割合が高くなり、年数が短いほど「避難方法・避難場所がわからない」の割合が高くなる傾向がみられる。(図表 5-7)

6. 地域での交流について

(1) 近くに住む日本人との付き合い

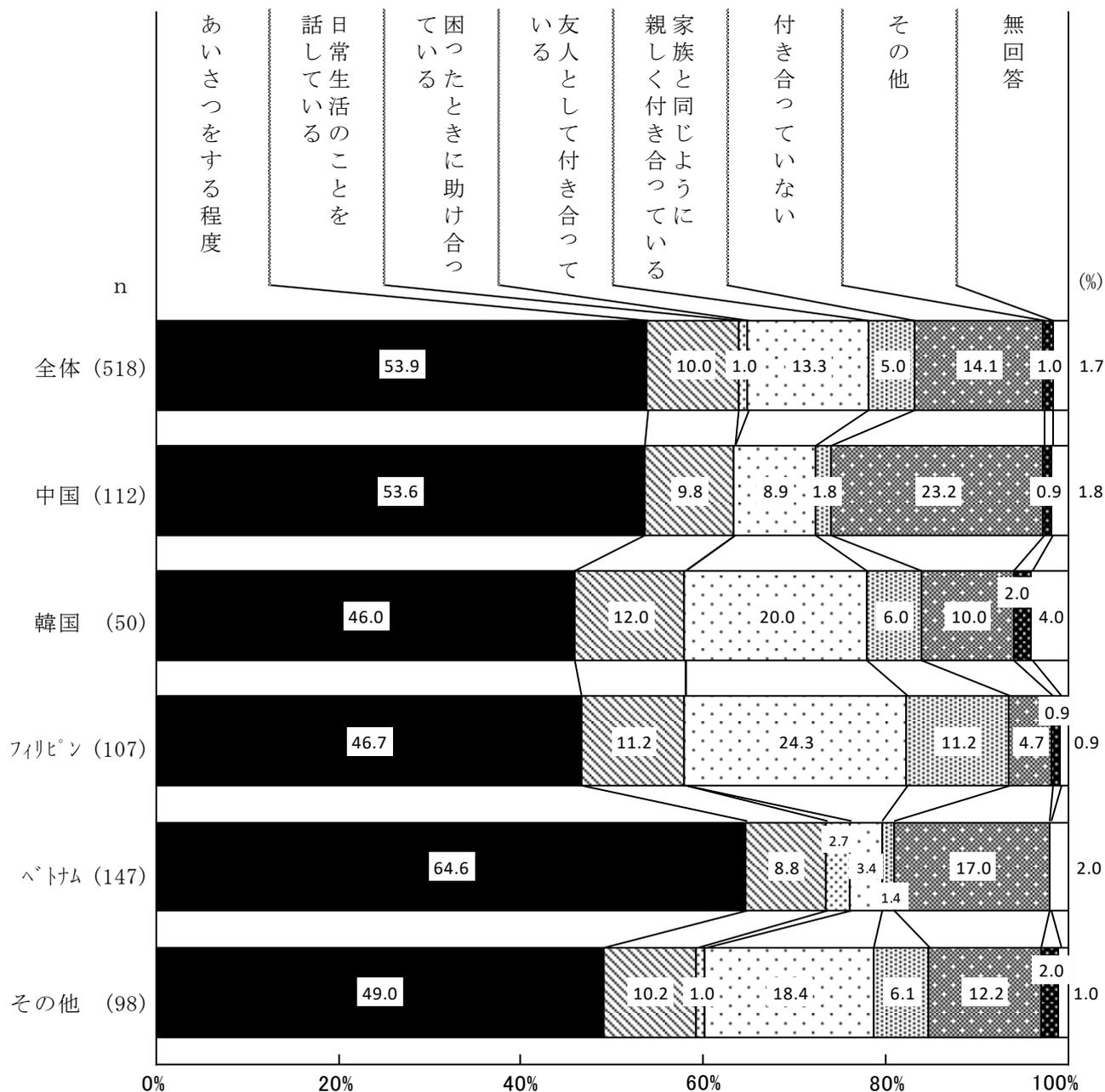
問 25 あなたは近くに住む日本人とどのように付き合っていますか。(✓はひとつ)

■図表 6-1 近くに住む日本人との付き合い



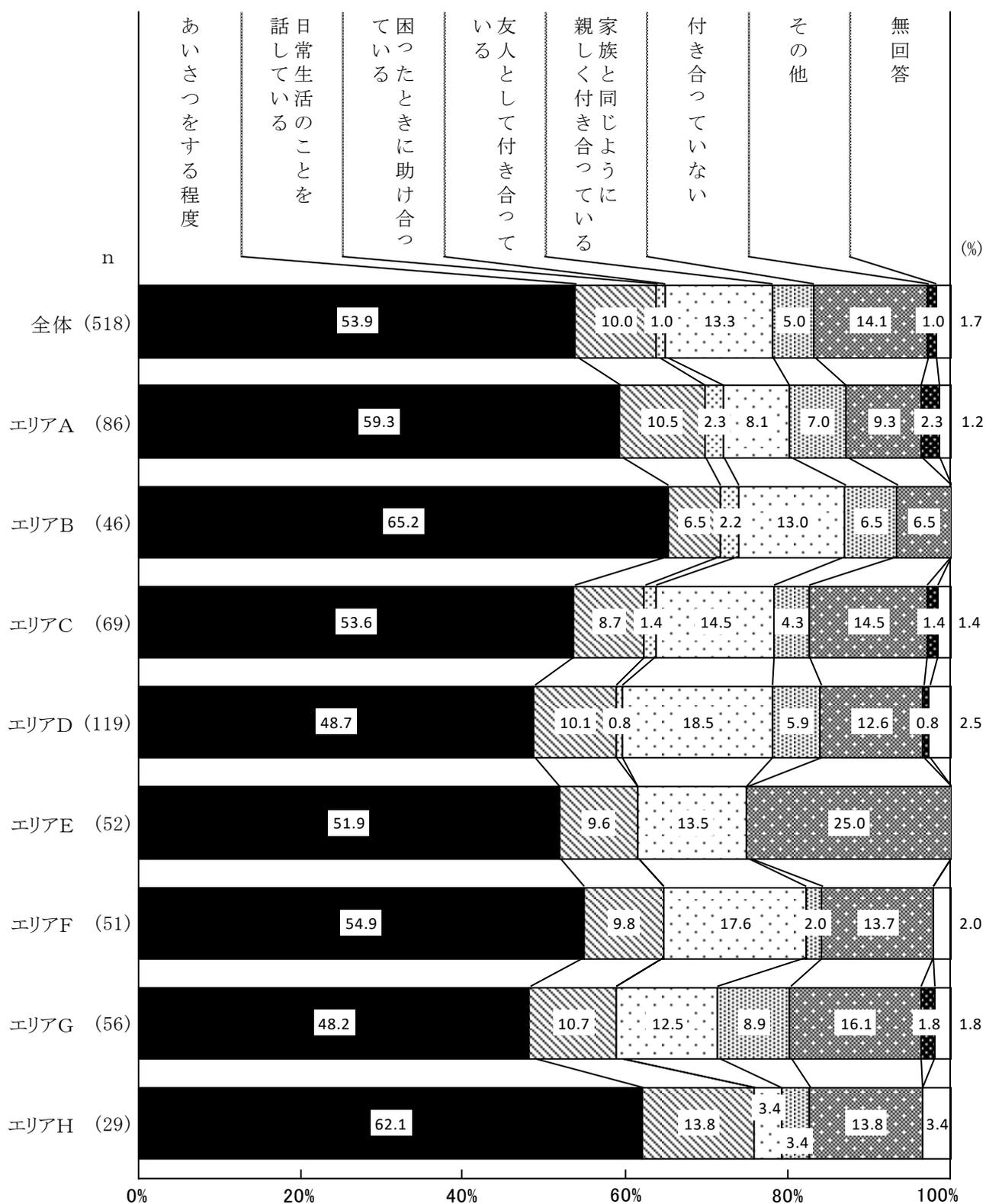
近くに住む日本人との付き合いは、「あいさつをする程度」が 53.9%で最も高い一方、「付き合いがない」が 14.1%で続いている。そのほか、「友人として付き合っている」が 13.3%、「日常生活のことを話している」が 10.0%となっている。(図表 6-1)

■図表 6-2 近くに住む日本人との付き合い（国籍・地域別）



国籍・地域別にみると、ベトナムは「あいさつをする程度」(64.5%)が6割台半ばを占めている。韓国、フィリピンは「友人として付き合っている」(韓国：20.0%、フィリピン：24.3%)が2割以上で他の国籍・地域に比べて高くなっている。中国は「付き合っていない」(23.2%)が他の国籍・地域に比べて高い。(図表 6-2)

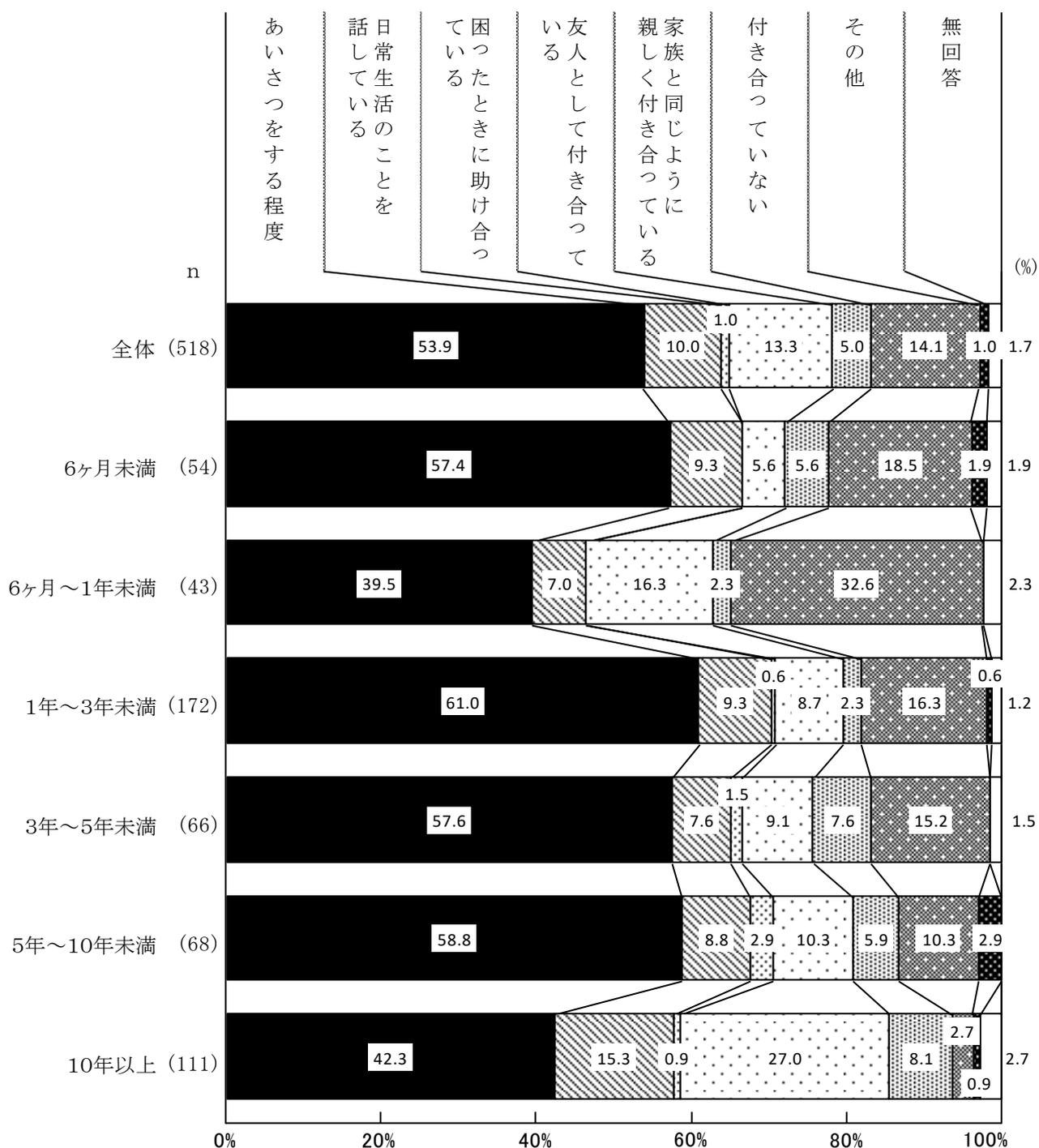
■図表 6-3 近くに住む日本人との付き合い（居住エリア別）



※エリア区分は p5 を参照

居住エリア別にみると、エリアBでは「あいさつをする程度」(65.2%)が6割台半ばとなっている。エリアEでは「付き合っていない」(25.0%)が全体を10.9ポイント上回っている。(図表 6-3)

■図表 6-4 近くに住む日本人との付き合い（八潮市での居住年数別）

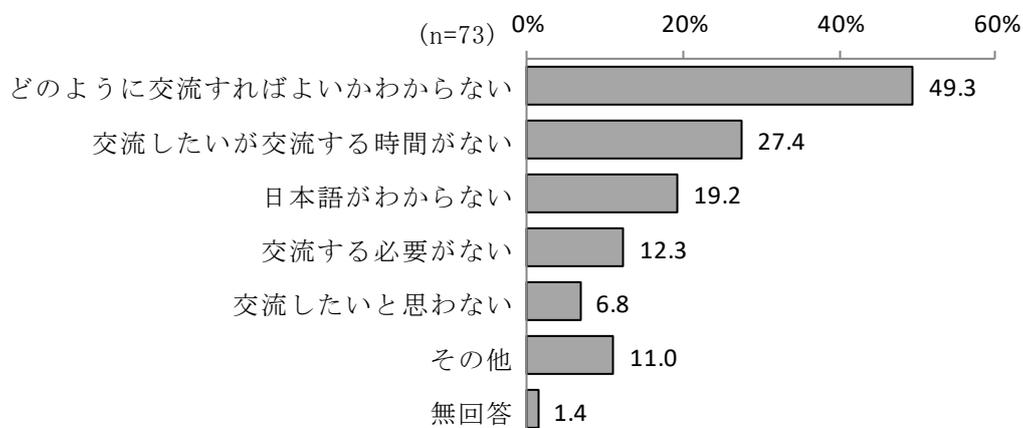


八潮市での居住年数別にみると、6ヶ月以上の層では居住年数が短いほど「付き合っていない」割合が高く、6ヶ月～1年未満の層では32.6%と全体を18.5ポイント上回る。10年以上の層では「友人として付き合っている」（27.0%）が全体を13.7ポイント上回っている。（図表6-4）

(2) 近くに住む日本人と交流していない理由

問 26 問 25 で「6」と答えた方は、なぜ交流していないのですか。(✓はいくつでも)

■図表 6-5 近くに住む日本人と交流していない理由



※nは問 25 (近くに住む日本人との付き合い) で「付き合いがない」と回答した人

問 25 (近くに住む日本人との付き合い) で「付き合いがない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「どのように交流すればよいかわからない」が 49.3%で最も高く、次いで「交流したいが交流する時間がない」(27.4%)、「日本語がわからない」(19.2%)となっている。(図表 6-5)

■図表 6-6 近くに住む日本人と交流していない理由（国籍・地域別）

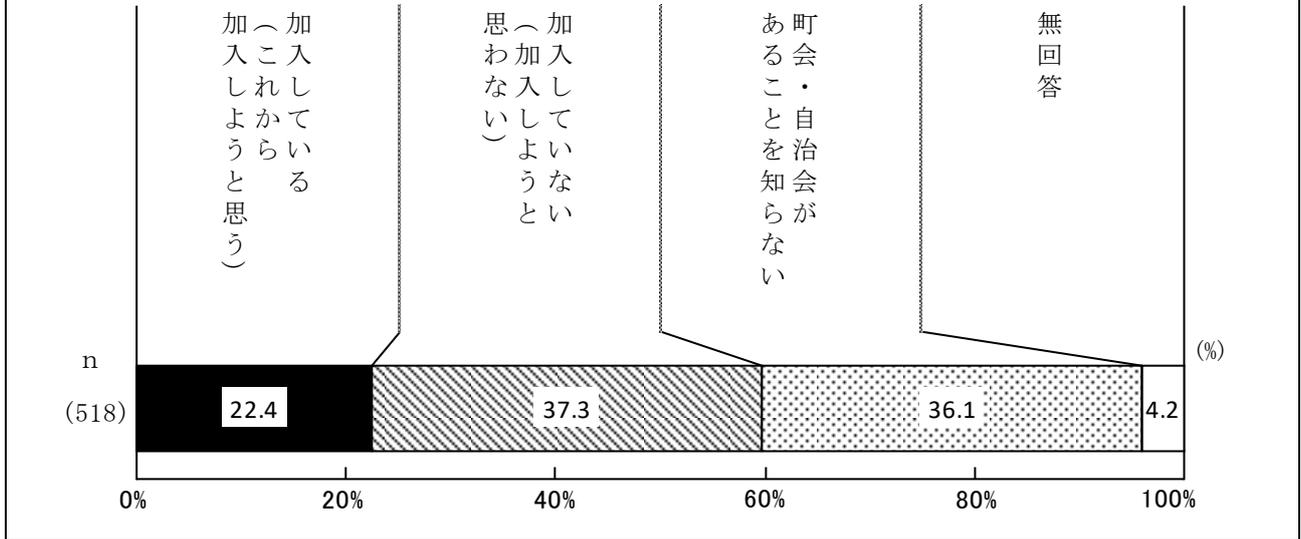
		n	よ い か わ ら な い	ど の よ う に 交 流 す れ ば	時 間 が な い	交 流 し た い が 交 流 す る	日 本 語 が わ か ら な い	交 流 す る 必 要 が な い	交 流 し た い と 思 わ な い	そ の 他	無 回 答	(%)
全	体	73	49.3	27.4	19.2	12.3	6.8	11.0	1.4			
国 籍 ・ 地 域 別	中国	26	34.6	30.8	30.8	15.4	15.4	3.8	-			
	韓国	5	60.0	20.0	-	40.0	-	-	-			
	フィリピン	5	80.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-			
	ベトナム	25	64.0	36.0	16.0	-	-	12.0	-			
	その他	12	33.3	-	8.3	16.7	8.3	33.3	8.3			

国籍・地域別にみると、nは少ないものの、ベトナムは「どのように交流すればよいかわからない」が64.0%となっている。(図表 6-6)

(3) 町会・自治会への加入状況

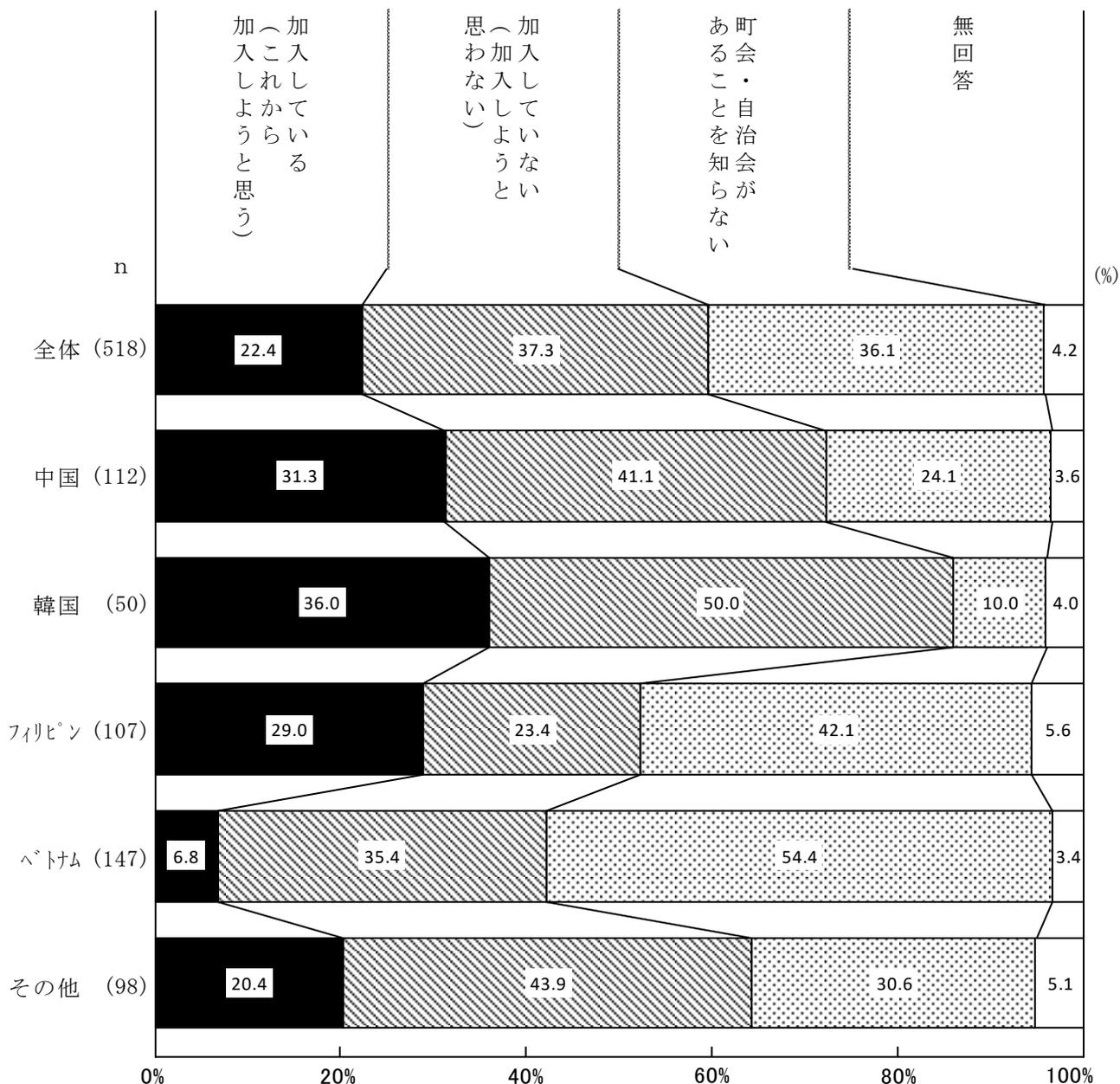
問 27 あなたは住んでいる地域の町会・自治会に加入していますか。(✓はひとつ)

■図表 6-7 町会・自治会への加入状況



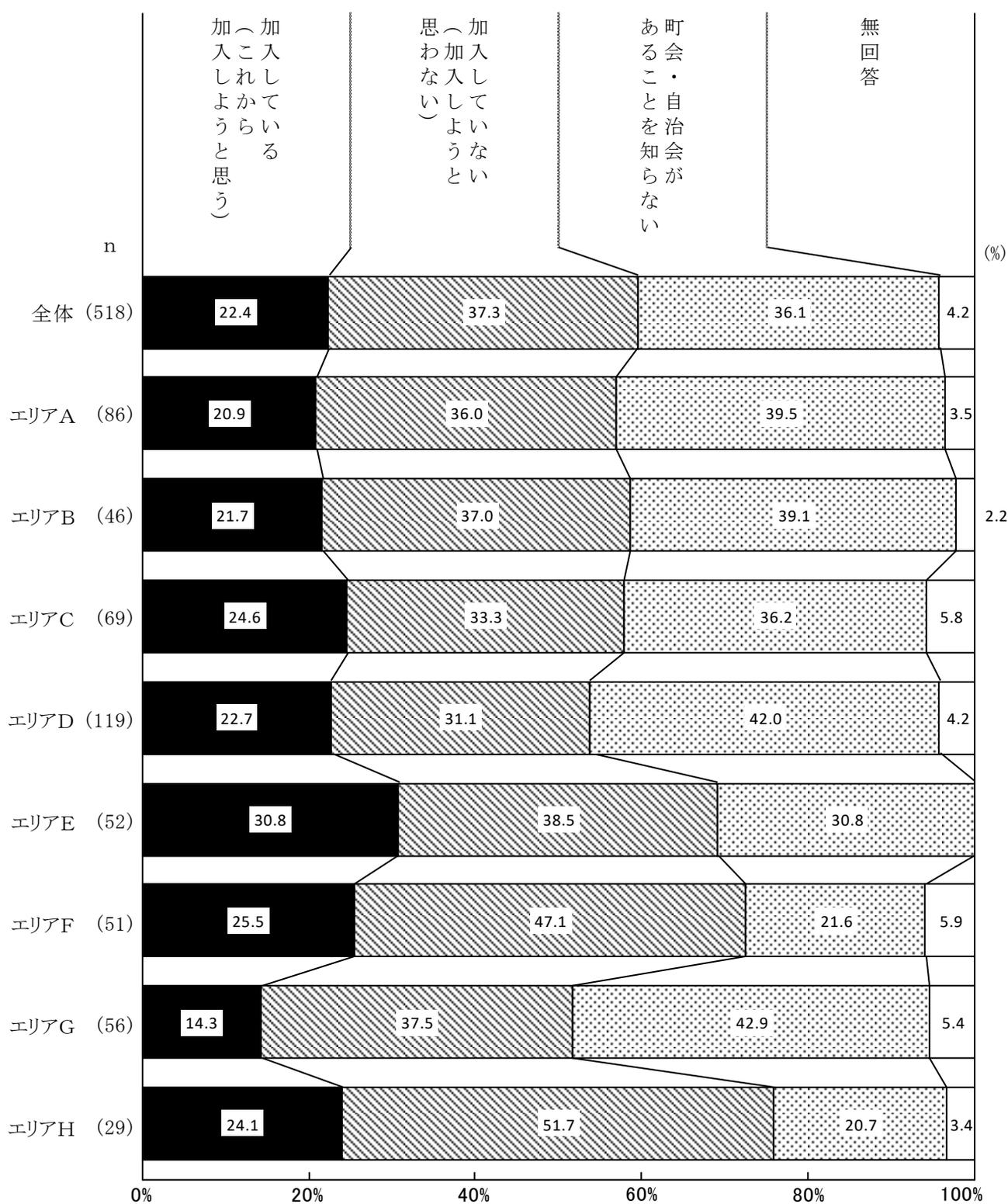
町会・自治会への加入状況は、「加入していない (加入しようと思わない)」が 37.3%で「加入している (これから加入しようと思う)」(22.4%) を上回る。また、「町会・自治会があることを知らない」は 36.1%となっている。(図表 6-7)

■図表 6-8 町会・自治会への加入状況（国籍・地域別）



国籍・地域別にみると、韓国は「加入している（これから加入しようと思う）」（36.0%）が他の国籍・地域に比べて高いものの、「加入していない（加入しようと思わない）」も5割と高い。フィリピン、ベトナムは「町会・自治会があることを知らない」（フィリピン：42.1%、ベトナム：54.4%）が最も高く、特にベトナムは過半数を占めている。（図表 6-8）

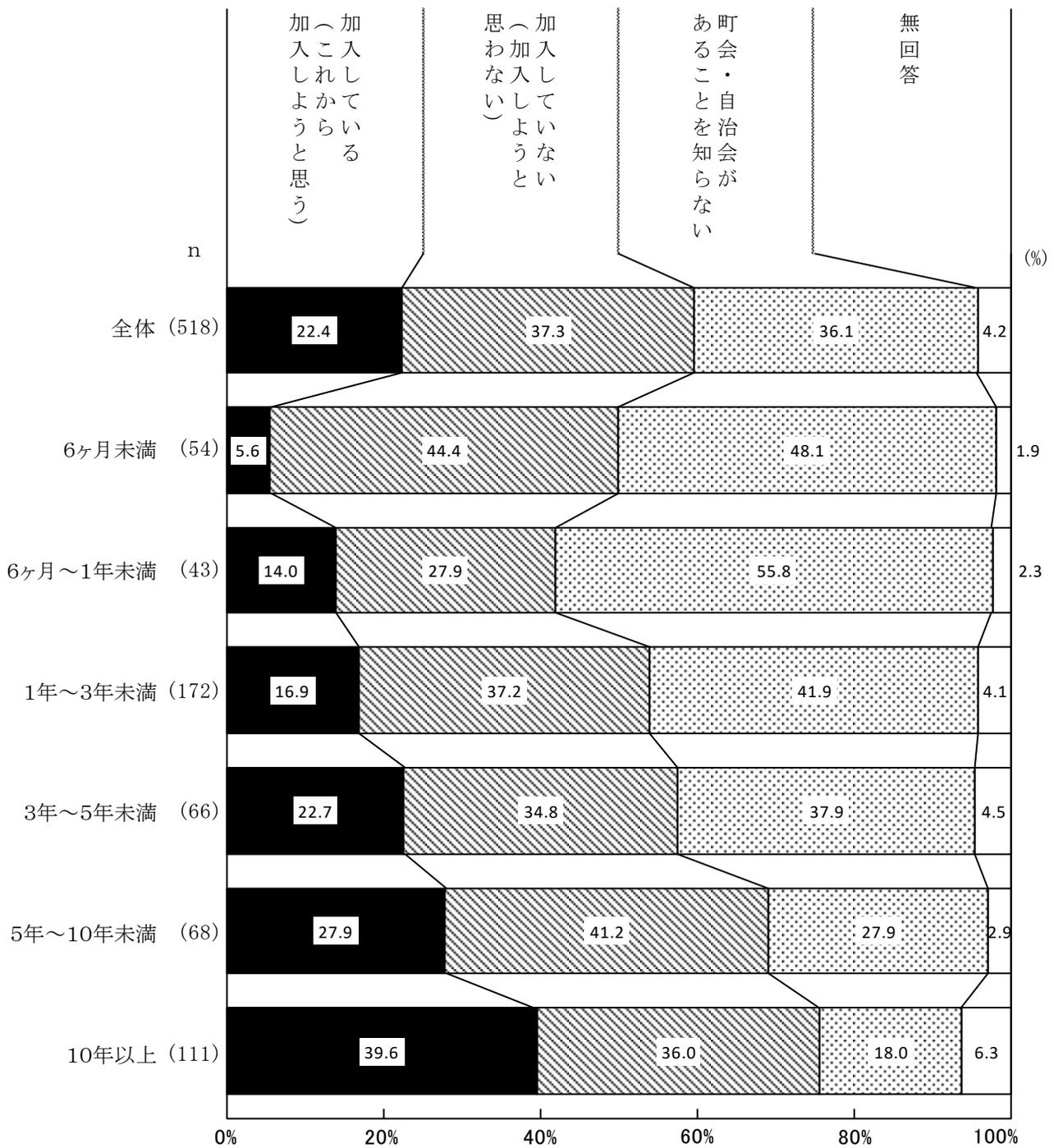
■図表 6-9 町会・自治会への加入状況（居住エリア別）



※エリア区分は p5 を参照

居住エリア別にみると、エリアEでは「加入している（これから加入しようと思う）」（30.8%）が3割となっている。エリアD・Gでは「町会・自治会があることを知らない」（エリアD：42.0%、エリアG：42.9%）が4割を超えている。（図表 6-9）

■図表 6-10 町会・自治会への加入状況（八潮市での居住年数別）

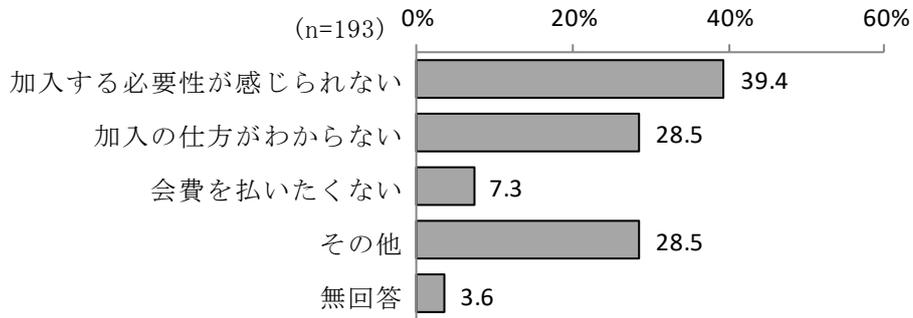


八潮市での居住年数別にみると、年数が長いほど「加入している（これから加入しようと思う）」割合が高くなる傾向がみられる。一方、6ヶ月～1年未満の層では「町会・自治会があることを知らない」（55.8%）が過半数を占めている。（図表 6-10）

(4) 町会・自治会へ加入していない（加入しようと思わない）理由

問 28 問 27 で「2」と答えた方は、なぜ加入していない（加入しようと思わない）のですか。
(✓はいくつでも)

■図表 6-11 町会・自治会へ加入していない（加入しようと思わない）理由



※nは問 27（町会・自治会への加入状況）で「加入していない（加入しようと思わない）」と回答した人

問 27（町会・自治会への加入状況）で「加入していない（加入しようと思わない）」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「加入する必要性を感じられない」が 39.4%で最も高く、次いで、「加入の仕方がわからない」が 28.5%となった。（図表 6-11）

■図表 6-12 町会・自治会へ加入していない（加入しようと思わない）理由（国籍・地域別）

		n	加入する必要性が感じられない	加入の仕方がわからない	会費を払いたくない	その他	無回答
全 体		193	39.4	28.5	7.3	28.5	3.6
国籍・地域別	中国	46	47.8	26.1	10.9	30.4	-
	韓国	25	60.0	12.0	12.0	20.0	4.0
	フィリピン	25	28.0	28.0	4.0	36.0	8.0
	ベトナム	52	21.2	44.2	1.9	34.6	5.8
	その他	43	46.5	20.9	9.3	20.9	2.3

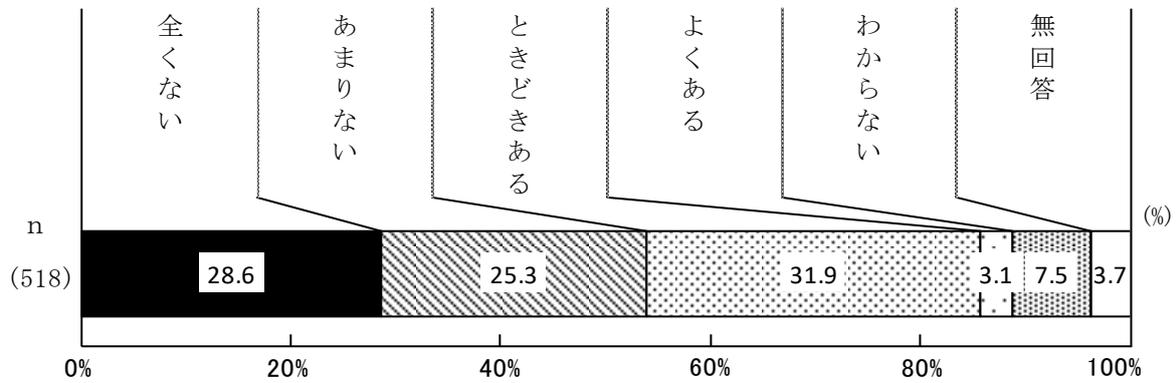
(%)

国籍・地域別にみると、中国、その他の国籍・地域では「加入する必要性が感じられない」（中国：47.8%、その他：46.5%）が全体を上回る。ベトナムは「加入の仕方がわからない」（44.2%）が最も高くなっている。（図表 6-12）

(5) 差別や偏見の有無

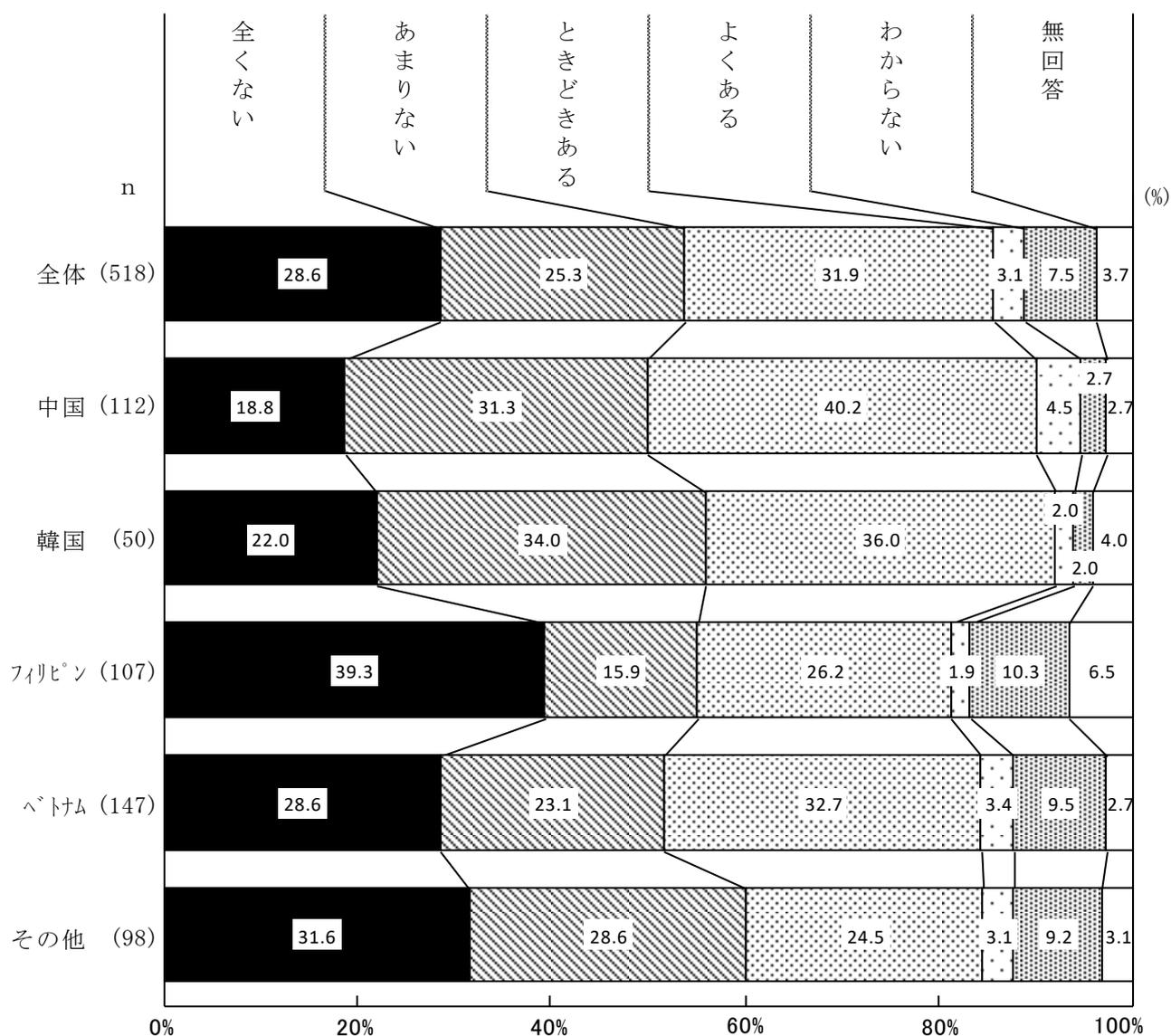
問 29 あなたは差別や偏見を感じたことはありますか。(✓はひとつ)

■図表 6-13 差別や偏見の有無



差別や偏見を感じたことがあるか尋ねたところ、「ときどきある」が31.9%で最も高く、次いで、「全くない」(28.6%)、「あまりない」(25.3%)となっている。(図表 6-13)

■図表 6-14 差別や偏見の有無（国籍・地域別）

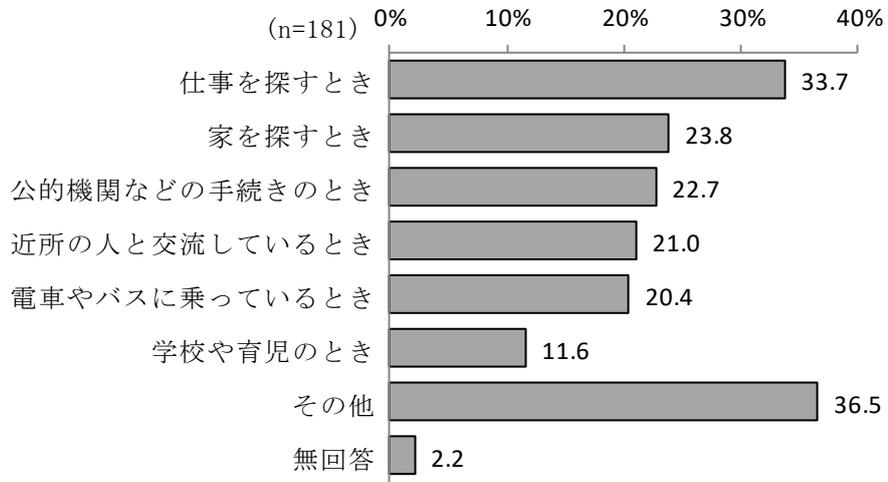


国籍・地域別にみると、フィリピンは「全くない」(39.3%) が約4割と全体を10.7ポイント上回る。中国は「ときどきある」(40.2%) が4割で他の国籍・地域に比べて高い。(図表 6-14)

(6) 差別や偏見を感じる場面

問 30 問 29 で「3」または「4」と答えた方は、どのような場合に感じますか。(✓はいくつでも)

■図表 6-15 差別や偏見を感じる場面



※nは問 29 (差別や偏見の有無) で「ときどきある」または「よくある」と回答した人

問 29 (差別や偏見の有無) で「ときどきある」または「よくある」と回答した人に、差別や偏見を感じる場面を尋ねたところ、「仕事を探すとき」が 33.7%、次いで、「家を探すとき」(23.8%)、「公的機関などの手続きのとき」(22.7%)、「近所の人と交流しているとき」(21.0%)、「電車やバスに乗っているとき」(20.4%) となっている。(図表 6-15)

■図表 6-16 差別や偏見を感じる場面（国籍・地域別）

		n	仕事を探するとき	家を探するとき	公的機関などの手続きのとき	近所の人と交流しているとき	電車やバスに乗っているとき	学校や育児のとき	その他	無回答
全 体		181	33.7	23.8	22.7	21.0	20.4	11.6	36.5	2.2
国籍・地域別	中国	50	40.0	34.0	28.0	24.0	8.0	12.0	40.0	-
	韓国	19	31.6	31.6	21.1	15.8	5.3	-	31.6	5.3
	フィリピン	30	40.0	16.7	30.0	16.7	23.3	20.0	26.7	-
	ベトナム	53	18.9	5.7	11.3	24.5	32.1	5.7	41.5	1.9
	その他	27	48.1	44.4	25.9	18.5	29.6	22.2	33.3	3.7

(%)

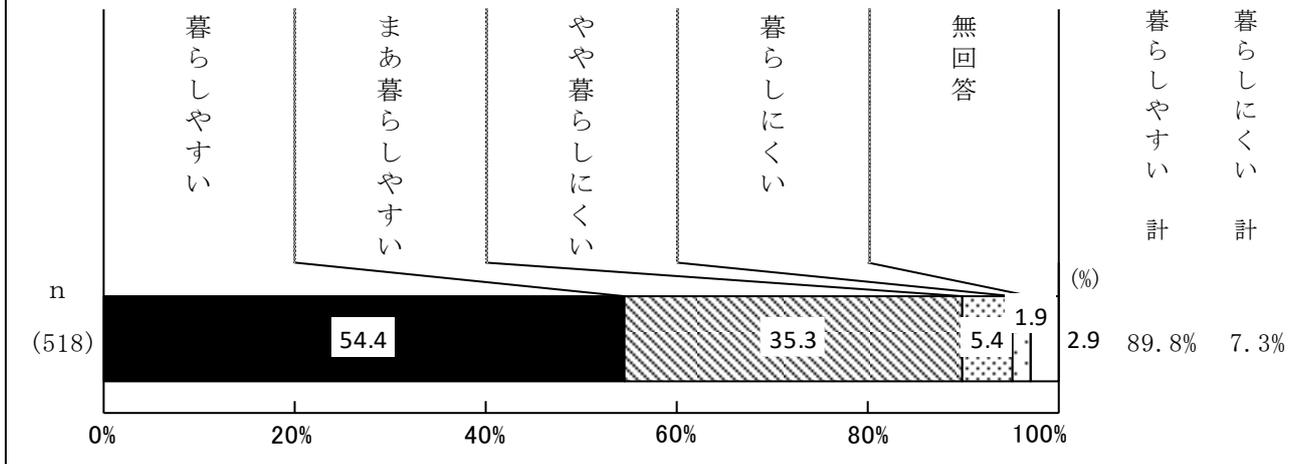
国籍・地域別にみると、中国、フィリピンは「仕事を探するとき」がいずれも4割で他の国籍・地域に比べて高い。ベトナムは「電車やバスに乗っているとき」(32.1%)が全体を11.7ポイント上回っている。(図表 6-16)

7. その他のことについて

(1) 八潮市の暮らしやすさ

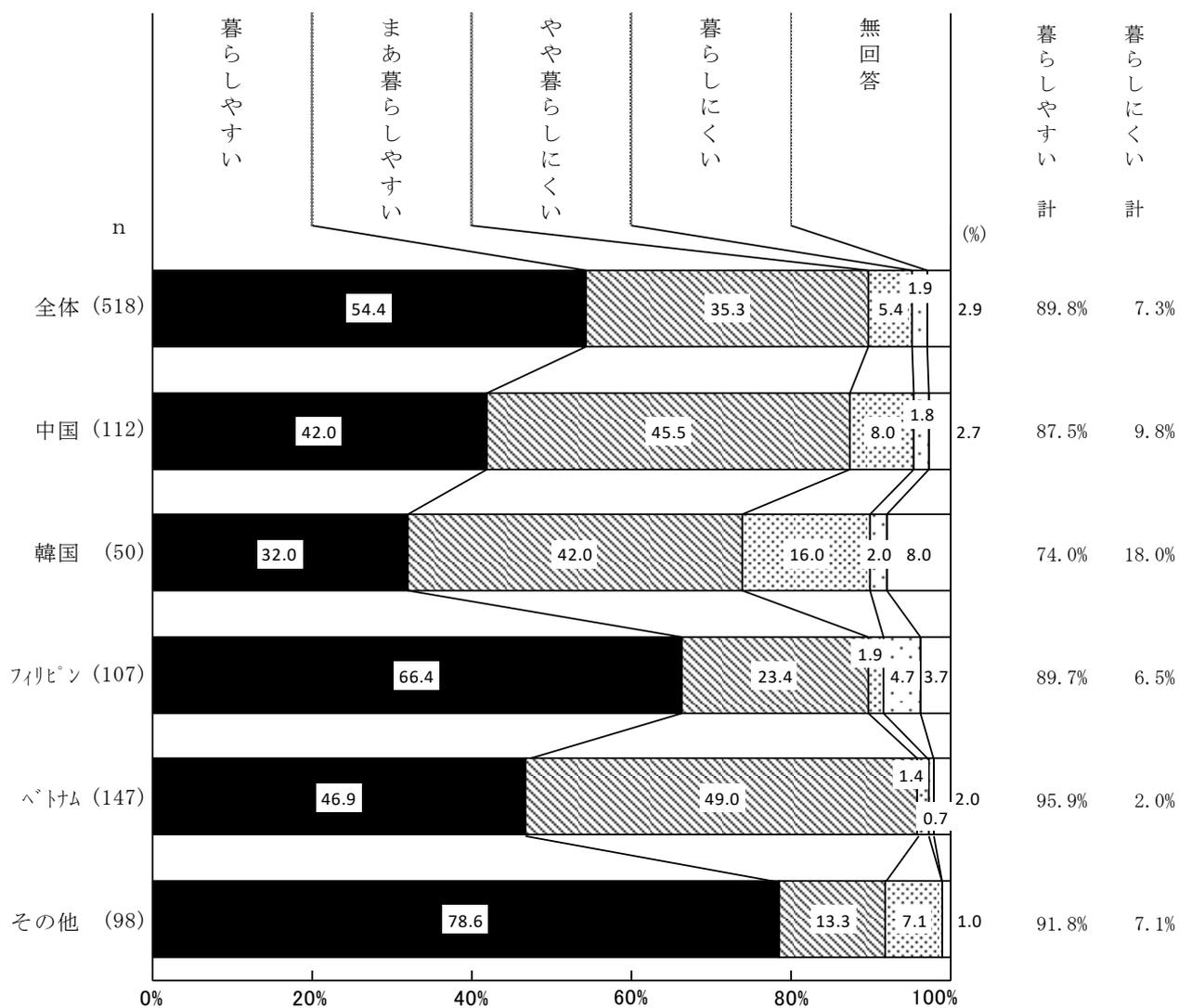
問 31 あなたにとって、八潮市は暮らしやすいところだと思いますか。(✓はひとつ)

■図表 7-1 八潮市の暮らしやすさ



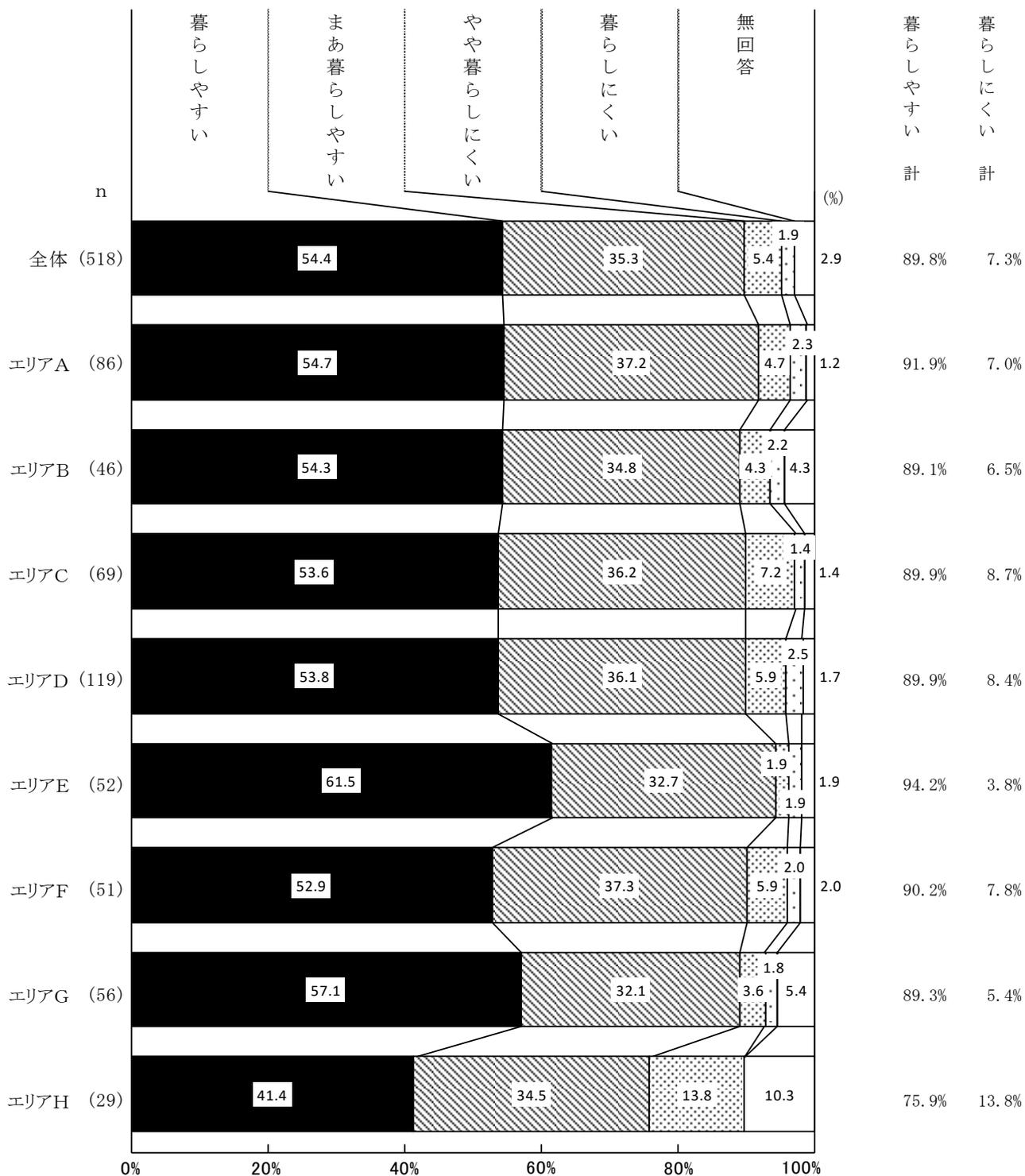
八潮市の暮らしやすさは、「暮らしやすい」が 54.4%、「まあ暮らしやすい」が 35.3%で、これらを合わせた「暮らしやすい 計」(89.8%) は約 9 割となっている。(図表 7-1)

■図表 7-2 八潮市の暮らしやすさ（国籍・地域別）



国籍・地域別にみると、ベトナム、その他の国籍・地域では「暮らしやすい 計」（ベトナム：95.9%、その他：91.8%）が9割を超える。韓国は「暮らしやすい」（32.0%）が他の国籍・地域に比べて10ポイント以上低く、「暮らしやすい 計」も7割台半ばとなっている。（図表 7-2）

■図表 7-3 八潮市の暮らしやすさ（居住エリア別）



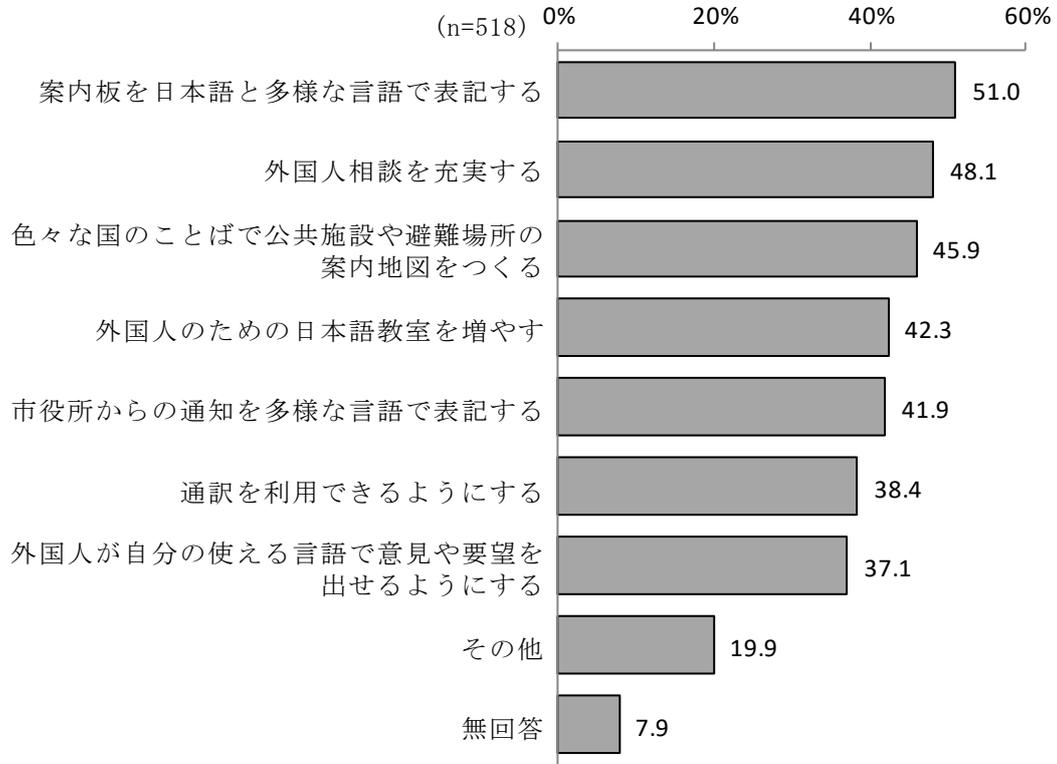
※エリア区分は p5 を参照

居住エリア別にみると、エリアHを除く居住エリアで「暮らしやすい 計」が9割前後を占め、特にエリアEは94.2%で最も高い。一方、nは少ないものの、エリアHは「暮らしにくい」(13.8%)が他の居住エリアに比べて高く、「暮らしやすい 計」(75.9%)は7割台半ばとなっている。(図表 7-3)

(2) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと

問 32 あなたが暮らしやすくなるために市役所にやってもらいたいことは何ですか。
(✓はいくつでも)

■図表 7-4 暮らしやすくなるために市役所に望むこと



暮らしやすくなるために市役所に望むことは、「案内板を日本語と多様な言語で表記する」が 51.0%で最も高く、次いで、「外国人相談を充実する」(48.1%)、「色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる」(45.9%)、「外国人のための日本語教室を増やす」(42.3%)、「市役所からの通知を多様な言語で表記する」(41.9%)、「通訳を利用できるようにする」(38.4%)、「外国人が自分の使える言語で意見や要望を出せるようにする」(37.1%)となっている。(図表 7-4)

■図表 7-5 暮らしやすくなるために市役所に望むこと（国籍・地域別）

		n	案内板を日本語と多様な言語で表記する	外国人相談を充実する	色々の国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる	外国人のための日本語教室を増やす	市役所からの通知を多様な言語で表記する	通訳を利用できるようにする	外国人が自分の使える言語で意見や要望を出せるようにする	その他	無回答
全 体		518	51.0	48.1	45.9	42.3	41.9	38.4	37.1	19.9	7.9
国籍・地域別	中国	112	41.1	49.1	31.3	38.4	34.8	42.0	36.6	27.7	11.6
	韓国	50	40.0	26.0	34.0	14.0	34.0	20.0	18.0	26.0	20.0
	フィリピン	107	52.3	64.5	57.0	35.5	43.9	43.0	37.4	22.4	5.6
	ベトナム	147	64.6	36.1	52.4	59.9	50.3	42.9	44.9	10.2	3.4
	その他	98	46.9	57.1	46.9	42.9	40.8	33.7	34.7	20.4	7.1

(%)

国籍・地域別にみると、中国、フィリピンは「外国人相談を充実する」（中国：49.1%、フィリピン：64.5%）が最も高く、フィリピンは6割台半ばとなっている。ベトナムは「案内板を日本語と多様な言語で表記する」（64.6%）、「外国人のための日本語教室を増やす」（59.9%）が上位2項目となっている。（図表 7-5）

■図表 7-6 暮らしやすくなるために市役所に望むこと（居住エリア別）

	n	案内板を日本語と多様な言語で表記する	外国人相談を充実する	避難場所の案内地図をつくる	色々のことばで公共施設や増やす	外国人のための日本語教室を増やす	市役所からの通知を多様な言語で表記する	通訳を利用できるようにする	外国人が自分の使える言語で意見や要望を出せるようにする	その他	無回答
全 体	518	51.0	48.1	45.9	42.3	41.9	38.4	37.1	19.9	7.9	
居住 エリア 別	エリアA	86	55.8	38.4	45.3	50.0	44.2	46.5	45.3	19.8	3.5
	エリアB	46	54.3	41.3	43.5	43.5	50.0	34.8	41.3	6.5	6.5
	エリアC	69	60.9	49.3	49.3	44.9	42.0	40.6	40.6	11.6	13.0
	エリアD	119	53.8	49.6	43.7	48.7	38.7	36.1	27.7	26.1	5.0
	エリアE	52	44.2	57.7	42.3	36.5	23.1	30.8	32.7	23.1	7.7
	エリアF	51	45.1	56.9	45.1	35.3	47.1	37.3	37.3	27.5	7.8
	エリアG	56	42.9	53.6	51.8	33.9	53.6	37.5	41.1	25.0	10.7
	エリアH	29	37.9	48.3	44.8	31.0	41.4	44.8	44.8	10.3	13.8

※エリア区分はp5を参照

居住エリア別にみると、エリアA～Dでは「案内板を日本語と多様な言語で表記する」（エリアA：55.8%、エリアB：54.3%、エリアC：60.9%、エリアD：53.8%）が最も高く、特にエリアCにおいては6割に上る。エリアE～Gでは「外国人相談を充実する」（エリアE：57.7%、エリアF：56.9%、エリアG：53.6%）が最も高く、エリアGにおいては「市役所からの通知を多様な言語で表記する」（53.6%）も同率で並ぶ。（図表 7-6）

【暮らしやすくなるために市役所に望むこと その他自由回答の抜粋】

①日常生活

交通の便が悪い/電車賃が高すぎる/家周囲の道路整備をしてほしい。公園の整備計画が10年前からあるのに何もされていない/物価を安くしてほしい/治安が一番の懸念点である/スーパーを多くしてもらいたい/もっと木々や緑、公園が欲しい/税金を安く。三郷や草加の税金は八潮より低い。つくばエクスプレスは高い/交通ルールを守らせてほしい。赤信号や路上駐車など/駅までバスのため不便である/近くに買い物や食べる場所がない(草加や三郷に行かないと少ない)。商業施設を誘致するなど市レベルのサポートがあると良い 等

②ことば

日中交流を促進するため、外国人のための日本語教室を増やすだけでなく、日本人向けの外国語教室かお互いの言語を勉強できるチャンスを増やしたらどうか/(日本語などを学ぶために、この調査のように中国語を併記せずに)日本語と英語だけのほうが良いと思う/日本語教室があったら嬉しい/外国人のための日本語教室を増やす、通訳を利用できるようにする、外国人相談を増やす/フルタイムで働いている人たちは主に東京の都心で働いている場合が多く、日本語学校はフルタイムの学生を主なターゲットにしているため入れない。市で日本語クラスを提供してほしい/行政の職員は外国人に忍耐強く接し欲しい/公共施設に英語で書かれた案内や書類があると非常に助かる/この調査のように母語で書いてほしい/ふりがなをふってほしい 等

③情報

税金や住居、公的活動等の情報を知りたい/民法について知りたい/制度の説明会を(休日などに)開催してほしい/市役所での手続き(子どもの医療費の請求、子供手当などお金関係)を市役所から積極的に情報提供してほしい。英語でのインターネット検索など分かりやすい対応をしてほしい 等

④防災

(母国語で書かれた)緊急時の避難場所に関するガイドや地図が何よりも一番重要/身体障害者なので夫や子供が仕事に出ているとき何かあったらどうしたら良いのか分からない 等

⑤子育て・教育

教育が一番大事なので、子供の学校や勉強に力を入れてほしい/産院を増やす/幼稚園や仕事、保育所について/子供の教育、差別の無い安全な環境を作してほしい/子供たちが安全に遊ぶ・自由に集まれるところが不足している/図書館の充実/駅の近くに図書館、大型書店があると子育て環境が良くなる/公立小中学校の学習環境の改善/子供の施設が少ない(市営プール等) 等

⑥地域活動

外国人が参加しやすい外国人のためのイベントを開催してもらいたい/日本人と外国人との交流チャンスを増やす事/地域に入っていく方法について「お知らせ」のようなものを外国人に送ってほしい 等

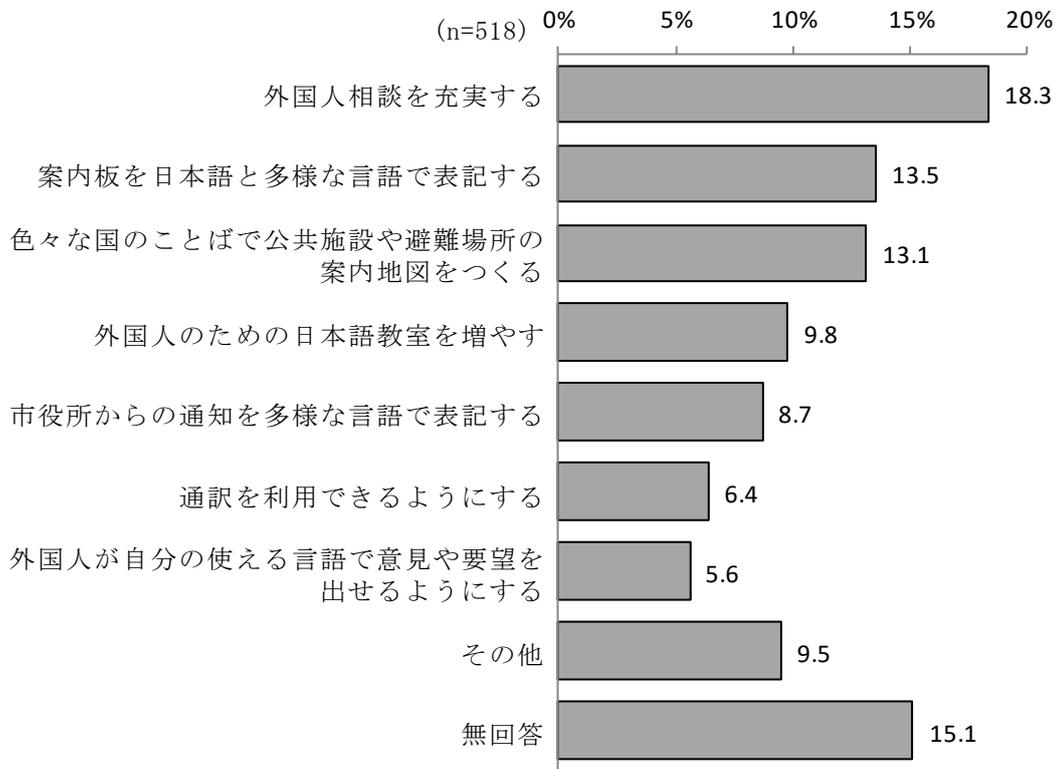
⑦その他

2,3回八潮駅前出張所に行ったが、スタッフが親切に接してくれました/困ったことが起きた時、市役所の助けと親切な指導をしてほしい/日本語が分からない外国人のために(問32の選択肢の)項目は全部必要/マンションで(日本人に)あいさつをしているが相手は反応してくれないので、外国人だけではなく日本人の(国際)交流意識を変えたほうが良いと思う/外国人のための制度を作ってほしい/そもそも日本人になるつもり(帰化)で日本に来たので、言葉の不自由さや不便なことや不満もない。八潮は良いところなのでこのまま定住したい/外国人を非難しないで!/行政の職員は外国人に忍耐強く接し欲しい/日本で生まれたのでこの問いは困る/日本語を話せない人と話すとき、どうか気長に忍耐力をもって接してください/読み書く事が出来るので特に言う事はありません/日本で生まれ育っているので、日本語しか分からない。この様な調査票がきても回答に困る/(研修ビザで日本に来ているが)日本政府が就労ビザを許可してくれれば研修ビザが切れても簡単にまた日本に帰れる 等

(3) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 最も重要なもの

問 32 あなたが暮らしやすくなるために市役所にやってもらいたいことは何ですか。
 (✓はいくつでも)
 また、上の1~8で特に重要と思うもの3つについて番号を記入してください。
 (1~8の数字を記入)

■図表 7-7 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 最も重要なもの



暮らしやすくなるために市役所に望むことのうち最も重要なものは、「外国人相談を充実する」が18.3%で最も高く、「案内板を日本語と多様な言語で表記する」(13.5%)、「色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる」(13.1%)が続いている。(図表 7-7)

■図表 7-8 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 最も重要なもの（国籍・地域別）

		n	外国人相談を充実する	案内板を日本語と多様な言語で表記する	避難場所の案内地図をつくる	色々の国のことばで公共施設や増やす	外国人のための日本語教室を増やす	市役所からの通知を多様な言語で表記する	通訳を利用できるようにする	外国人が自分の使える言語で意見や要望を出せるようにする	その他	無回答
全 体		518	18.3	13.5	13.1	9.8	8.7	6.4	5.6	9.5	15.1	
国籍・地域別	中国	112	22.3	13.4	8.9	11.6	4.5	6.3	5.4	10.7	17.0	
	韓国	50	14.0	20.0	10.0	2.0	4.0	8.0	4.0	16.0	22.0	
	フィリピン	107	28.0	8.4	13.1	10.3	4.7	6.5	1.9	12.1	15.0	
	ベトナム	147	6.8	20.4	15.6	9.5	12.9	5.4	8.8	6.8	13.6	
	その他	98	21.4	6.1	15.3	12.2	14.3	7.1	5.1	6.1	12.2	

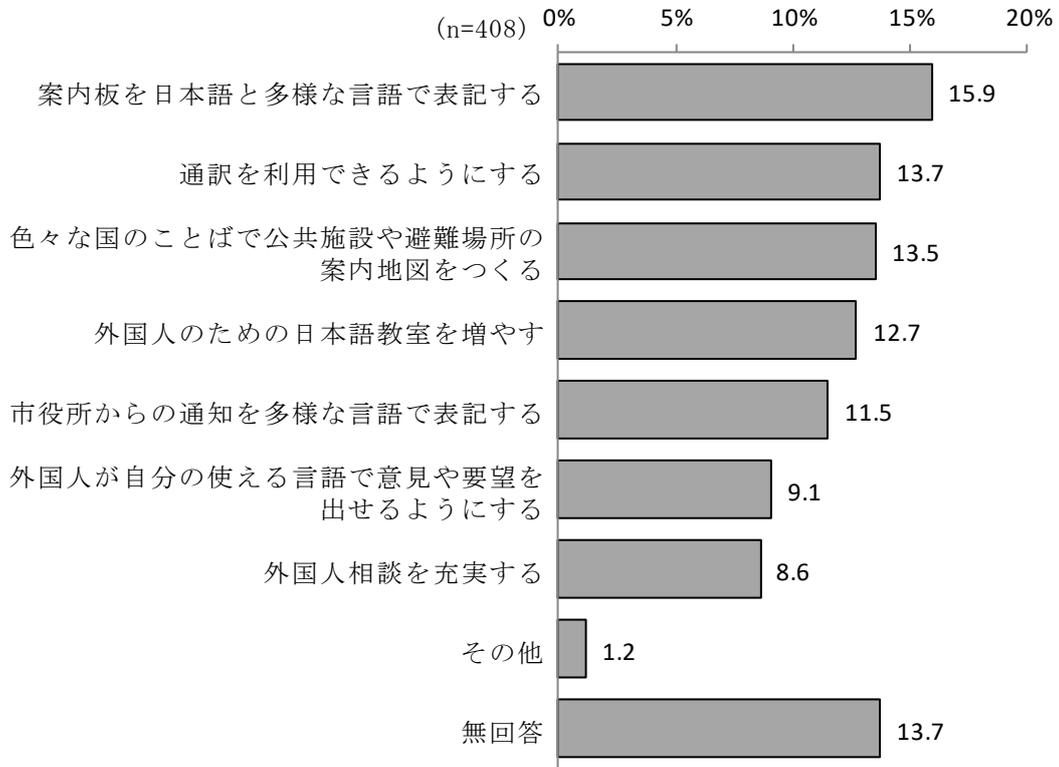
(%)

国籍・地域別にみると、中国、フィリピン、その他の国籍・地域では「外国人相談を充実する」（中国：22.3%、フィリピン：28.0%、その他：21.4%）が最も高い。韓国、ベトナムは「案内板を日本語と多様な言語で表記する」（韓国：20.0%、ベトナム：20.4%）が最も高い。（図表 7-8）

(4) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 2番目に重要なもの

問 32 あなたが暮らしやすくなるために市役所にやってもらいたいことは何ですか。
 (✓はいくつでも)
 また、上の1~8で特に重要と思うもの3つについて番号を記入してください。
 (1~8の数字を記入)

■図表 7-9 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 2番目に重要なもの



※nは問32(暮らしやすくなるために市役所に望むこと)で2項目以上選択した人

暮らしやすくなるために市役所に望むことのうち2番目に重要なものは、「案内板を日本語と多様な言語で表記する」が15.9%で最も高く、「通訳を利用できるようにする」(13.7%)、「色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる」(13.5%)が続いている。(図表7-9)

■図表 7-10 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 2番目に重要なもの（国籍・地域別）

		n	案内板を日本語と多様な言語で表記する	通訳を利用できるようにする	避難場所の案内地図をつくる	外国人のための日本語教室を増やす	市役所からの通知を多様な言語で表記する	外国人が自分の使える言語で意見や要望を出せるようにする	外国人相談を充実する	その他	無回答
全 体		408	15.9	13.7	13.5	12.7	11.5	9.1	8.6	1.2	13.7
国籍・地域別	中国	86	8.1	17.4	7.0	12.8	18.6	14.0	11.6	1.2	9.3
	韓国	27	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	3.7	3.7	-	3.7
	フィリピン	94	17.0	7.4	13.8	6.4	7.4	10.6	10.6	2.1	24.5
	ベトナム	122	16.4	18.0	16.4	14.8	9.0	4.9	4.1	0.8	15.6
	その他	77	20.8	11.7	11.7	18.2	9.1	9.1	11.7	1.3	6.5

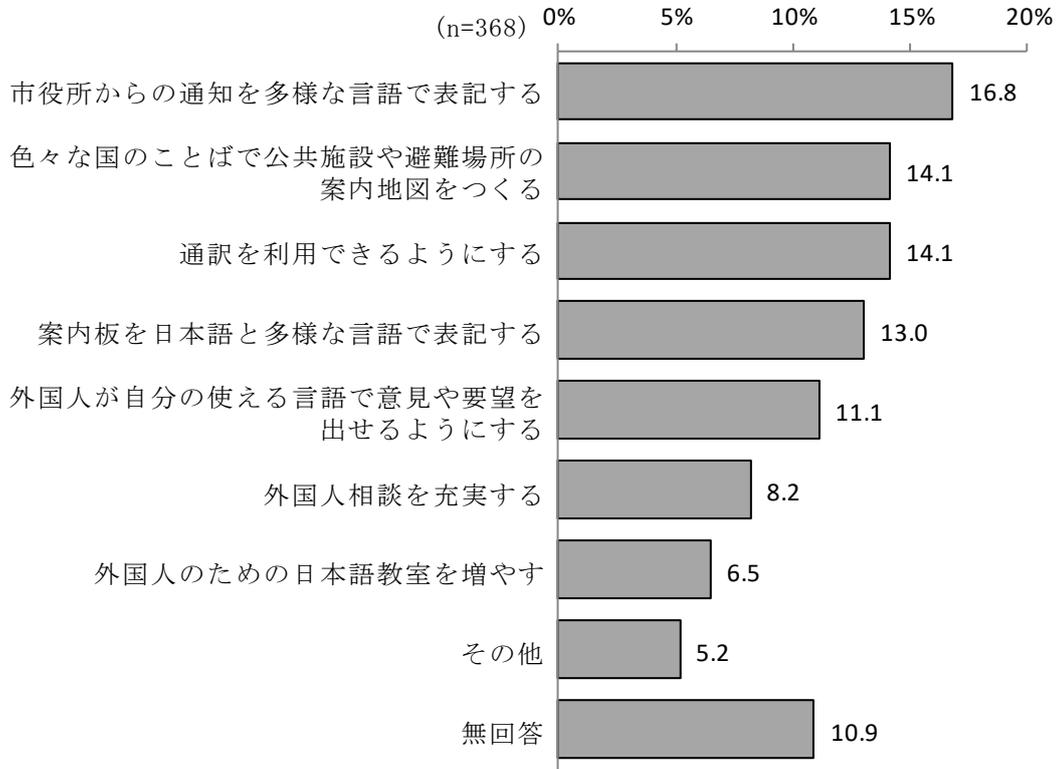
(%)

国籍・地域別にみると、中国は「市役所からの通知を多様な言語で表記する」（18.6%）、フィリピンは「案内板を日本語と多様な言語で表記する」（17.0%）、ベトナムは「通訳を利用できるようにする」（18.0%）が最も高い。（図表 7-10）

(5) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 3番目に重要なもの

問 32 あなたが暮らしやすくなるために市役所にやってもらいたいことは何ですか。
(✓はいくつでも)
また、上の1~8で特に重要と思うもの3つについて番号を記入してください。
(1~8の数字を記入)

■図表 7-11 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 3番目に重要なもの



※nは問 32 (暮らしやすくなるために市役所に望むこと) で3項目以上選択した人

暮らしやすくなるために市役所に望むことのうち3番目に重要なものは、「市役所からの通知を多様な言語で表記する」が16.8%で最も高い。次いで、「色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる」「通訳を利用できるようにする」(各14.1%)が同率で並び、「案内板を日本語と多様な言語で表記する」(13.0%)が続く。(図表 7-11)

■図表 7-12 暮らしやすくなるために市役所に望むこと 3番目に重要なもの（国籍・地域別）

		n	市役所からの通知を多様な言語で表記する	色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる	通訳を利用できるようにする	案内板を日本語と多様な言語で表記する	外国人が自分の使える言語で意見や要望を出せるようにする	外国人相談を充実する	外国人のための日本語教室を増やす	その他	無回答
全 体		368	16.8	14.1	14.1	13.0	11.1	8.2	6.5	5.2	10.9
国籍・地域別	中国	75	12.0	13.3	18.7	13.3	12.0	5.3	8.0	6.7	10.7
	韓国	24	33.3	12.5	12.5	16.7	4.2	12.5	-	8.3	-
	フィリピン	81	17.3	14.8	17.3	7.4	11.1	7.4	4.9	4.9	14.8
	ベトナム	113	15.0	14.2	15.0	14.2	10.6	6.2	8.0	2.7	14.2
	その他	73	19.2	15.1	5.5	15.1	13.7	12.3	6.8	6.8	5.5

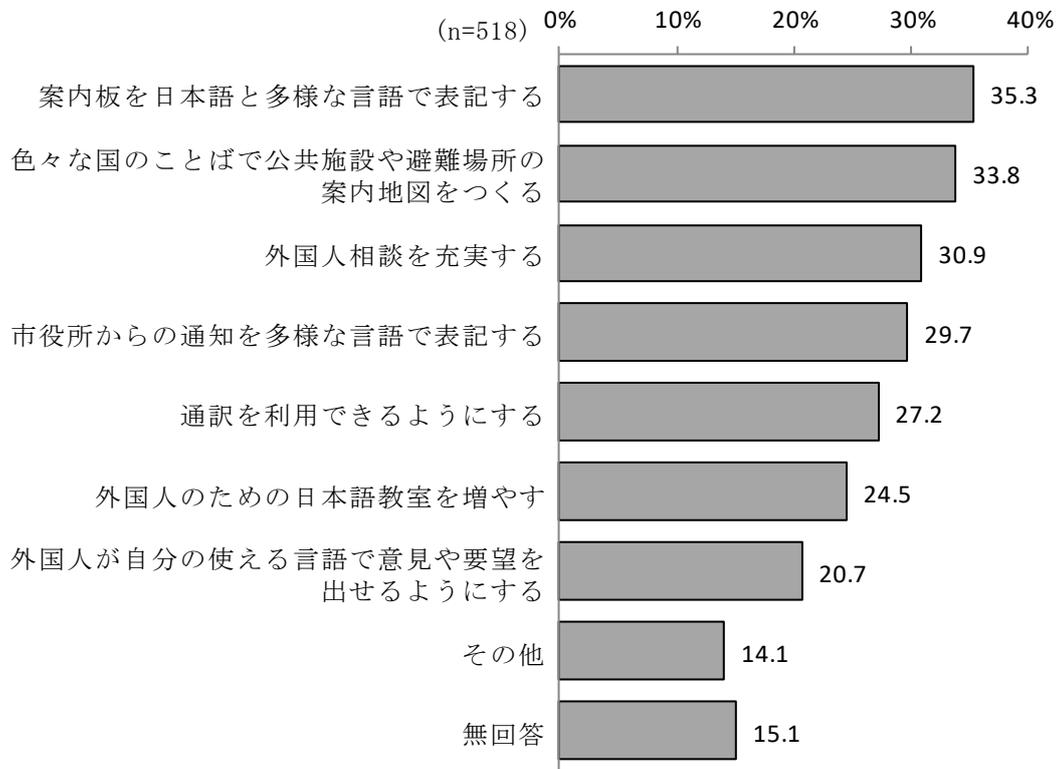
(%)

国籍・地域別にみると、中国は「通訳を利用できるようにする」(18.7%) が最も高い。フィリピン、ベトナムは「市役所からの通知を多様な言語で表記する」と「通訳を利用できるようにする」(フィリピン：各 17.3%、ベトナム：各 15.0%) が同率 1 位となっている。(図表 7-12)

(6) 暮らしやすくなるために市役所に望むこと TOP 3 (重要3項目の合計)

問 32 あなたが暮らしやすくなるために市役所にやってもらいたいことは何ですか。
 (✓はいくつでも)
 また、上の1~8で特に重要と思うもの3つについて番号を記入してください。
 (1~8の数字を記入)

■図表 7-13 暮らしやすくなるために市役所に望むこと TOP 3



暮らしやすくなるために市役所に望むことで〈最も重要なこと〉〈2番目に重要なこと〉〈3番目に重要なこと〉を合計すると、「案内板を日本語と多様な言語で表記する」が 35.3%で最も高い。次いで、「色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる」(33.8%)、「外国人相談を充実する」(30.9%)、「市役所からの通知を多様な言語で表記する」(29.7%)となっている。(図表 7-13)

■図表 7-14 暮らしやすくなるために市役所に望むこと TOP 3 (国籍・地域別)

		n	案内板を日本語と多様な言語で表記する	色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる	外国人相談を充実する	市役所からの通知を多様な言語で表記する	通訳を利用できるようにする	外国人のための日本語教室を増やす	外国人が自分の使える言語で意見や要望を出せるようにする	その他	無回答
全 体		518	35.3	33.8	30.9	29.7	27.2	24.5	20.7	14.1	15.1
国籍・地域別	中国	112	28.6	23.2	34.8	26.8	32.1	26.8	24.1	16.1	17.0
	韓国	50	40.0	28.0	22.0	32.0	20.0	8.0	8.0	20.0	22.0
	フィリピン	107	29.0	36.4	43.0	24.3	26.2	19.6	19.6	17.8	15.0
	ベトナム	147	44.9	40.1	15.0	32.0	32.0	27.9	21.1	9.5	13.6
	その他	98	33.7	35.7	39.8	35.7	20.4	31.6	22.4	12.2	12.2

(%)

国籍・地域別にみると、中国は「外国人相談を充実する」(34.8%)が最も高く、次いで、「通訳を利用できるようにする」(32.1%)、「案内板を日本語と多様な言語で表記する」(28.6%)の順となっている。

韓国は「案内板を日本語と多様な言語で表記する」(40.0%)が4割で最も高く、次いで、「市役所からの通知を多様な言語で表記する」(32.0%)、「色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる」(28.0%)となっている。

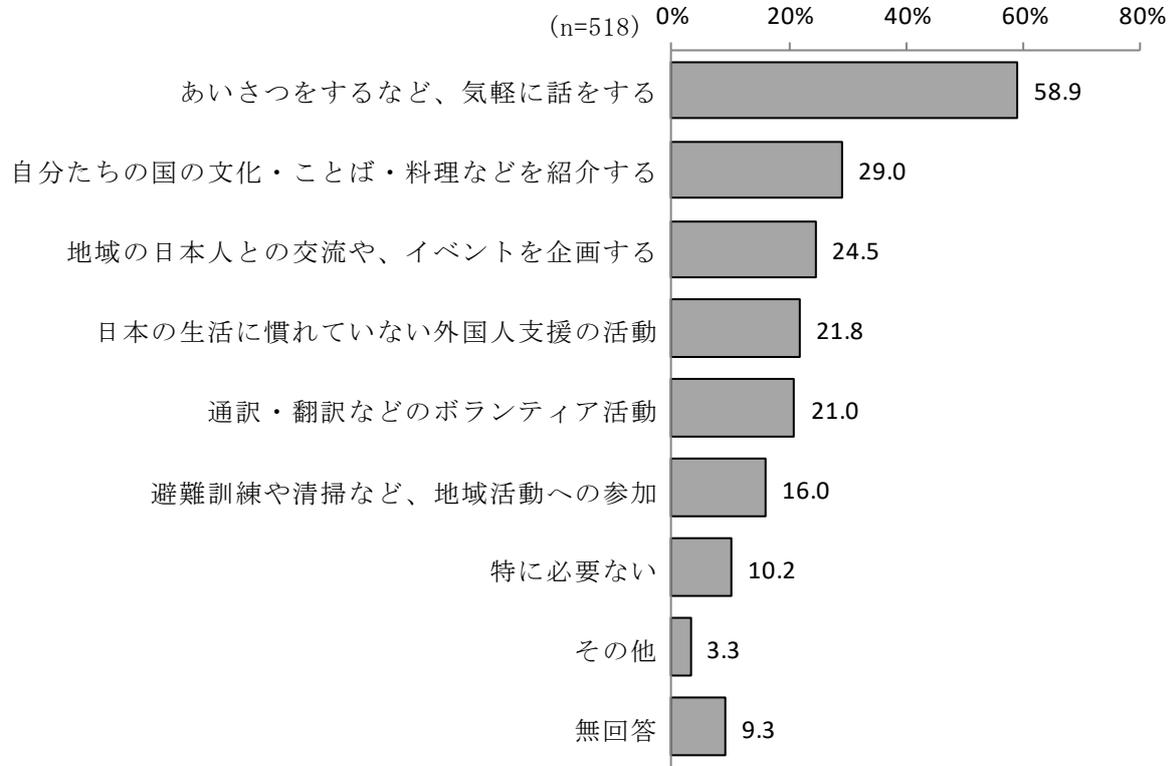
フィリピンは「外国人相談を充実する」(43.0%)が全体を12.1ポイント上回り、次いで、「色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる」(36.4%)、「案内板を日本語と多様な言語で表記する」(29.0%)となっている。

ベトナムは「案内板を日本語と多様な言語で表記する」(44.9%)、「色々な国のことばで公共施設や避難場所の案内地図をつくる」(40.1%)がいずれも4割台で、「市役所からの通知を多様な言語で表記する」「通訳を利用できるようにする」(各32.0%)が続いている。(図表7-14)

(7) 日本人と共に生活していくうえでしていきたい活動

問 33 あなたが日本人と共に生活していくうえで、どのような活動をしていきたいですか。
(✓はいくつでも)

■図表 7-15 日本人と共に生活していくうえでしていきたい活動



日本人と共に生活していくうえでしていきたい活動は、「あいさつをするなど、気軽に話をする」が 58.9%で最も高い。次いで、「自分たちの国の文化・ことば・料理などを紹介する」(29.0%)、「地域の日本人との交流や、イベントを企画する」(24.5%)、「日本の生活に慣れていない外国人支援の活動」(21.8%)、「通訳・翻訳などのボランティア活動」(21.0%)、「避難訓練や清掃など、地域活動への参加」(16.0%)となっている。(図表 7-15)

■図表 7-16 日本人と共に生活していくうえでしていきたい活動（国籍・地域別）

	n	あいさつをするなど、気軽に話をする	自分たちの国の文化・ことば・料理などを紹介する	地域の日本人との交流や、イベントを企画する	日本人の生活に慣れていない外国人支援の活動	通訳・翻訳などのボランティア活動	避難訓練や清掃など、地域活動への参加	特に必要ない	その他	無回答	
全 体	518	58.9	29.0	24.5	21.8	21.0	16.0	10.2	3.3	9.3	
国籍・地域別	中国	112	59.8	18.8	23.2	18.8	29.5	16.1	9.8	3.6	7.1
	韓国	50	42.0	24.0	10.0	14.0	14.0	2.0	26.0	8.0	12.0
	フィリピン	107	64.5	33.6	29.9	22.4	20.6	19.6	5.6	0.9	8.4
	ベトナム	147	62.6	36.1	21.1	25.9	17.0	17.7	4.1	1.4	11.6
	その他	98	56.1	27.6	33.7	21.4	21.4	15.3	15.3	6.1	8.2

(%)

国籍・地域別にみると、フィリピン、ベトナムは「あいさつをするなど、気軽に話をする」（フィリピン：64.5%、ベトナム：62.6%）、「自分たちの国の文化・ことば・料理などを紹介する」（フィリピン：33.6%、ベトナム：36.1%）が他の国籍・地域に比べて高くなっている。そのほか、中国は「通訳・翻訳などのボランティア活動」（29.5%）が他の国籍・地域に比べて高い。（図表 7-16）

■図表 7-17 日本人と共に生活していくうえでしていきたい活動（居住エリア別）

	n	あいさつをするなど、気軽に話をする	自分たちの国の文化・ことば・料理などを紹介すること	地域の日本人との交流や、イベントを企画する	日本の生活に慣れていない外国人支援の活動	通訳・翻訳などのボランティア活動	避難訓練や清掃など、地域活動への参加	特に必要ない	その他	無回答	
全 体	518	58.9	29.0	24.5	21.8	21.0	16.0	10.2	3.3	9.3	
居住 エリア 別	エリアA	86	51.2	33.7	24.4	29.1	18.6	20.9	11.6	4.7	8.1
	エリアB	46	63.0	39.1	23.9	32.6	15.2	13.0	6.5	-	10.9
	エリアC	69	73.9	34.8	30.4	29.0	26.1	23.2	4.3	2.9	10.1
	エリアD	119	68.1	27.7	21.8	12.6	18.5	14.3	5.9	1.7	6.7
	エリアE	52	55.8	28.8	28.8	25.0	38.5	9.6	15.4	7.7	3.8
	エリアF	51	47.1	23.5	29.4	21.6	23.5	21.6	11.8	7.8	5.9
	エリアG	56	41.1	25.0	21.4	17.9	14.3	17.9	19.6	-	21.4
	エリアH	29	65.5	10.3	13.8	10.3	20.7	-	13.8	-	6.9

※エリア区分は p5 を参照

居住エリア別にみると、すべての居住エリアで「あいさつをするなど、気軽に話をする」が最も高く、特にエリアCでは73.9%に上る。エリアC・E～Fでは「地域の日本人との交流や、イベントを企画する」（エリアC：30.4%、エリアE：28.8%、エリアF：29.4%）が約3割となっている。そのほか、エリアA～Cでは「日本の生活に慣れていない外国人支援の活動」（エリアA：29.1%、エリアB：32.6%、エリアC：29.0%）が3割前後で他の居住エリアに比べて高くなっている。（図表 7-17）

■図表 7-18 日本人と共に生活していくうえでしていきたい活動(近くに住む日本人との付き合い別)

		n	あいさつをするなど、気軽に話をする	自分たちの国の文化・ことば・料理などを紹介する	地域の日本人との交流や、イベントを企画する	外国人支援の活動	日本の生活に慣れていない	通訳・翻訳などのボランティア活動	避難訓練や清掃など、地域活動への参加	特に必要ない	その他	無回答
全 体		518	58.9	29.0	24.5	21.8	21.0	16.0	10.2	3.3	9.3	
近くに 住む 日本人との 付き合い別	あいさつをする程度	279	63.4	25.4	18.6	24.0	19.0	14.7	10.0	2.2	7.9	
	日常生活のことを話している	52	59.6	42.3	28.8	13.5	23.1	17.3	5.8	3.8	3.8	
	困ったときに助け合っている	5	40.0	20.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	-	40.0	
	友人として付き合いしている	69	56.5	30.4	30.4	15.9	24.6	15.9	8.7	5.8	8.7	
	家族と同じように親しく付き合いしている	26	50.0	50.0	38.5	46.2	30.8	46.2	15.4	3.8	11.5	
	付き合いしていない	73	53.4	26.0	38.4	17.8	24.7	11.0	13.7	2.7	11.0	
	その他	5	-	40.0	-	-	-	-	40.0	40.0	-	

(%)

近くに住む日本人との付き合い別にみると、「日常生活のことを話している」層は「自分たちの国の文化・ことば・料理などを紹介する」(42.3%)が4割を超えている。また、「付き合いしていない」層は「地域の日本人との交流や、イベントを企画する」(38.4%)が全体を13.9ポイント上回っている。(図表 7-18)

【日本人と共に生活していくうえでしていきたい活動 その他自由回答の抜粋】

美しい明日のために貢献する/日本の方達ともっとコミュニケーションをとりたい/相手をしてくれない人と交流したくない/外国人として住んでいる国の政治や伝統的な事などを知りたい/日本人と関わる機会が少なく日本人の友達が一人もいない。せつかく日本に住んでいるので、外国人として市内のイベントや団体などに参加して活躍したい/もっと日本語を理解したい/日本の法を守る/これから外国籍の方々はもっと増えるので、役所としてももっと力を入れて対応せざるをえないと思う/働いていないので分からない/身体が自由でないので分からない/普通に生活をする/日本語を高いレベルで話せるようになれば、難しい状況を打開することが出来て、生活がより快適に、より楽になる/約80年日本で生活をしており、外国人と思うことがない。日本は本当に良い国なので有難く思っている。 等

八潮市外国人市民意識調査報告書

発行 令和元年12月

八潮市 市民活力推進部 市民協働推進課

〒340-8588 埼玉県八潮市中央一丁目2番地1

電話：048-996-2111（代表）

FAX：048-995-7367

ホームページ：<http://www.city.yashio.lg.jp/>

